



2019年薄毛調査 報告書

2019年7月25日

(株)リクルートライフスタイル
ホットペッパービューティーアカデミー

目次①

調査概要	P.2	～	P.4
サマリー編	P.5	～	P.30
データ編	P.31	～	P.111
薄毛・白髪調査スクリーニング	P.31	～	P.53
回答者属性①	P.32		
回答者属性②	P.33		
髪や頭皮について気になること【現在の悩み】	P.34		
髪や頭皮について気になること【将来の不安】	P.35		
体や髪/頭皮の現状	P.36		
髪/頭皮に関する悩み【薄毛】	P.37		
髪/頭皮に関する悩み【白髪】	P.38		
将来の髪/頭皮に関する不安【薄毛】	P.39		
将来の髪/頭皮に関する不安【白髪】	P.40		
将来の不安の理由【薄毛】	P.41		
将来の不安の理由【白髪】	P.42		
薄毛に対するアクション経験【過去】	P.43		
薄毛に対するアクション経験【現在】	P.44		
参考：薄毛に対するアクション経験（2016・17年）	P.45		
薄毛に対するアクション意向【今後】	P.46		
薄毛への意識	P.47		
白髪染め有無【2019年】	P.48		
白髪染め有無【2018年】	P.49		
白髪染め有無【2016-2017年】	P.50		
白髪染めをしない理由【あてはまる理由すべて】	P.51		
白髪染めをしない理由【最もあてはまるもの1つ】	P.52		
理美容室利用頻度	P.53		
薄毛調査	P.54	～	P.111
回答者属性①	P.55		
回答者属性②	P.56		
髪や頭皮について気になること【現在の悩み】	P.57		
髪や頭皮について気になること【将来の不安】	P.58		
現在の薄毛が気になる割合	P.59		
薄毛に関する今後の不安	P.60		
将来の不安の理由【薄毛】	P.61		
薄毛に対するアクション経験	P.62		
理美容院利用頻度	P.63		
現在の髪型【男性】	P.64		
現在の髪型【女性】	P.65		
薄毛が気になる部位【薄毛が気になる部位】	P.66		
薄毛が気になる部位【最も薄毛が気になっている部位】	P.67		
薄毛で嫌なこと	P.68		
薄毛が気になり出した年齢	P.69		
薄毛が気になり出したきっかけ	P.70		
気になる目線	P.71		

薄毛の話をしたいか/実際にしているか【話したいと思う】	P.72
薄毛の話をしたいか/実際にしているか【実際に話す】	P.73
薄毛について話して良かったこと	P.74
薄毛対策の非実施理由	P.75
薄毛対策の情報源【参考にする情報源】	P.76
薄毛対策の情報源【普段やっている対処法のきっかけ】	P.77
薄毛対策の購入チャネル【病院・専門機関で処方してもらった薬・漢方や育毛エッセンスなど】	P.78
薄毛対策の購入チャネル【市販の薬や漢方】	P.79
薄毛対策の購入チャネル【育毛エッセンス・育毛ローションや発育毛剤（市販品）】	P.80
薄毛対策の購入チャネル【薄毛対策用シャンプーやトリートメント】	P.81
薄毛対策の購入チャネル【自宅のヘッドスパ・ヘッドマッサージで使う器具】	P.82
薄毛対策の購入チャネル【ウィッグ・カツラ（全体的）】	P.83
薄毛対策の購入チャネル【ウィッグ・カツラ（頭頂部、前髪などの部分用）】	P.84
薄毛対策の購入チャネル【薄毛/抜け毛に効果のあるサプリメント】	P.85
薄毛対策の購入チャネル【髪量を多く見せるための、ふりかける粉】	P.86
薄毛対策にかけている金額（1か月トータル）	P.87
薄毛対策にかけてもよい金額（1か月トータル）	P.88
施術のハードル【実施するとして特に抵抗感はない薄毛対策】	P.89
施術のハードル【実施するとして抵抗感がある薄毛対策】	P.90
洗髪頻度	P.91
理美容室の利用頻度【全体サマリー】	P.92
理美容室の利用頻度【カット】	P.93
理美容室の利用頻度【カラー】	P.94
理美容室の利用頻度【パーマ】	P.95
理美容室の利用頻度【トリートメント】	P.96
理美容室の利用頻度【縮毛矯正】	P.97
理美容室の利用頻度【ヘッドスパ・ヘッドマッサージ】	P.98
理美容室への相談経験有無	P.99
理美容室からのアドバイス・対策内容	P.100
理美容室への相談意向	P.101
理美容室へ相談したくない理由	P.102
理美容室に相談したくなる状況	P.103
理美容室への期待	P.104
薄毛の原因	P.105
ストレスの有無【サマリー】	P.106
ストレスの有無【仕事上のストレス】	P.107
ストレスの有無【プライベートでのストレス】	P.108
食生活への意識	P.109
生活習慣への意識	P.110
1か月あたりの可処分所得（平均金額）	P.111



調査概要

A 調査概要①

2019年 6月調査	調査目的	➢ 薄毛に関する実態や意識の把握、サロン利用活性化のヒントの導出										
	調査手法	➢ インターネット調査										
	対象者条件	➢ 全国20～69歳男女、現在薄毛である&薄毛を気にしている										
	回収数	➢ スクリーニング：50,000人 ※人口動態に基づき性年代を割付 ➢ 本調査：2,063人 ※スクリーニングでの出現率をもとにウェイトバックを実施										
	実査期間	➢ スクリーニング：2019年6月7日～2019年6月10日 ➢ 本調査：2019年6月11日～2019年6月12日										

2018年 7月調査	調査目的	➢ 薄毛に関する実態や意識の把握、サロン利用活性化のヒントの導出										
	調査手法	➢ インターネット調査										
	対象者条件	➢ 全国20～69歳男女、現在薄毛である&薄毛を気にしている										
	回収数	➢ スクリーニング：50,004人 ※人口動態に基づき性年代を割付 ➢ 本調査：2,063人 ※スクリーニングでの出現率をもとにウェイトバックを実施										
	実査期間	➢ スクリーニング：2018年7月19日～2018年7月20日 ➢ 本調査：2018年7月20日～2018年7月21日										

A 調査概要②

2017年 7月調査	調査目的	➢ 薄毛に関する実態や意識の把握、サロン利用活性化のヒントの導出										
	調査手法	➢ インターネット調査										
	対象者条件	➢ 全国20～69歳男女、現在薄毛である&薄毛を気にしている										
	回収数	➢ スクリーニング：50,000人 ※人口動態に基づき性年代を割付 ➢ 本調査：2,063人 ※スクリーニングでの出現率をもとにウェイトバックを実施										
	実査期間	➢ スクリーニング：2017年7月7日～2017年7月10日 ➢ 本調査：2017年7月18日～2017年7月21日										

2016年 7月調査	調査目的	➢ 薄毛に関する実態や意識の把握、サロン利用活性化のヒントの導出										
	調査手法	➢ インターネット調査										
	対象者条件	➢ 全国20～69歳男女、現在薄毛である&薄毛を気にしている										
	回収数	➢ スクリーニング：50,000人 ※人口動態に基づき性年代を割付 ➢ 本調査：2,154人 ※SCRでの出現率をもとにウェイトバックを実施										
	実査期間	➢ スクリーニング：2016年7月11日～2016年7月13日 ➢ 本調査：2016年7月20日～2016年7月25日										

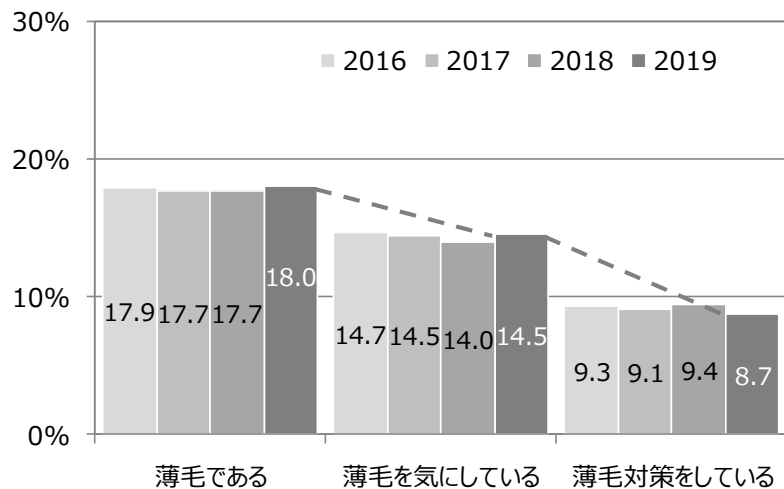


サマリー編 ～薄毛調査～

A 薄毛人口のボリュームは？(SCR全体ベース)

- 現在薄毛の人は全体の2割弱。気にして対策をしている人は全体の1割弱。
- 女性よりも男性の方が現在薄毛である人の割合が多い。女性は薄毛である人の割合は9.5%と少ないものの、そのうち大半が薄毛を気にしている。

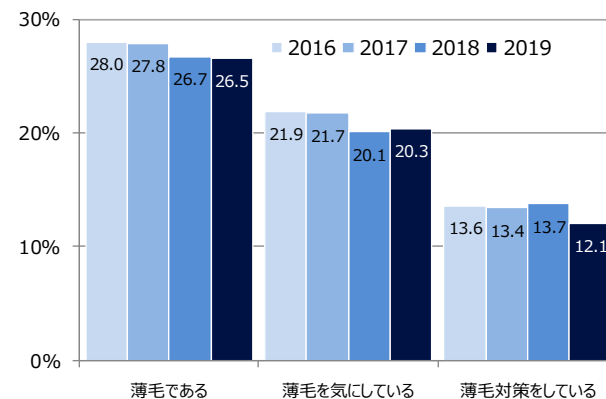
全体



2016年 n=50,000
2017年 n=50,000
2018年 n=50,004
2019年 n=50,000

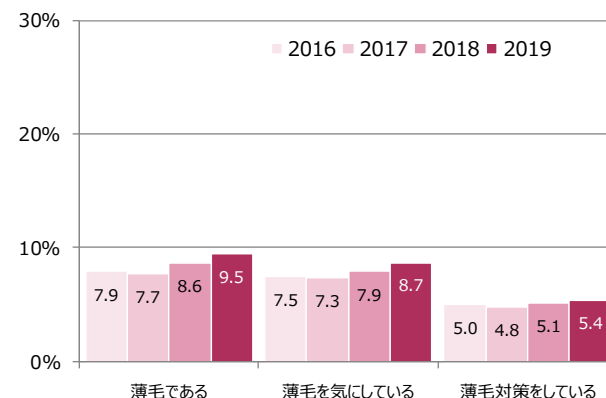
男性

2016年 n=24,981
2017年 n=25,004
2018年 n=25,005
2019年 n=25,004



女性

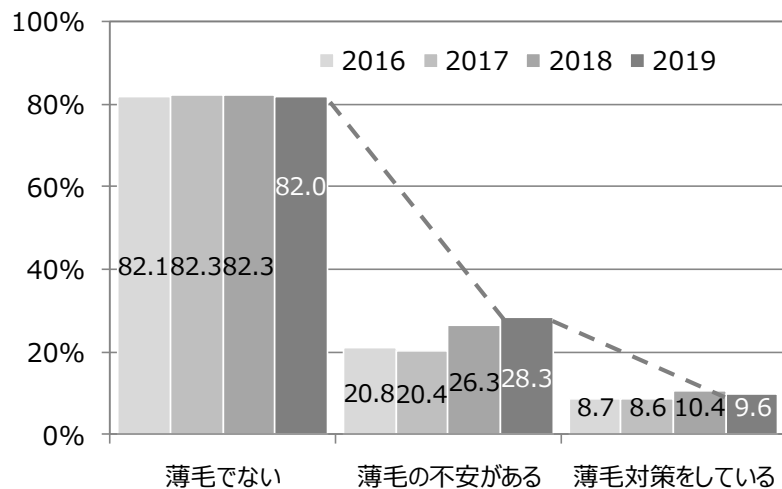
2016年 n=25,019
2017年 n=24,996
2018年 n=24,999
2019年 n=24,996



A 薄毛でない人口のボリュームは？(SCR全体ベース)

- 全体の28.3%は現在薄毛ではないものの、将来薄毛になることへの不安を抱えており、9.6%は対策をしている。
- 男女とも薄毛について不安がある人が2017年調査から増加傾向にある。

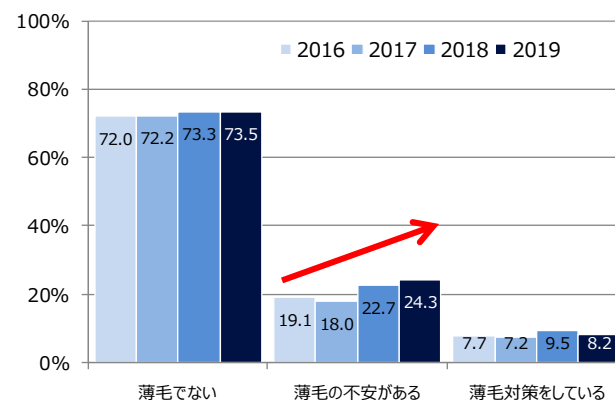
全体



2016年 n=50,000
2017年 n=50,000
2018年 n=50,004
2019年 n=50,000

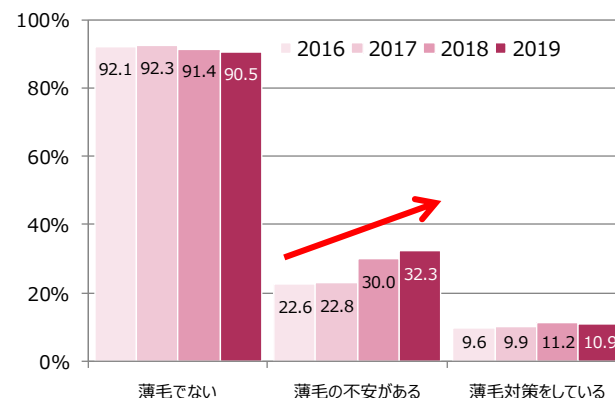
男性

2016年 n=24,981
2017年 n=25,004
2018年 n=25,005
2019年 n=25,004



女性

2016年 n=25,019
2017年 n=24,996
2018年 n=24,999
2019年 n=24,996

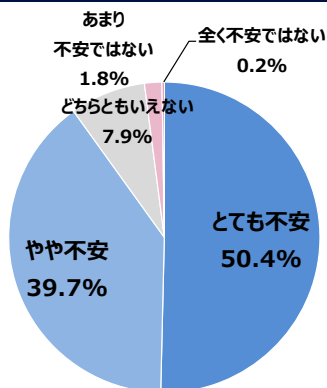


A 薄毛の人は、薄毛をどう思っている？(SCR全体ベース)

- 薄毛の人は、男女とも9割程度が薄毛について不安に思っている。
- 薄毛について悩んだり抵抗感がある人は、女性の方がやや多い。男女ともに、約7割の人は薄毛の改善を諦めている。

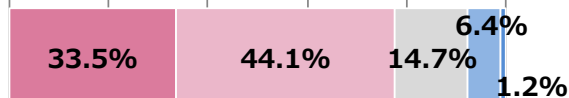
男性 n=5,186

※薄毛の人ベース

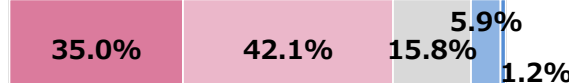


0% 20% 40% 60% 80% 100%

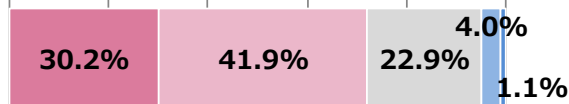
薄毛について
とても悩んでいる



薄毛であること
とても抵抗感がある

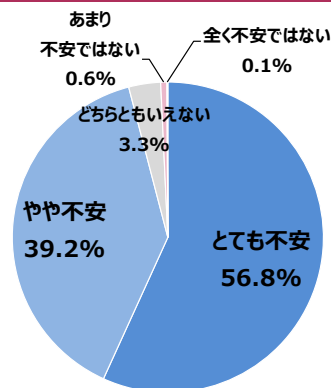


今後、薄毛を
改善することは
難しいと思う



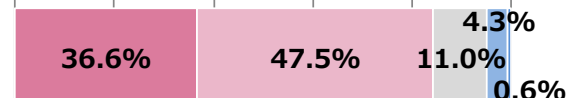
女性 n=2,171

※薄毛の人ベース

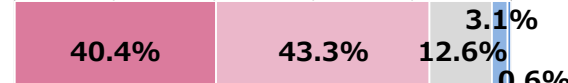


0% 20% 40% 60% 80% 100%

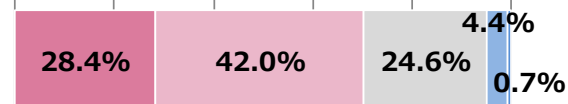
薄毛について
とても悩んでいる



薄毛であること
とても抵抗感がある



今後、薄毛を
改善することは
難しいと思う

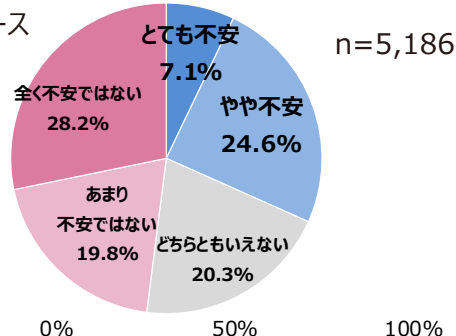


A 薄毛でない人は、薄毛をどう思っている？(SCR全体ベース)

- 現在薄毛でない人でも、男女ともに3割以上は薄毛への不安を持っている。
- 男性に比べると、女性は薄毛の人と薄毛でない人の意識の差が小さい。

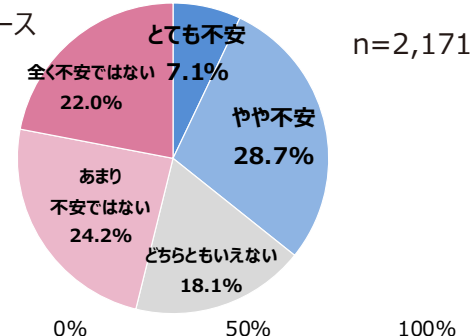
男性

※薄毛でない人ベース



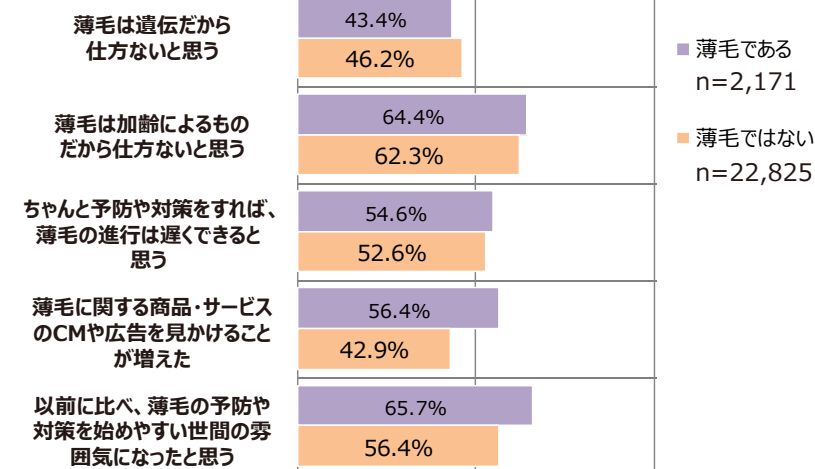
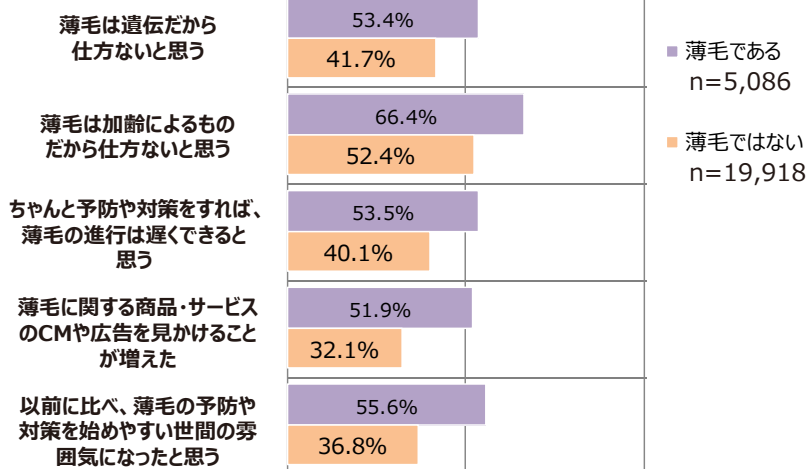
女性

※薄毛でない人ベース



薄毛への不安

薄毛に関する意識



A 薄毛でない人は、薄毛をどう思っている？(SCR全体ベース)

➤ 薄毛でない人を薄毛不安の有無別にみると、男女とも薄毛不安がある人の1割前後は「育毛エッセンス・ローション・発育毛剤」「薄毛対策用シャンプー・トリートメント」「自宅で自分の手だけでヘッドスパ・ヘッドマッサージ」などの自分でできる対策を既に行っている。

男性

※薄毛でない人ベース

	年 n=	不安である	不安でない
		6312	13606
1	育毛エッセンス・育毛ローションや 発育毛剤を使う	15.3%	4.4%
2	薄毛対策用シャンプーや トリートメントを使う	13.7%	2.8%
3	自宅で自分の手だけで ヘッドスパ・ヘッドマッサージをする	9.4%	2.0%
4	生活習慣に気をつける	7.6%	2.2%
5	ヘッドスパ・ヘッドマッサージに行く	6.7%	2.1%
6	市販の薬や漢方を使う	6.2%	1.7%
7	美容室・理容室で相談する	5.4%	1.6%
	特にない	57.1%	85.5%

女性

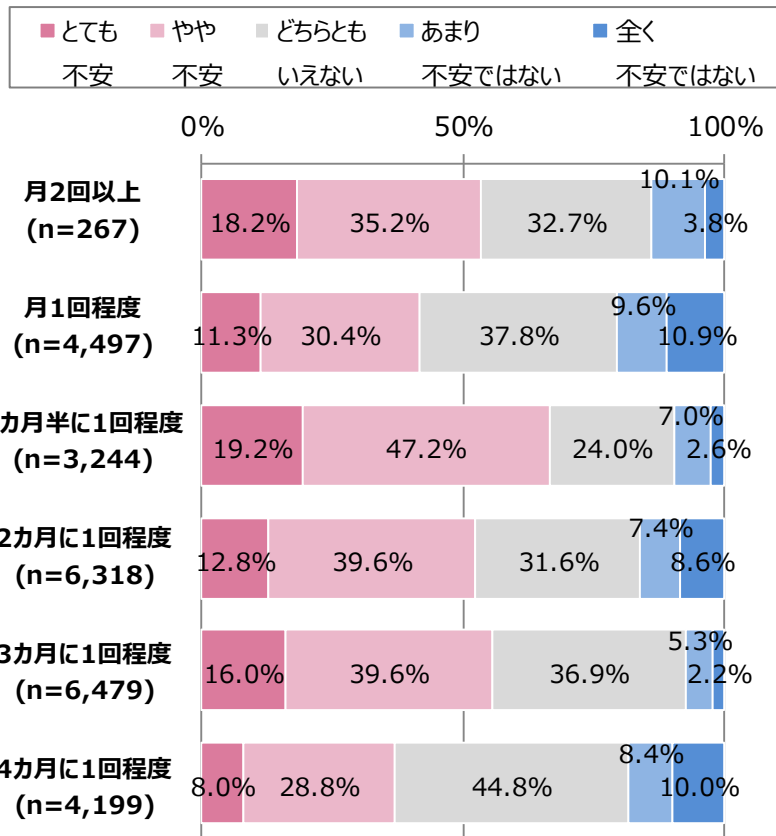
※薄毛でない人ベース

	年 n=	不安である	不安でない
		8156	14669
1	育毛エッセンス・育毛ローションや 発育毛剤を使う	14.6%	3.3%
2	ヘッドスパ・ヘッドマッサージに行く	13.4%	6.4%
3	自宅で自分の手だけで ヘッドスパ・ヘッドマッサージをする	11.4%	3.3%
4	生活習慣に気をつける	9.5%	3.3%
5	薄毛が目立ちにくい分け目・ 髪型にする	9.4%	1.5%
6	美容室・理容室で相談する	9.2%	4.7%
7	薄毛対策用シャンプーや トリートメントを使う	6.8%	1.3%
	特にない	56.1%	82.2%

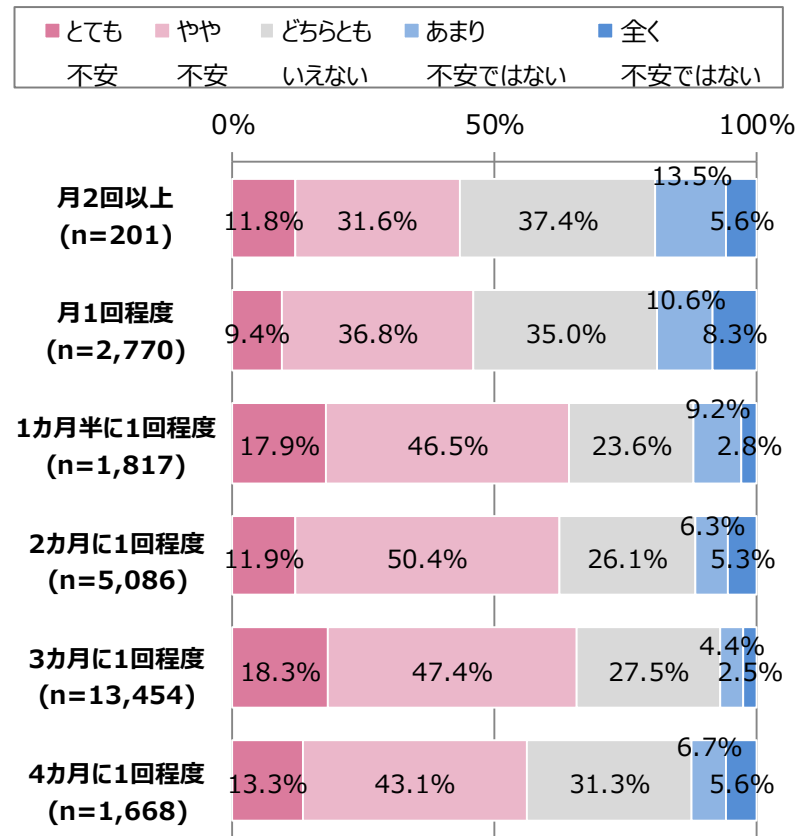
A (参考) ヘアサロン利用頻度と薄毛の関係は？①(SCR全体ベース)

➤「髪や美容への意識が高い人の方が薄毛への不安を抱きやすい」という仮説検証のためヘアサロン利用頻度別に薄毛不安の程度を確認したが、利用頻度が高いほど薄毛不安が強くなる傾向は見られなかった

男性



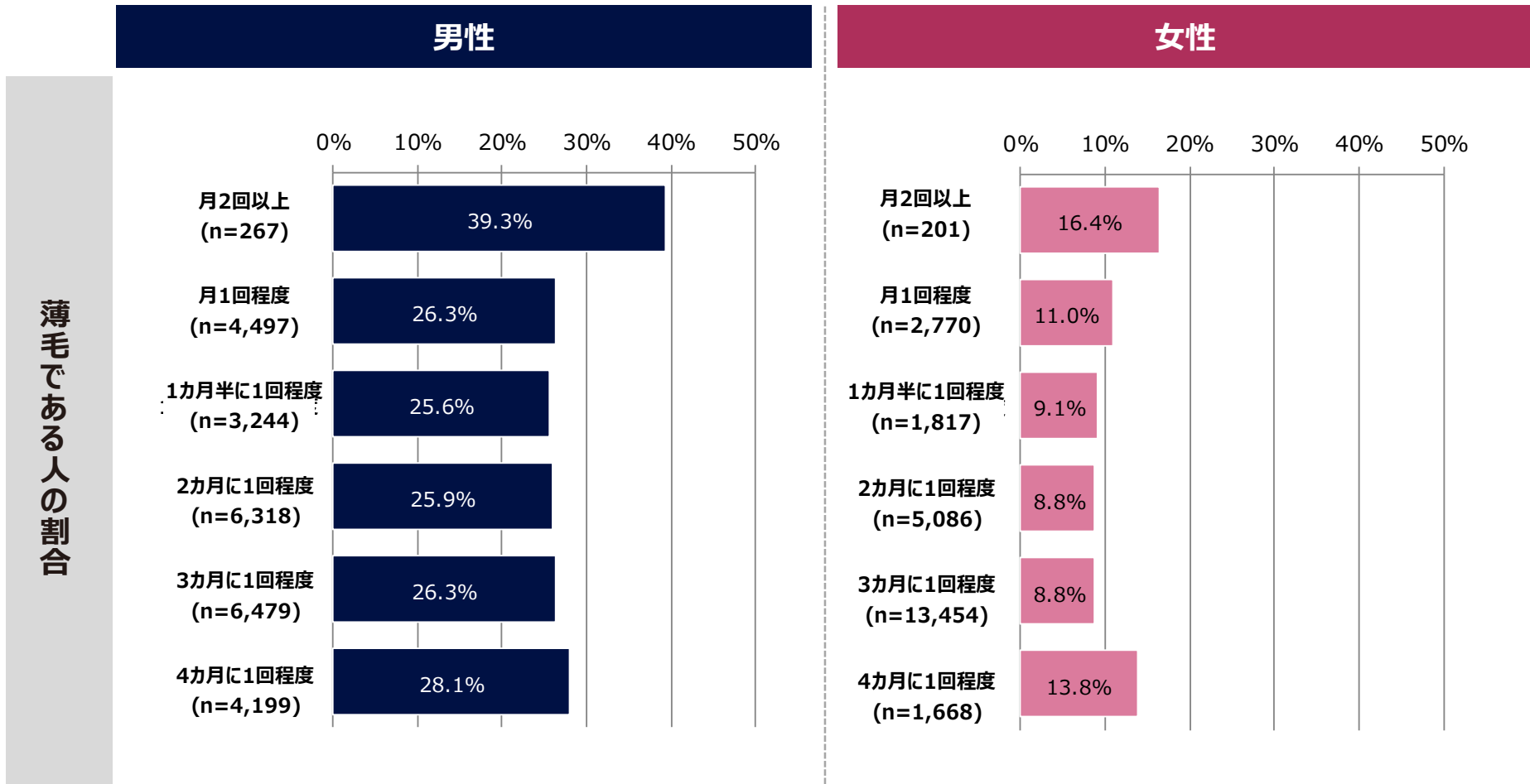
女性



薄毛への不安

A (参考) ヘアサロン利用頻度と薄毛の関係は？②(SCR全体ベース)

➤ヘアサロン利用頻度別に薄毛である人の割合をみると、男女とも「月2回以上」と高頻度にヘアサロンを利用する人は薄毛が多かった。



A 薄毛が気になり出した年齢ときっかけは？

↑前回比5pt以上アップ
↓前回比5pt以上ダウン

- 前回まで男女とも薄毛が気になり出す年齢が早まる傾向にあったが、今回は遅くなり2016年と同程度となる。
- きっかけは男女ともに「自分で鏡を見ていた時」というケースが最も多い。

男性

2019年 平均 **38.2** 歳

(2016年平均**38.3**歳、2017年平均**36.8**歳、2018年平均**36.3**歳)
2019年n=1,446/2018年n=1,483/2017年n=1,549/2016年n=1,606

女性

2019年 平均 **41.4** 歳

(2016年平均**41.4**歳、2017年平均**39.9**歳、2018年平均**37.7**歳)
2019年n=617/2018年n=580/2017年n=514/2016年n=548

年齢
気になり
出した

気になり出したきっかけ

	年 n=	2019 1446	2018 1483	2017 1549	2016 1606
1 鏡を見ていた時	↑	34.7%	29.7%	43.8%	47.5%
2 家族（配偶者、親、兄弟姉妹など）から		17.1%	18.8%	12.8%	12.9%
3 友人・知人から		14.1%	14.4%	8.8%	6.5%
4 抜け毛の量を見た時		9.3%	9.0%	9.4%	7.9%
5 自分の写っている写真を見ていた時		8.6%	9.9%	8.3%	8.9%

	年 n=	2019 617	2018 580	2017 514	2016 548
1 鏡を見ていた時		25.1%	23.9%	38.2%	39.8%
2 家族（配偶者、親、兄弟姉妹など）から		21.3%	23.1%	11.7%	12.1%
3 抜け毛の量を見た時		16.0%	15.4%	15.9%	16.2%
4 友人・知人から		9.0%	8.5%	7.1%	4.7%
5 自分の写っている写真を見ていた時		8.5%	7.8%	6.9%	7.8%

【年代別傾向】

・60代は「自分の写っている写真を見ていた時」が多め

【年代別傾向】

・30代は「鏡を見ていた時」が多め

- 男女ともに「他人の目すべて」が約4～6割でトップ。また、昨年減少していた、女性の「他人の目すべて」のスコアが2017年と同程度に戻った。
- 女性で「職場の異性」の目を気にする人が増加傾向にある。

男性

	年 n=	2019 1446	2018 1483	2017 1549	2016 1606
1 他人の目すべて		42.0%	42.5%	38.5%	40.8%
2 職場の異性		31.0%	29.3%	29.1%	21.8%
3 職場の同性		25.1%	22.8%	22.1%	19.2%
4 異性の友人		23.9%	24.1%	24.0%	18.8%
5 同性の友人		18.0%	18.5%	17.7%	13.2%
他人の目は気にならない		14.9%	14.8%	19.1%	19.8%

【年代別傾向】

- ・50～60代は「他人の目は気にならない」人が多め

女性

	年 n=	2019 617	2018 580	2017 514	2016 548
1 他人の目すべて		58.8%	54.0%	58.2%	60.8%
2 同性の友人		30.8%	30.7%	27.9%	26.1%
3 職場の異性		19.9%	13.1%	12.7%	10.9%
4 異性の友人		16.4%	15.8%	13.4%	13.5%
5 配偶者		13.8%	15.4%	15.4%	16.6%
他人の目は気にならない		11.8%	12.3%	11.4%	11.0%

【年代別傾向】

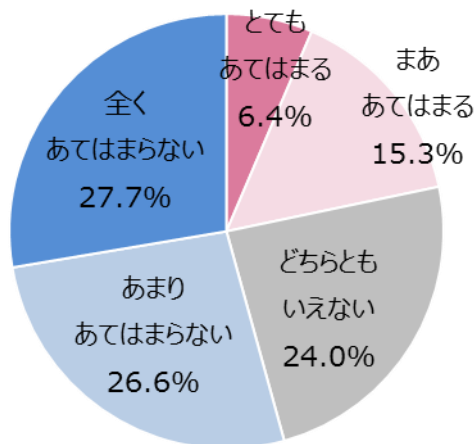
- ・20～30代は「異性・同性の友人」の目が気になる傾向が強い
- ・60代は「他人の目は気にならない」人が多め

A 同じ悩みの人と薄毛を分かち合うことがあるか？

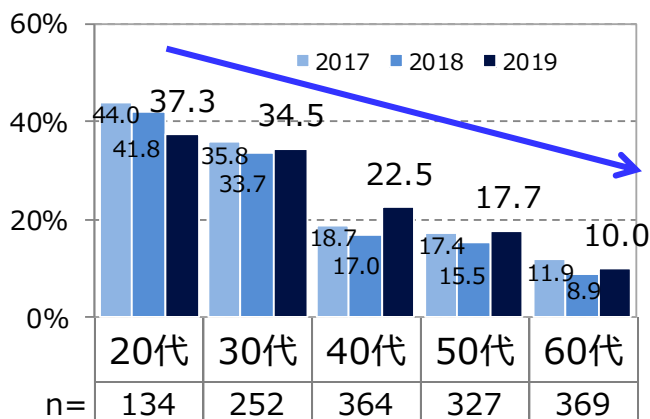
➤男女とも2割程度が薄毛について悩みを分かち合っている。男性は若年層ほど分かち合う傾向が例年通り強い一方、女性は年代差が縮まっている。

男性 n=1,446

<全体>

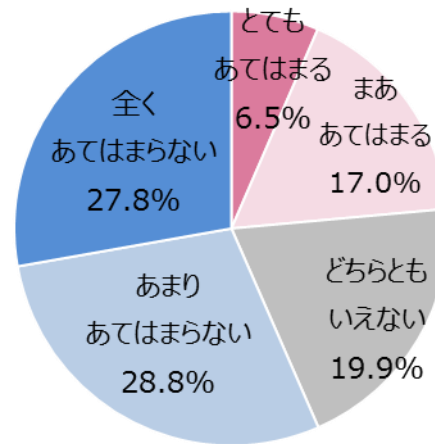


<年代別> (TOP2スコア)

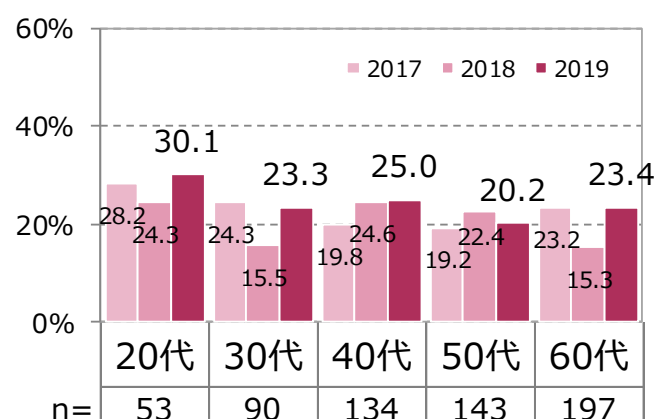


女性 n=617

<全体>



<年代別> (TOP2スコア)



他者との
共有経験の



薄毛について話して良かったことは？

↑前回比5pt以上アップ
↓前回比5pt以上ダウン

- 「知らなかった薄毛対策を知ることができた」が他の項目と比べて最も高い。
- 男女とも「悩みを相談できた/解決できた」のスコアは1～2割程度。自分の悩みに関しては「話して良かった」と思えることが少ない様子がうかがえる。

男性

	年 n=	2019 314	2018 309	2017 357
1	知らなかった薄毛対策を知ることができた	38.2%	37.2%	29.7%
2	薄毛対策の口コミ・体験談が聞けた	25.8%	33.4%	25.2%
3	相手と親しくなれた	23.6%	26.2%	24.9%
4	悩みを相談できた/解決できた	22.3%	30.9%	21.3%
5	薄毛について話せる仲間が増えた	21.7%	19.9%	19.5%
6	薄毛についてポジティブに考えられるようになった	20.7%	26.7%	22.7%
	特に良かったことはない	18.8%	17.9%	25.6%

女性

	年 n=	2019 145	2018 117	2017 114
1	知らなかった薄毛対策を知ることができた	27.6%	22.3%	25.7%
2	薄毛について話せる仲間が増えた	25.3%	30.3%	17.7%
3	薄毛対策の口コミ・体験談が聞けた	20.3%	20.0%	15.0%
4	薄毛についてポジティブに考えられるようになった	17.5%	17.3%	17.1%
5	悩みを相談できた/解決できた	14.1%	19.3%	23.9%
6	相手と親しくなれた	12.5%	14.2%	11.7%
	特に良かったことはない	25.5%	21.1%	29.5%

話して良かったこと
薄毛について

A 普段行っている/今後試してみたい薄毛対策は？

↑前回比5pt以上アップ
↓前回比5pt以上ダウン

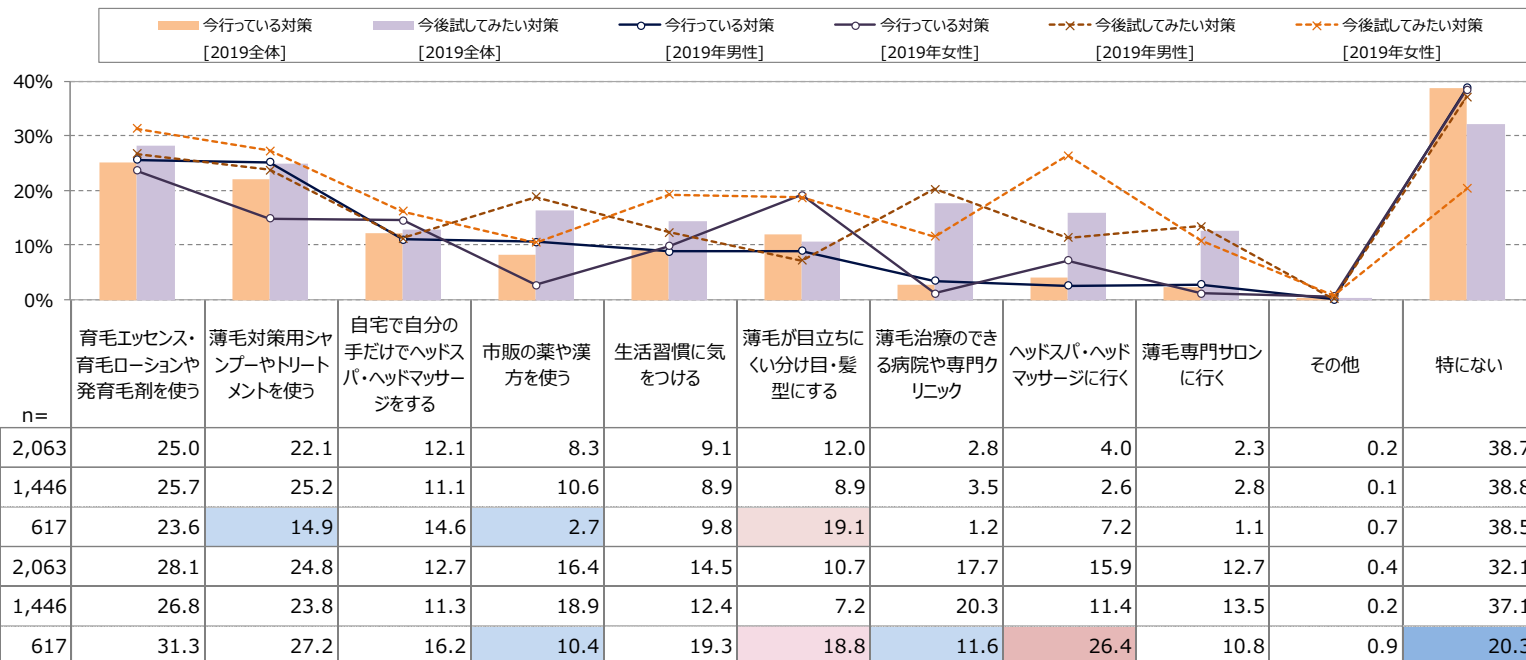
- 普段行っている対策として、男女とも「育毛エッセンス・育毛ローションや発育毛剤の使用」が最も多い。次点で男性は「薄毛対策用シャンプーやトリートメントを使う」を、女性は「薄毛が目立ちにくい分け目・髪型にする」を多くあげる。
- 今行っていないが今後試してみたい対策として多くあげられるのは「薄毛治療のできる病院や専門クリニック」「ヘッドスパ・ヘッドマッサージ」「薄毛専門サロン」など。

※n≥30の場合、全体に比べ

10pt以上高い
5pt以上高い
5pt以上低い
10pt以上低い

※[今行っている対策全体]と
[今後試してみたい対策全体]
の合算上位10項目を抜粋

※[今行っている対策全体]と
[今後試してみたい対策全体]
の合算で降順ソート



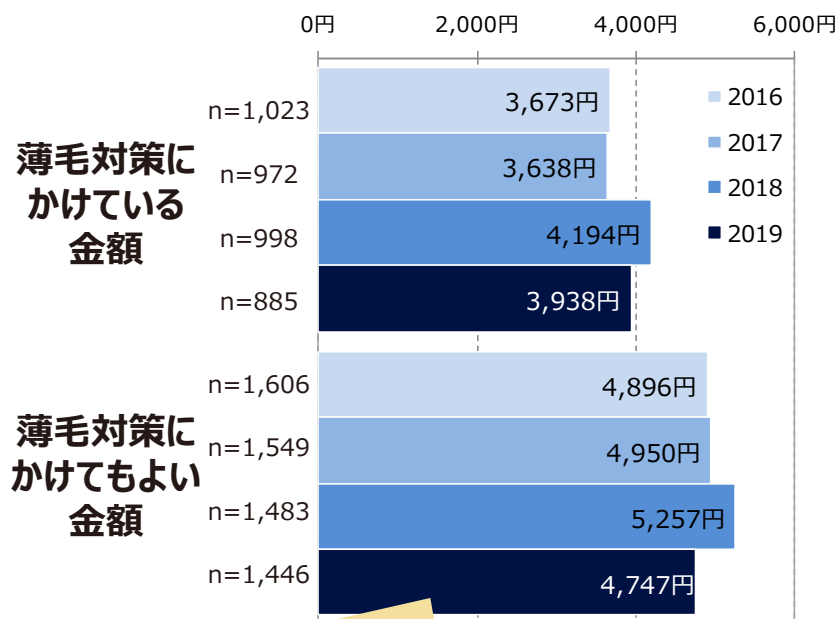
【年代別傾向】男性若年層は「薄毛治療のできる病院や専門クリニック」「薄毛専門サロン」の今後利用意向が特に高い

A 薄毛対策にかけている金額/かけてもよい金額は？

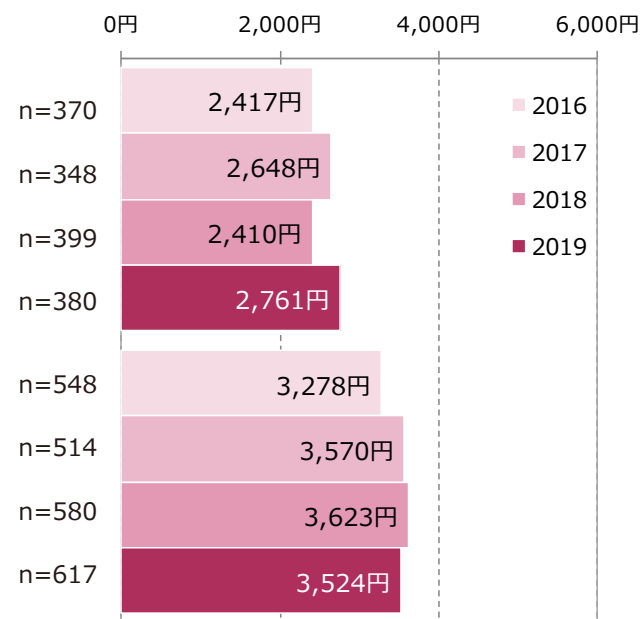
- 薄毛対策にかけている・かけてもよい金額ともに男性の方が1,200円程高い。
- 前回調査と比べ男性では薄毛対策にかけてもよい金額が下がっており、安価に薄毛悩みを解消したい意識がうかがえる。

平均金額
(毎月)

男性



女性



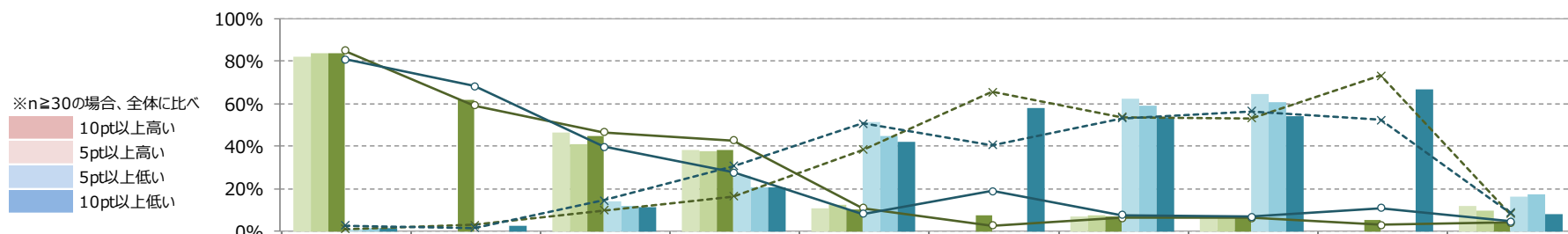
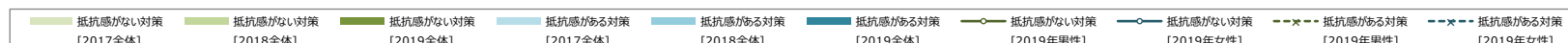
【年代別傾向】

- 年代が若いほど、かけている額・かけてもよい額ともに高くなる

A 施術に対する抵抗感は？

➤「薬用シャンプーの使用」は抵抗感が少なく、「ウィッグ・カツラの装着」「植毛」「増毛」「毛髪再生」は抵抗感が強い。ただし、「増毛」「植毛」「毛髪再生」への抵抗感は低下傾向にある。

➤「毛髪再生」「内服薬」に対する抵抗感は、女性の方が男性よりも強い。



※抵抗がない対策
[2019年全体]の
降順ソート

		n=	薬用シャンプーの使用	頭皮マッサージ・洗淨	外用薬の塗布	内服薬の服用	毛髪再生(有効成分を注射で頭皮注入する)	ウィッグ・カツラを着ける(頭頂部、前髪などの部分用)	増毛(人口毛等を地毛に装着)	植毛(人口毛等を植えつける)	ウィッグ・カツラを着ける(全体用)	あてはまるものは上記にない
抵抗感がない対策	2017年全体	2,063	82.2	-	46.3	38.3	10.7	-	7.0	6.4	-	11.6
	2018年全体	2,063	83.4	-	40.7	37.8	12.6	-	7.4	7.0	-	9.5
	2019年全体	2,063	83.7	61.9	44.5	38.1	10.0	7.6	6.7	6.4	5.4	4.2
	2019年男性	1,446	84.9	59.2	46.6	42.6	10.8	2.8	6.3	6.3	3.0	4.0
	2019年女性	617	80.9	68.1	39.6	27.5	8.2	18.9	7.7	6.6	11.0	4.7
抵抗感がある対策	2017年全体	2,063	0.9	-	13.8	25.9	51.5	-	62.5	64.7	-	16.1
	2018年全体	2,063	1.6	-	12.0	20.5	44.5	-	59.0	60.8	-	17.2
	2019年全体	2,063	1.5	2.6	11.2	20.7	42.0	58.0	53.4	54.2	66.9	8.2
	2019年男性	1,446	1.0	3.0	9.9	16.5	38.2	65.4	53.5	53.2	73.0	8.0
	2019年女性	617	2.6	1.7	14.3	30.7	50.6	40.6	53.2	56.4	52.4	8.7

【年代別傾向】男性20代は施術に対する抵抗感が全般的に低め

- 男女ともに「インターネット検索」「TV・ラジオ」からの情報収集が多い。今回から「TV・ラジオ」を「CM」と「番組」に分けて聴取したところ、女性は「CM」よりも「番組」を参考にする人が若干多い。
- 「美容師・理容師に相談する」は男女とも過去調査と大きな差はない。

男性		年 n=	2019	2018	2017	2016
			1446	1483	1549	1606
1	インターネット検索	↓	55.2%	60.5%	55.3%	55.2%
2	TV・ラジオのCM※		30.6%	47.0%	48.5%	46.8%
3	TV・ラジオの番組※		30.4%	47.0%	48.5%	46.8%
4	雑誌		15.0%	17.0%	16.0%	15.3%
5	知人（友人・家族・同僚など）から直接聞く口コミ		14.0%	13.0%	13.9%	11.7%
6	インターネットのバナー広告（ホームページは除く）		13.8%	12.9%	11.6%	13.8%
～						
8	美容師・理容師に相談する		10.2%	9.6%	9.7%	8.6%

【年代別傾向】

- 20代は「美容師・理容師に相談する」が14.2%と、他年代と比べ比較的多め

女性		年 n=	2019	2018	2017	2016
			617	580	514	548
1	インターネット検索	↓	47.3%	53.1%	50.4%	47.6%
2	TV・ラジオの番組※		33.6%	43.6%	48.5%	53.8%
3	TV・ラジオのCM※		27.4%	43.6%	48.5%	53.8%
4	美容師・理容師に相談する		25.9%	24.3%	21.9%	21.8%
5	雑誌		17.9%	17.4%	17.9%	16.7%
6	美容総合サイトや口コミサイト	↓	16.4%	22.0%	16.1%	15.9%

※過去データは「TV・ラジオ」スコアを記載

【年代別傾向】

- 「TV・ラジオの番組」「TV・ラジオのCM」は40代以上の中高年層で高い

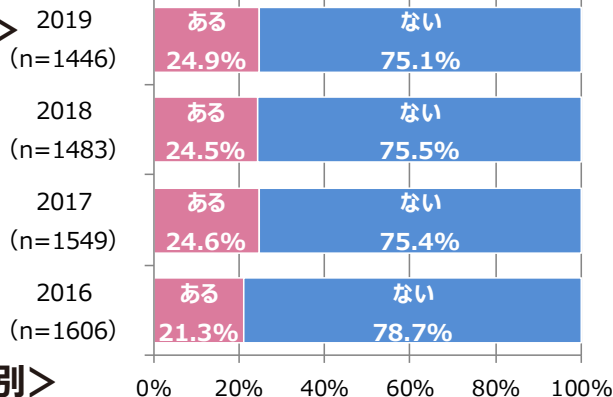
A サロンでの相談経験は？(全体ベース)

- 過去調査と同様に、相談経験がある人は女性の方が多い。
- 相談経験がある人の割合は年代による差が大きく、男性では若年層が、女性では中高年層が多い。

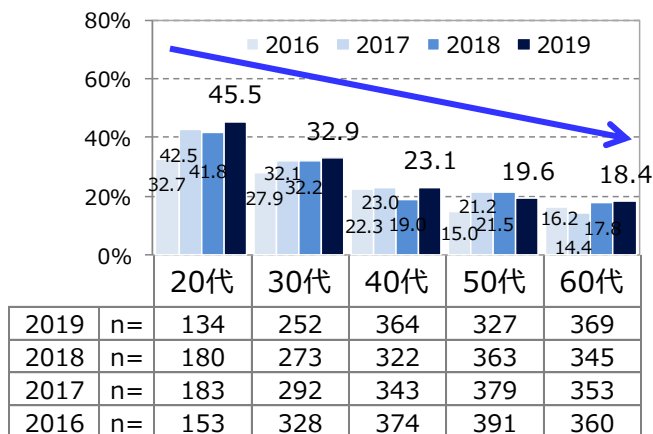
サロンでの相談経験

男性

<全体>



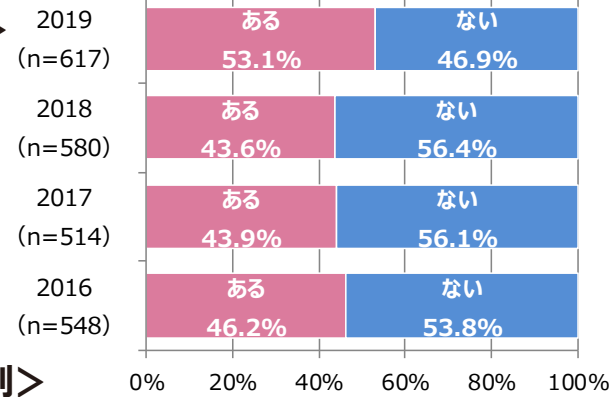
<年代別>



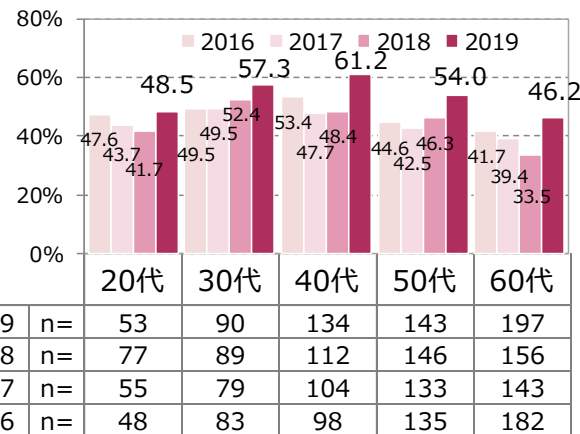
2019	n=	134	252	364	327	369
2018	n=	180	273	322	363	345
2017	n=	183	292	343	379	353
2016	n=	153	328	374	391	360

女性

<全体>



<年代別>



2019	n=	53	90	134	143	197
2018	n=	77	89	112	146	156
2017	n=	55	79	104	133	143
2016	n=	48	83	98	135	182

A サロンでどんなアドバイスをもらった？(相談した人ベース)

- 薄毛対策としては男女ともに「カットの仕方の変更」が、さらに女性では「ボリュームアップできるパーマや髪型の提案」が多く行われている。
- アドバイスとしては、男性では「頭皮ケアに関するアドバイス」が、女性では「洗髪・乾かし方に関するアドバイス」が多い。

男性

	年 n=	2019 360
1	カットの仕方の変更	49.2%
2	頭皮ケアに関するアドバイス	47.8%
3	薄毛対策用シャンプーやトリートメントの紹介	38.9%
4	ヘッドスパ・ヘッドマッサージ	34.4%
5	洗髪・乾かし方に関するアドバイス	28.3%
6	ボリュームアップできるパーマや髪型の提案	24.7%
7	スタイリングの仕方に関するアドバイス	18.9%
8	食生活・生活改善に関するアドバイス	14.7%
9	その他	2.8%

女性

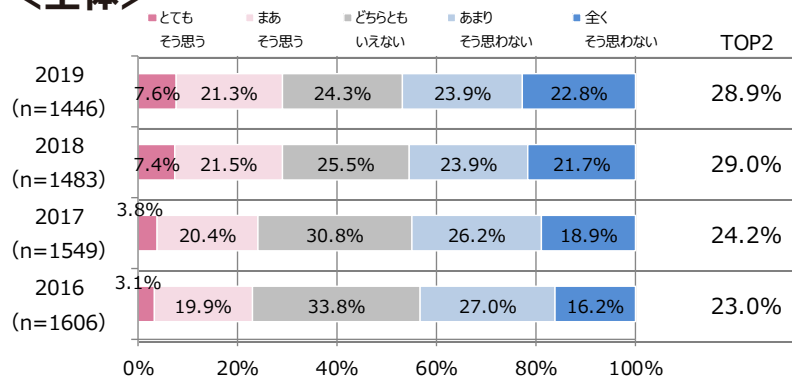
	年 n=	2019 328
1	カットの仕方の変更	44.5%
2	洗髪・乾かし方に関するアドバイス	40.3%
3	ボリュームアップできるパーマや髪型の提案	39.1%
4	頭皮ケアに関するアドバイス	33.9%
5	ヘッドスパ・ヘッドマッサージ	28.9%
6	スタイリングの仕方に関するアドバイス	28.7%
7	薄毛対策用シャンプーやトリートメントの紹介	24.2%
8	食生活・生活改善に関するアドバイス	5.3%
9	その他	3.7%

A サロンでの相談意向は？（全体ベース）

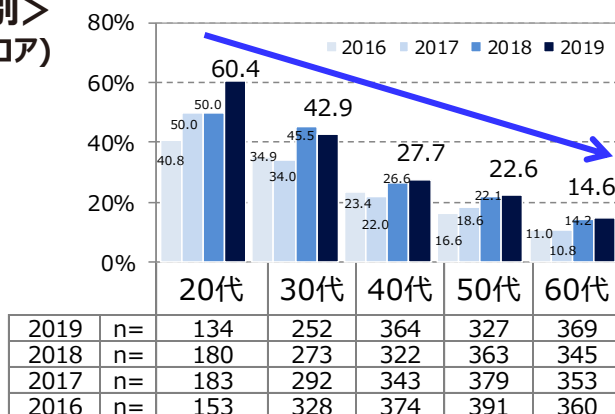
- 相談意向も、相談経験の有無と同様に男性よりも女性で高め。
- 男性では若年層ほど相談意向が高い傾向が顕著になるが、女性では高年代の相談意向が高まっており年代による相談意向の差が縮まってきている。

男性

<全体>

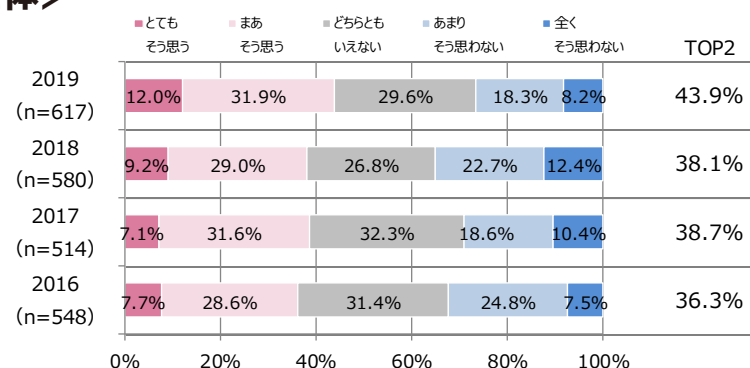


<年代別> (TOP2スコア)

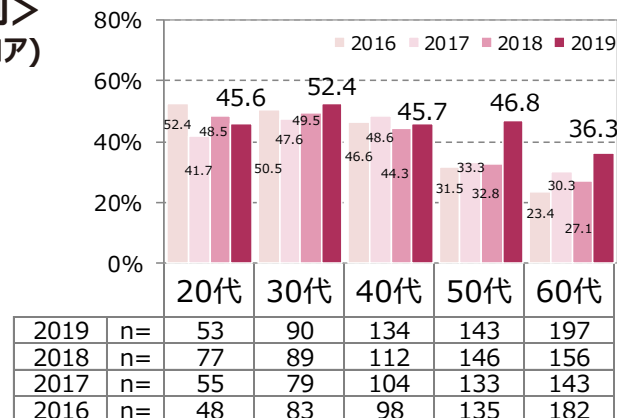


女性

<全体>



<年代別> (TOP2スコア)



A サロンでの相談意向なしの理由は？

↑ 前回比5pt以上アップ
↓ 前回比5pt以上ダウン

- 男性は「美容室・理容室で相談することではない」「親しくない」のスコアが高く、また前回から増加している。
- 女性では「親しくない」「商品売りつけられそう」「恥ずかしい」など、心理的な距離感・不信感・負担感がハードルとなっている。

男性

女性

サロンで相談したくない理由

	年 n=	2019 676	2018 675	2017 698	2016 695
1	美容室・理容室で相談することではないと思うため	↑ 50.6%	45.3%	57.1%	55.6%
2	悩みを言えるほど親しくないため	↑ 37.9%	30.6%	35.0%	33.8%
3	言い出すのが恥ずかしいため	25.3%	23.1%	19.2%	20.3%
4	相談してもいいアドバイスがもらえないと思うため	25.0%	27.5%	23.9%	27.0%
5	商品売りつけられそうな気がするため	18.8%	16.9%	16.9%	17.1%
6	周囲のお客さんに聞かれると恥ずかしいため	13.9%	12.4%	13.0%	11.4%
7	追加のメニュー（施術）を勧められそうな気がするため	13.2%	11.1%	10.6%	10.4%

	年 n=	2019 164	2018 203	2017 149	2016 177
1	悩みを言えるほど親しくないため	46.0%	45.1%	48.9%	36.8%
2	商品（シャンプー・トリートメント・ドライヤーなど）を売りつけられそう	39.1%	36.8%	33.0%	40.3%
3	言い出すのが恥ずかしいため	↑ 36.2%	28.4%	30.0%	26.3%
4	相談してもいいアドバイスがもらえないと思うため	↓ 28.5%	33.7%	28.2%	34.6%
5	周囲のお客さんに聞かれると恥ずかしいため	24.3%	20.3%	18.8%	19.6%
6	追加のメニュー（施術）を勧められそうな気がするため	24.2%	25.0%	23.2%	25.1%
7	美容室・理容室で相談することではないと思うため	↓ 23.5%	32.9%	30.9%	42.2%

【年代別傾向】

- 20代は「相談するほど親しくない」「恥ずかしい」と考えている人が多い

A サロンで相談したくなる状況とは？(相談したくない人ベース)

↑前回比5pt以上アップ
↓前回比5pt以上ダウン

- 男女ともに「どんな状況でも相談したくない」が最も多いが、前回調査と比べスコアが下がっている。ただし、選択肢数を増やした影響の可能性があるため、これは今後も経過を観察したい項目である。
- 女性では新規選択肢の「勧誘がなければ」が23.8%と他選択肢と比べ高い。

男性

	n=	2019 676	2018 675	2017 698	2016 695
1	どんな状況でも相談したくない	59.3%	65.1%	64.1%	58.1%
2	カウンセリングシートがあれば	10.4%	11.2%	12.9%	15.0%
3	商品・メニューを売り込む勧誘がなければ	9.0%	-	-	-
4	カウンセリングや施術中などに、髪の毛の悩みについて聞いてくれたら	8.1%	10.4%	13.0%	12.8%
5	事前にネット上で悩みを伝えることができれば	8.0%	10.0%	6.3%	7.1%

女性

	n=	2019 164	2018 203	2017 149	2016 177
1	どんな状況でも相談したくない	41.0%	52.7%	57.8%	45.8%
2	商品・メニューを売り込む勧誘がなければ	23.8%	-	-	-
3	事前にネット上で悩みを伝えることができれば	15.9%	9.6%	5.0%	11.0%
4	店内にチラシやPOPがあって話すきっかけがあれば	11.8%	-	-	-
5	カウンセリングシートがあれば	11.5%	17.9%	11.2%	12.1%

サロンで相談したくなる状況

【年代別傾向】

- 20代は回答している項目が多く、他年代と比べて相談に対するハードルが低い可能性がある

男性の特徴

女性の特徴

薄毛の人の
薄毛への意識

- 約9割が薄毛への不安を感じている
- 薄毛についてとても悩んでいる・抵抗感がある人は8割弱
- 「薄毛を改善するのは難しい」は約7割と女性と同程度

- 9割以上が薄毛への不安を感じている
- 薄毛についてとても悩んでいる・抵抗感がある人は8割強と、男性よりも多い
- 「薄毛を改善するのは難しい」は約7割と男性と同程度

薄毛でない人の
薄毛への
意識・対策

- 約3割が薄毛への不安を感じている
- 薄毛に関する意識が全般的に女性より低い
- 薄毛対策として「育毛エッセンス・ローション・発育毛剤の使用」が最も多く、「薄毛対策用シャンプー・トリートメントの使用」が続く

- 3.5割程度が薄毛への不安を感じている
- 薄毛に関する意識が全般的に男性より高い
- 薄毛対策として「育毛エッセンス・ローション・発育毛剤の使用」が最も多く、「ヘッドスパ・ヘッドマッサージに行く」が続く

ヘアサロン
利用頻度と
薄毛不安の関係

- ヘアサロンの利用頻度と薄毛への不安の強さの間に相関関係は見えなかった

- ヘアサロンの利用頻度と薄毛への不安の強さの間に相関関係は見えなかった

気になり出した
年齢

- 女性よりも若干早め

- 男性よりも若干遅め

男性の特徴

女性の特徴

薄毛が
気になり出した
きっかけ

- 「鏡を見ていた時」が最も多い
- 「友人・知人から」の指摘が女性よりも多い
- 【前回比】「鏡を見ていた時」が**アップ**

- 「鏡を見ていた時」が最も多い
- 「抜け毛の量を見た時」が男性よりも多い

気になる目線

- 「職場の異性」「職場の同性」など、職場の人の目線を気にしがち
- 【経年傾向】「職場の同性」が2016年から**増加傾向**

- 「他人の目すべて」が気になる人が男性よりも多い
- 【経年傾向】「職場の異性」が2016年から**増加傾向**

薄毛を
分かち合う
ことがあるか

- 年代差が大きく、20～30代は分かち合う人が4割弱と多いが、40～60代は1～2割程度と少ない

- どの年代も2～3割程度が分かち合うことがある
- 【経年傾向】20代、30代、60代が**増加し、年代間の差が縮まっている**

薄毛について
話して
良かったこと

- 「知らなかった薄毛対策を知ることができた」が最も多く、女性よりも高い
- 【前回比】「口コミ・体験談が聞けた」「悩みを相談/解決できた」「ポジティブに考えられるようになった」が**ダウン**

- 「知らなかった薄毛対策を知ることができた」が最も多い
- 【前回比】「知らなかった薄毛対策を知ることができた」が**アップ**、「仲間が増えた」「悩みを相談/解決できた」が**ダウン**

	男性の特徴	女性の特徴
今行っている 薄毛対策	・「薄毛対策用シャンプーやトリートメント」「市販の薬や漢方」などの使用が女性より多い	・「薄毛が目立ちにくい分け目・髪型にする」人が男性より多い
今後 試してみたい 薄毛対策	・「薄毛治療できる病院・専門クリニック」「市販の薬や漢方」への興味が女性よりも高い	・「生活習慣に気をつける」「薄毛が目立ちにくい分け目・髪型にする」「ヘッドスパ・マッサージ」への興味が男性よりも高い
薄毛対策に かけている金額	・平均3,938円と、女性より高い	・平均2,761円と、男性より低い
薄毛対策に かけてもよい 金額	・平均4,747円と、女性より高い	・平均3,524円と男性より低い
施術の抵抗感	・「ウィッグ・カツラの装着」への抵抗感が女性よりも強め	・「内服薬の服用」「毛髪再生」への抵抗感が男性よりも強め
薄毛対策の 情報源	・インターネットやメディアを通じた情報収集がメインで、「理美容師に相談」はあまり出来ていない ・【前回比】「インターネット検索」がダウン	・「理美容師に相談」が男性より多い ・【前回比】「インターネット検索」「美容総合サイトや口コミサイト」の利用がダウン

	男性の特徴	女性の特徴
サロンでの 相談経験	「相談経験あり」は約25%と女性より低め	「相談経験あり」は5割強 【前回比】どの年代も相談経験率がアップ、特に40代で顕著
サロンで受けた アドバイス	「頭皮ケアに関するアドバイス」が女性より多い	「洗髪・乾かし方に関するアドバイス」が男性より多い
サロンでの 相談意向	「相談意向あり」は3割弱と女性より低め 【前回比】20代の意向が約10ptアップ	「相談意向あり」は4割強 【前回比】50代の意向が10pt以上アップ
サロンで相談 したくない理由	「理美容室で相談することではない」という意識が女性より強め 【前回比】「理美容室で相談することではない」「悩みを言えるほど親しくない」がアップ	「悩みを言えるほど親しくない」「商品売りつけられそう」が男性より高め 【前回比】「言い出すのが恥ずかしいため」がアップ、「相談してもいいアドバイスがもらえない」「理美容室で相談することではない」がダウン
サロンで相談 したくなる状況	「どんな状況でも相談したくない」が約6割と女性より抵抗感が強め 【前回比】「どんな状況でも相談したくない」がダウン	- 男性よりも抵抗感が弱め 【前回比】「事前にネット上で悩みを伝えることができれば」がアップ、「どんな状況でも相談したくない」「カウンセリングシートがあれば」がダウン

男性の特徴

- **自分から薄毛悩みについて言い出しにくい若年層の、相談相手となる**
- ✓ 20代は他年代と比べ他者に分かち合う人が多い一方で、自分から薄毛について話すことへの心理的障壁も大きい
 - ✓ 薄毛は理美容室で相談することでないという意識が強く、ヘアサロンと薄毛解決の紐付きが弱い
- ⇒カウンセリングシートでの何気ないヒアリングなどを通して薄毛悩みの相談ができるサロンであることを伝えることが重要

サロン利用
アップへのヒント

女性の特徴

- **金銭的負担の少ない薄毛対策を提案する**
- ✓ 薄毛を相談することで追加の商品やサービスを売り込まれることへの不安が大きい
- ⇒追加料金不要の範囲内で悩みの相談に乗り、まずは安心感を醸成することが必要
- **薄毛がカバーできる髪型、ヘッドスパなどを提案する**
- ✓ やってみたい対策として「薄毛が目立ちにくい分け目・髪型にする」「ヘッドスパ・ヘッドマッサージ」への興味が男性より高い
- ⇒まずは追加でお金のかからない「髪型の提案」をすることで薄毛への悩みに親身になってくれるサロンだと思わせることができると、サロン利用アップにつながる可能性がある

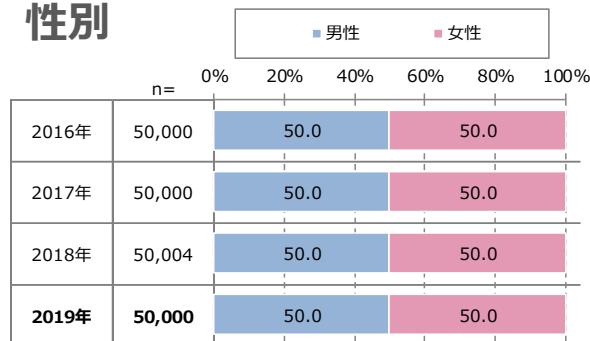


データ編

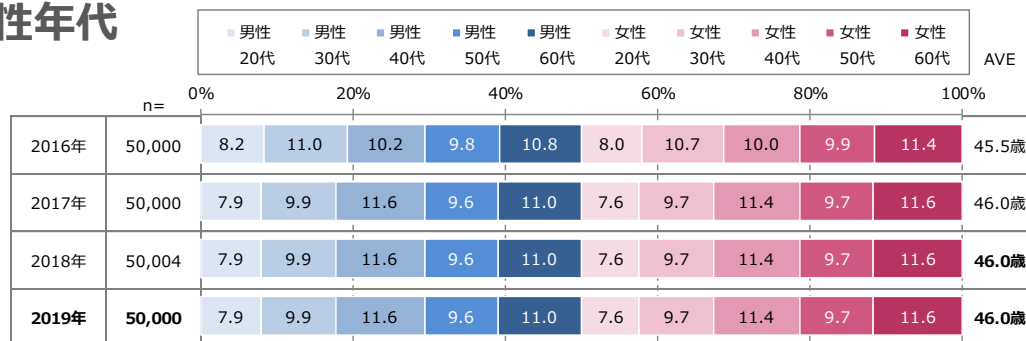
～薄毛・白髪調査 スクリーニング～

A 回答者属性①

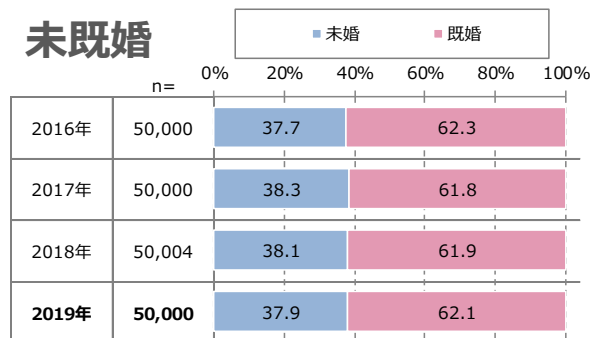
性別



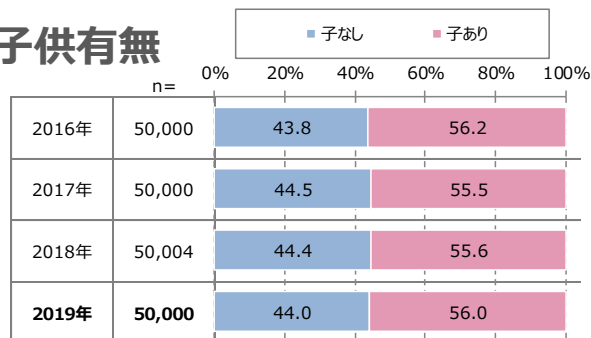
性年代



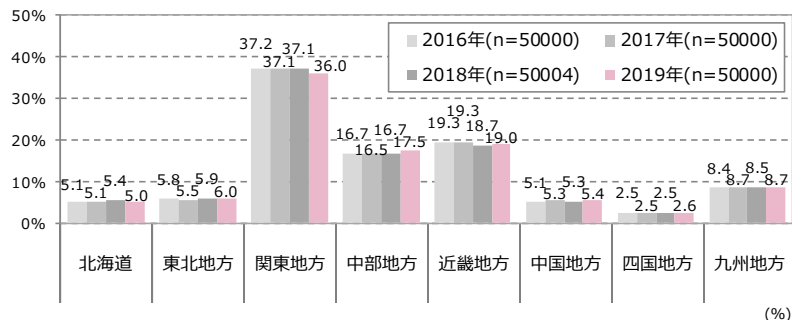
未婚既婚



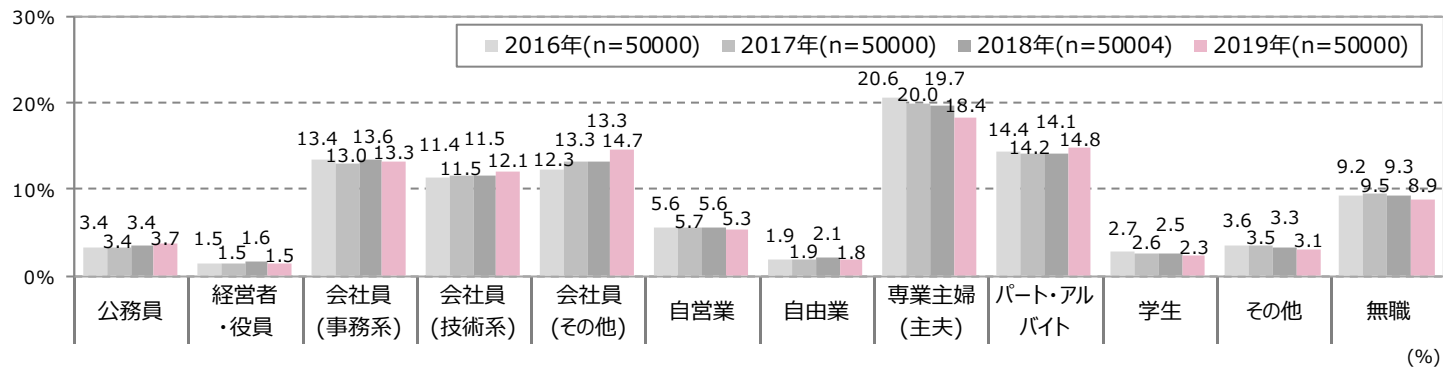
子供有無



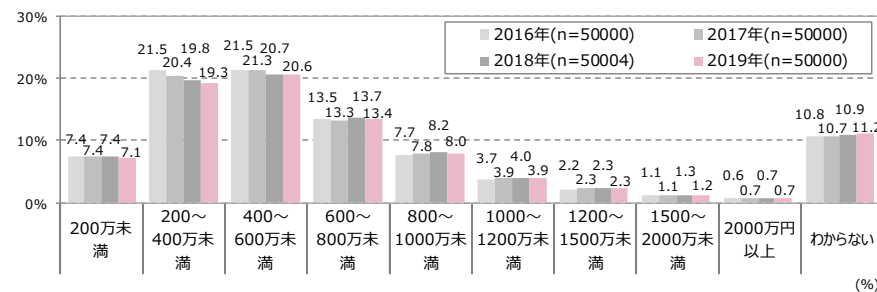
居住エリア



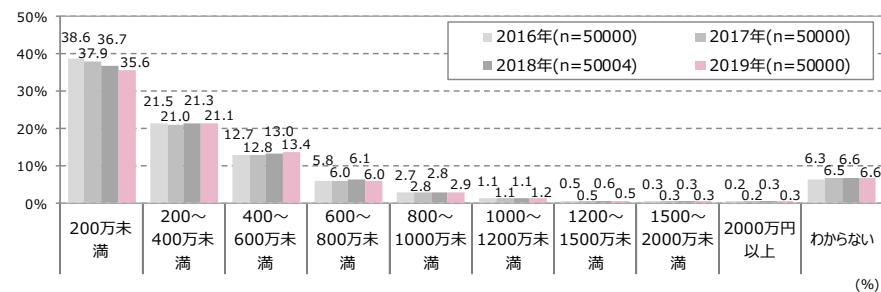
職業



世帯収入



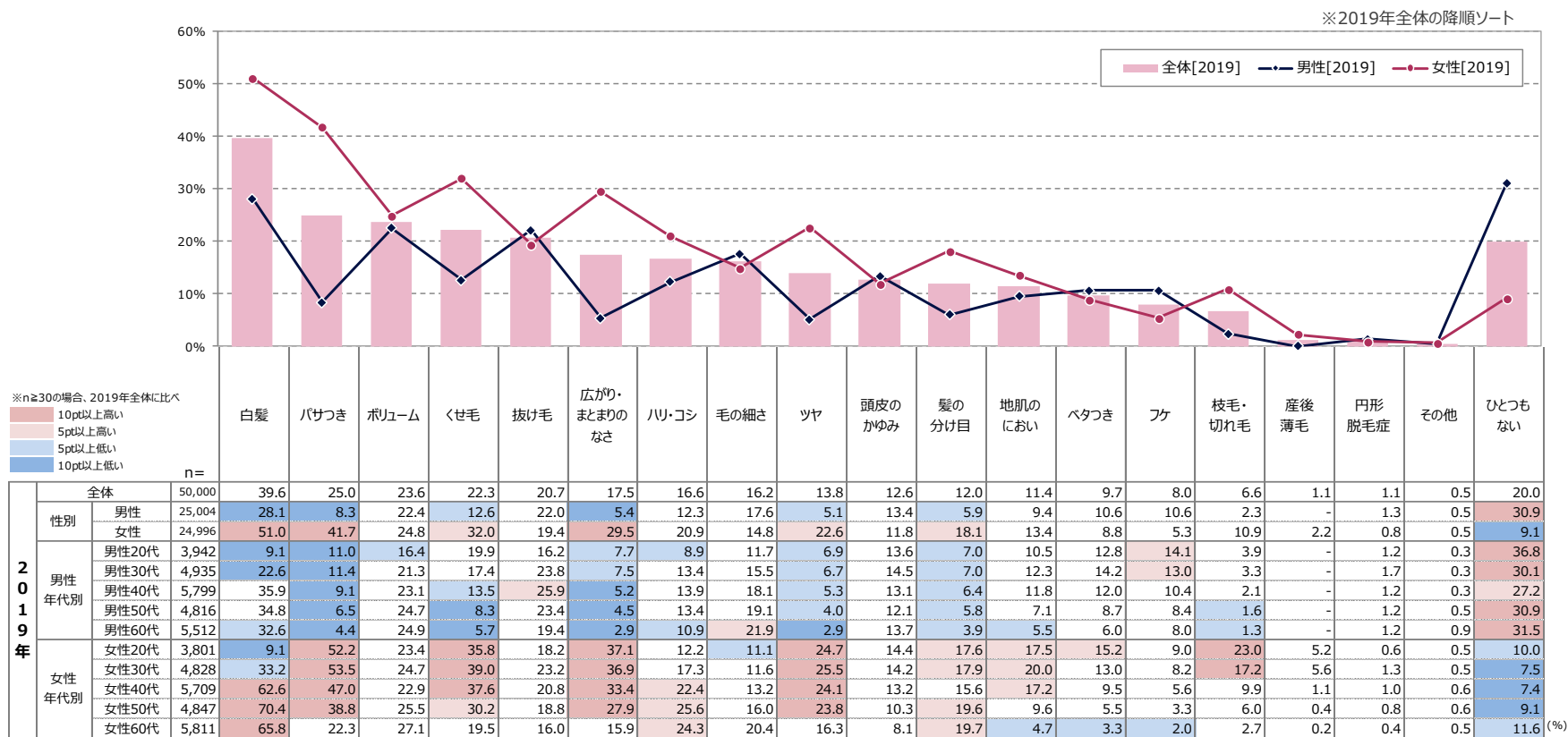
個人収入



A 髪や頭皮について気になること【現在の悩み】

- 現在の髪や頭皮の悩みは性差が著しく、特に「白髪」「パサつき」「くせ毛」「広がり」「ツヤ」「髪の分け目」などで女性が高め
- 一方、「ボリューム」は性差および年代差がほとんどみられない

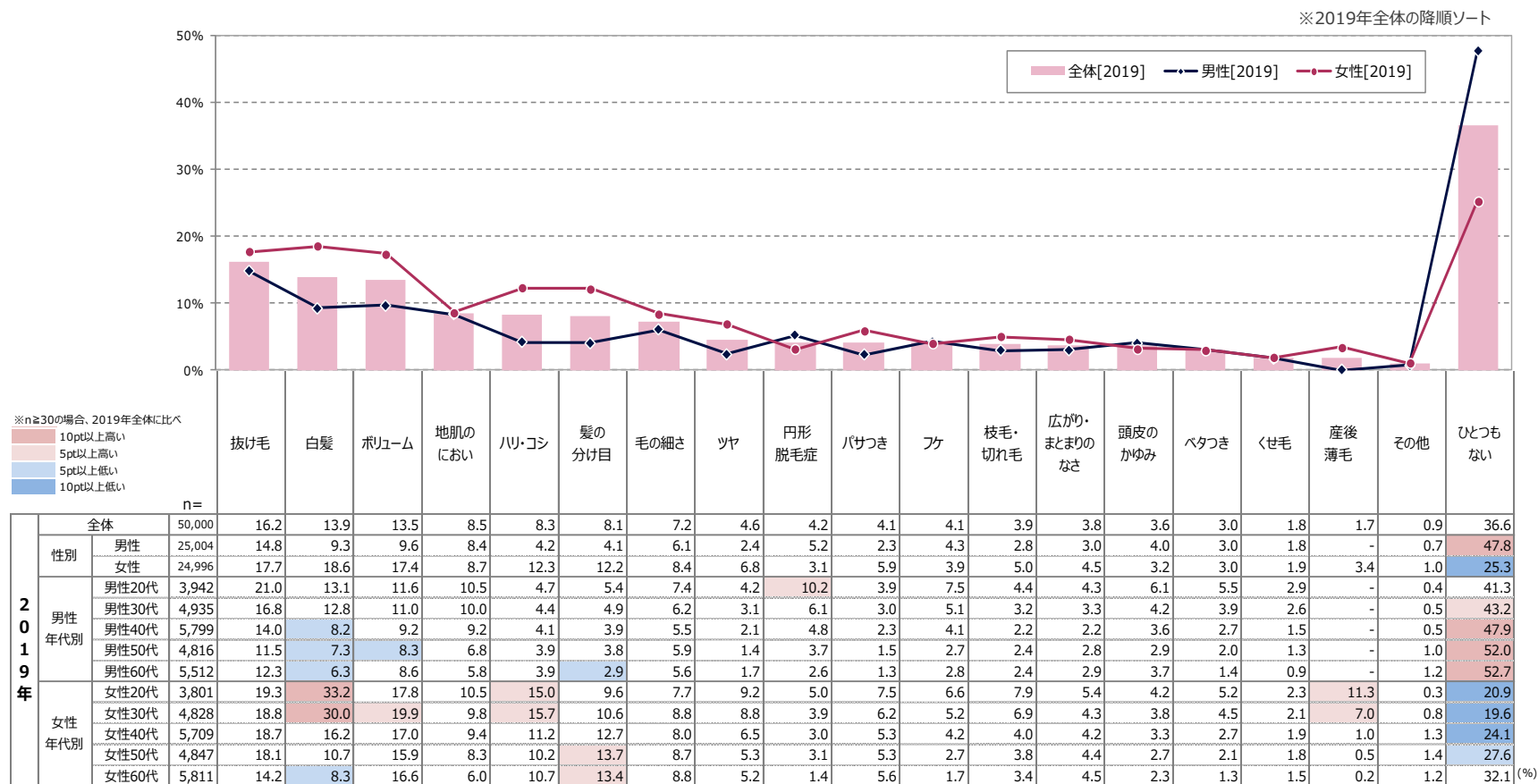
SQ1 ご自身の髪や頭皮に関して、現在気になることはありますか。【今現在気になっていること】(MAMT)



A 髪や頭皮について気になること【将来の不安】

- 将来の髪や頭皮の不安も、「白髪」「ボリューム」「ハリ・コシ」「髪の分け目」など、比較的多くの項目で女性が男性を上回る
- 「ボリューム」は女性の各年代で2割弱と、年代差がみられない

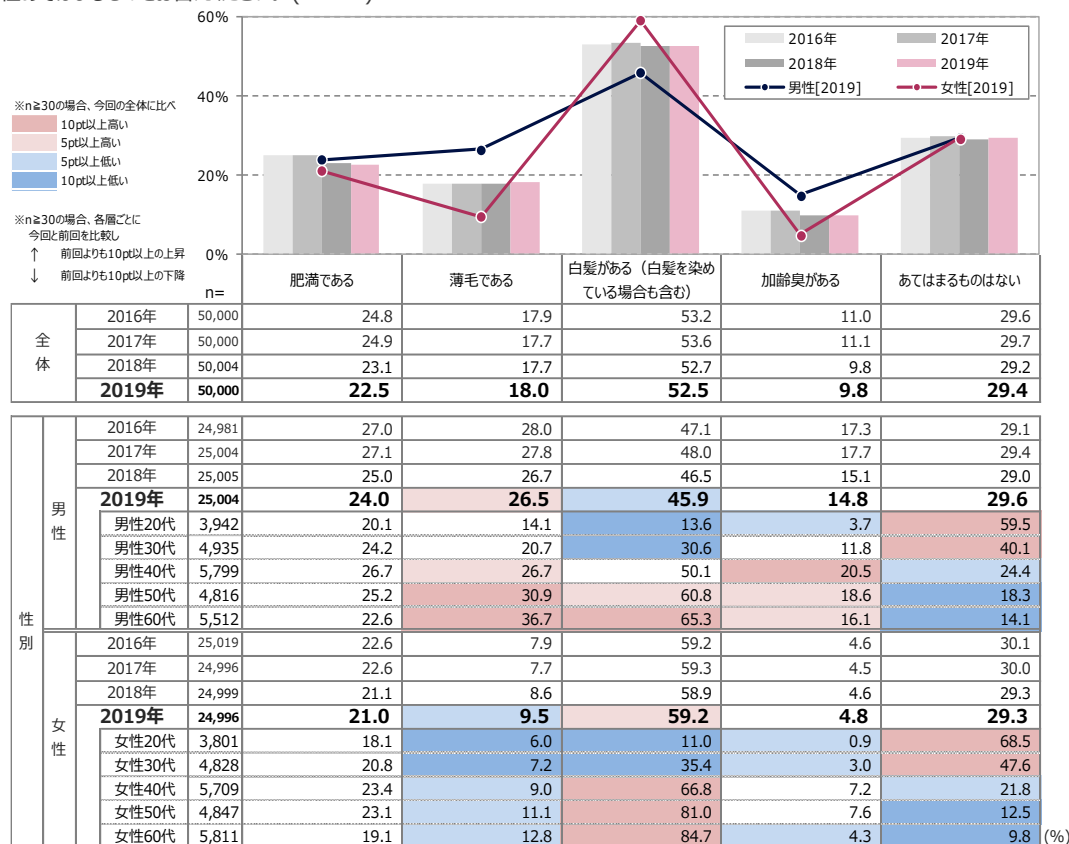
SQ1 ご自身の髪や頭皮に関して、現在気になることはありますか。【今は気にならないが、将来を考えると不安に思っていること】(MAMT)



A 体や髪/頭皮の現状

- ここ4年、「薄毛」の人は2割弱で、「白髪」の人は5割強で推移
- 「薄毛」は男性(26.5%)> 女性(9.5%)、「白髪」は女性(59.2%)> 男性(45.9%)
- 男女とも高年層ほど「薄毛」や「白髪」の人の比率が高まる

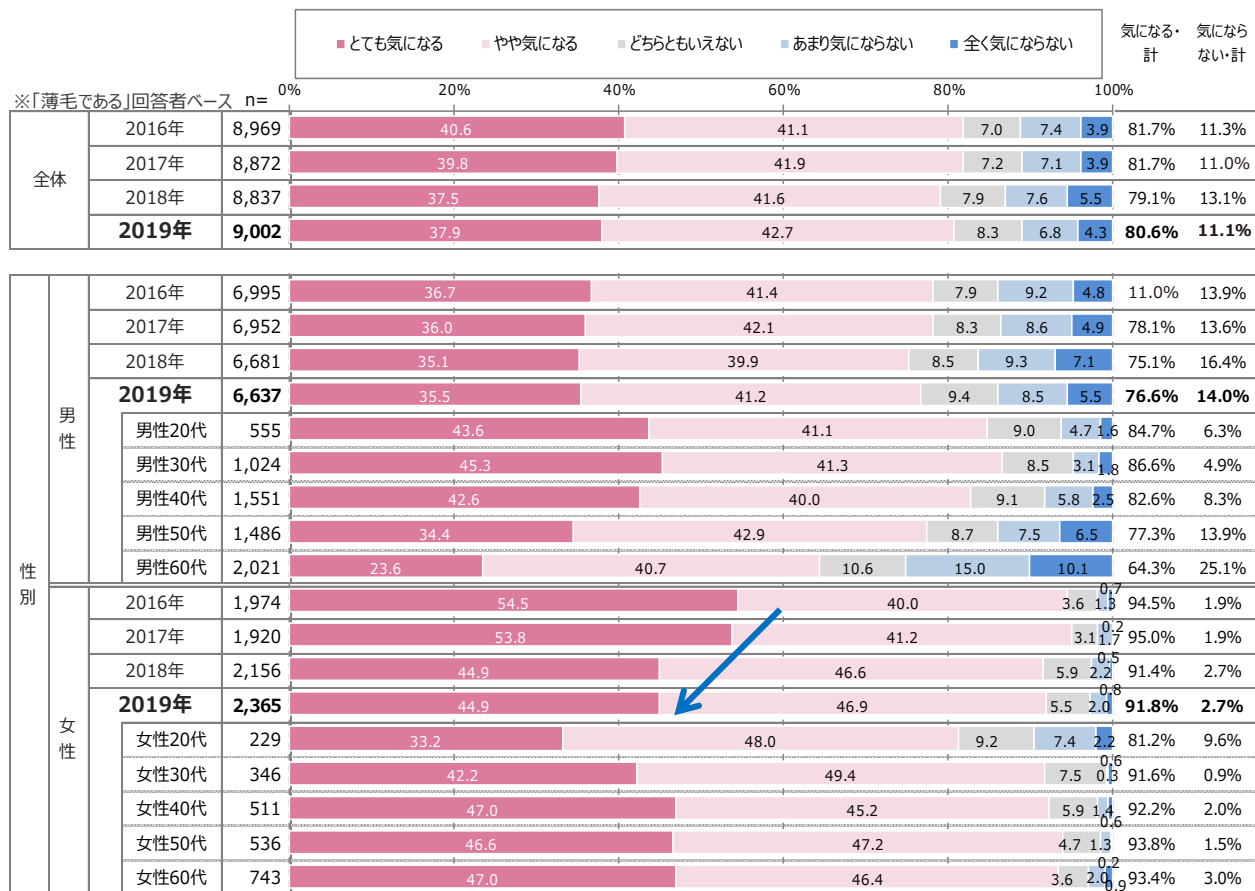
SQ2 ご自身の体の状況について、現在あてはまるものをお答えください。(MAMT)



A 髪/頭皮に関する悩み【薄毛】

- 「薄毛」の人の中で「薄毛が気になる」人は約8割と、2016年以降、横ばいで推移
- 「とても気になる」に着目すると、女性は年々低下傾向にある
- また、「とても気になる」人は男性では若年層ほど、女性は高年層ほど増える

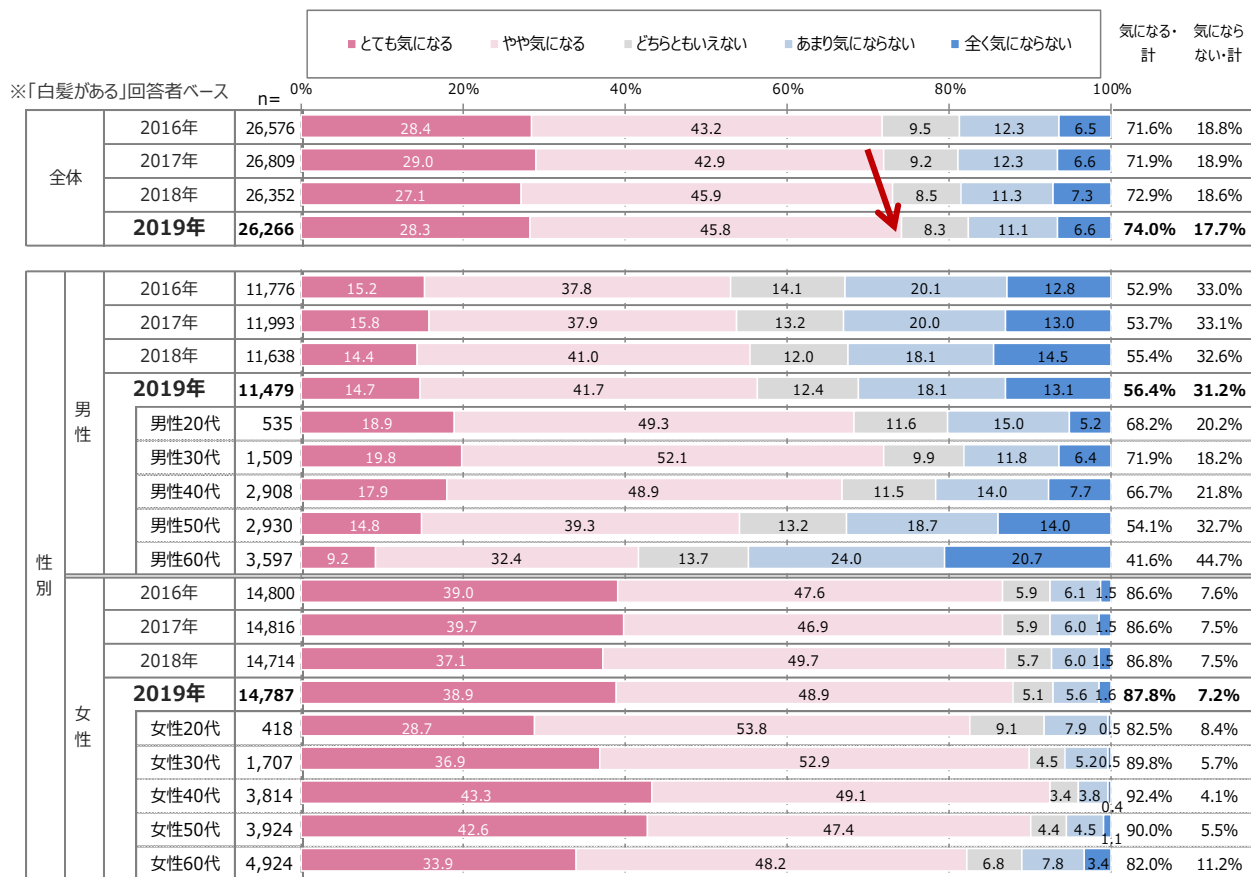
SQ3 あなたは現在、以下のことについて、どの程度気にしていますか。【薄毛について】(SAMT)



A 髪/頭皮に関する悩み【白髪】

- 「白髪」の人の中で「薄毛が気になる」人は7割台半ば
- 2016年以降、微増傾向にある
- 「とても気になる」をみると、男性よりも女性で高く、特に女性40・50代で顕著

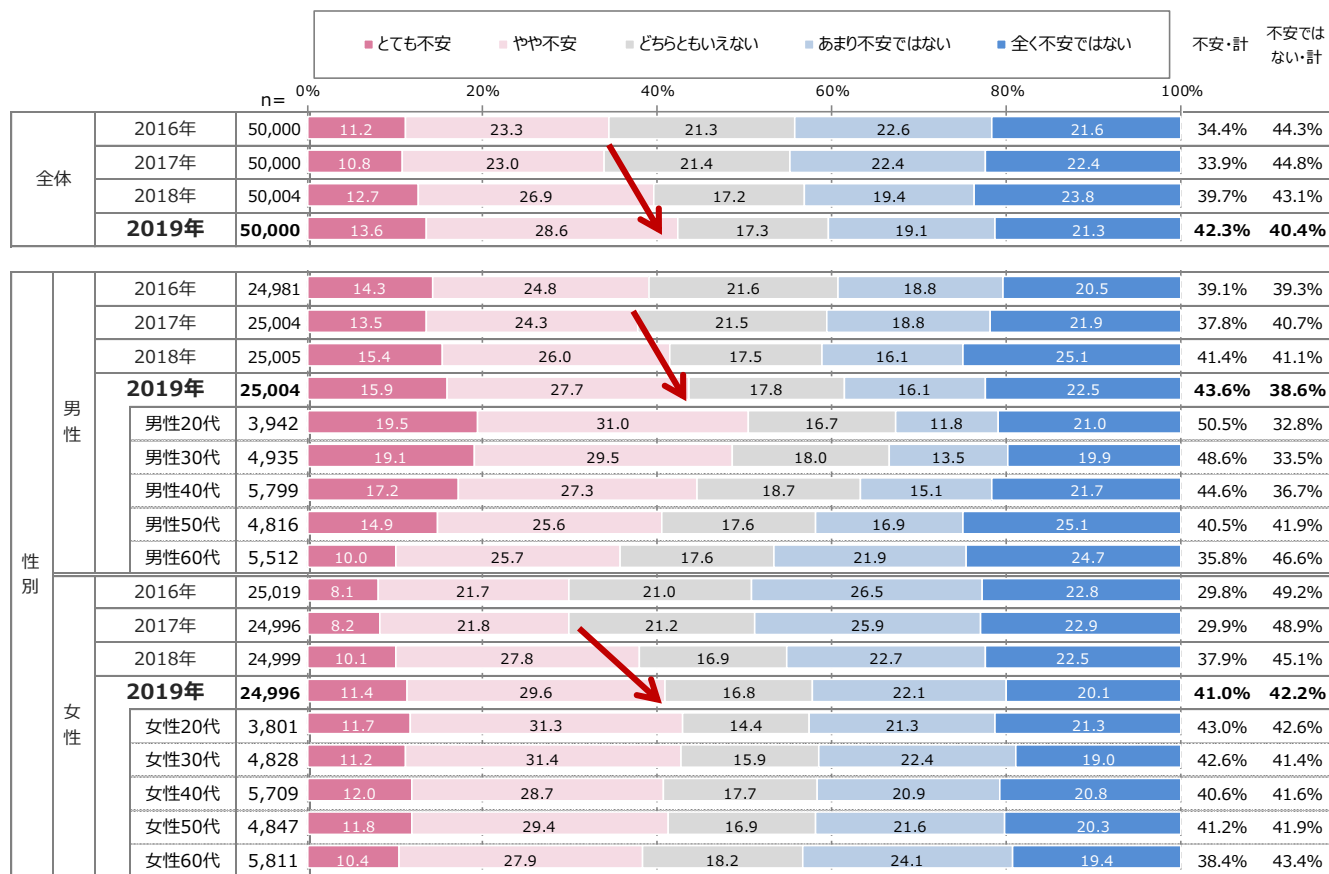
SQ3 あなたは現在、以下のことについて、どの程度気にしていますか。【白髪について】(SAMT)



A 将来の髪/頭皮に関する不安【薄毛】

- 経年でみると、将来の「髪/頭皮」の不安は、特に女性で高まりつつある
- 「髪/頭皮」の不安度は、2016年は男性<女性であったが、今回、男性≒女性
- 女性は年代差はほとんどないが、男性は若年層ほど不安度が高まる

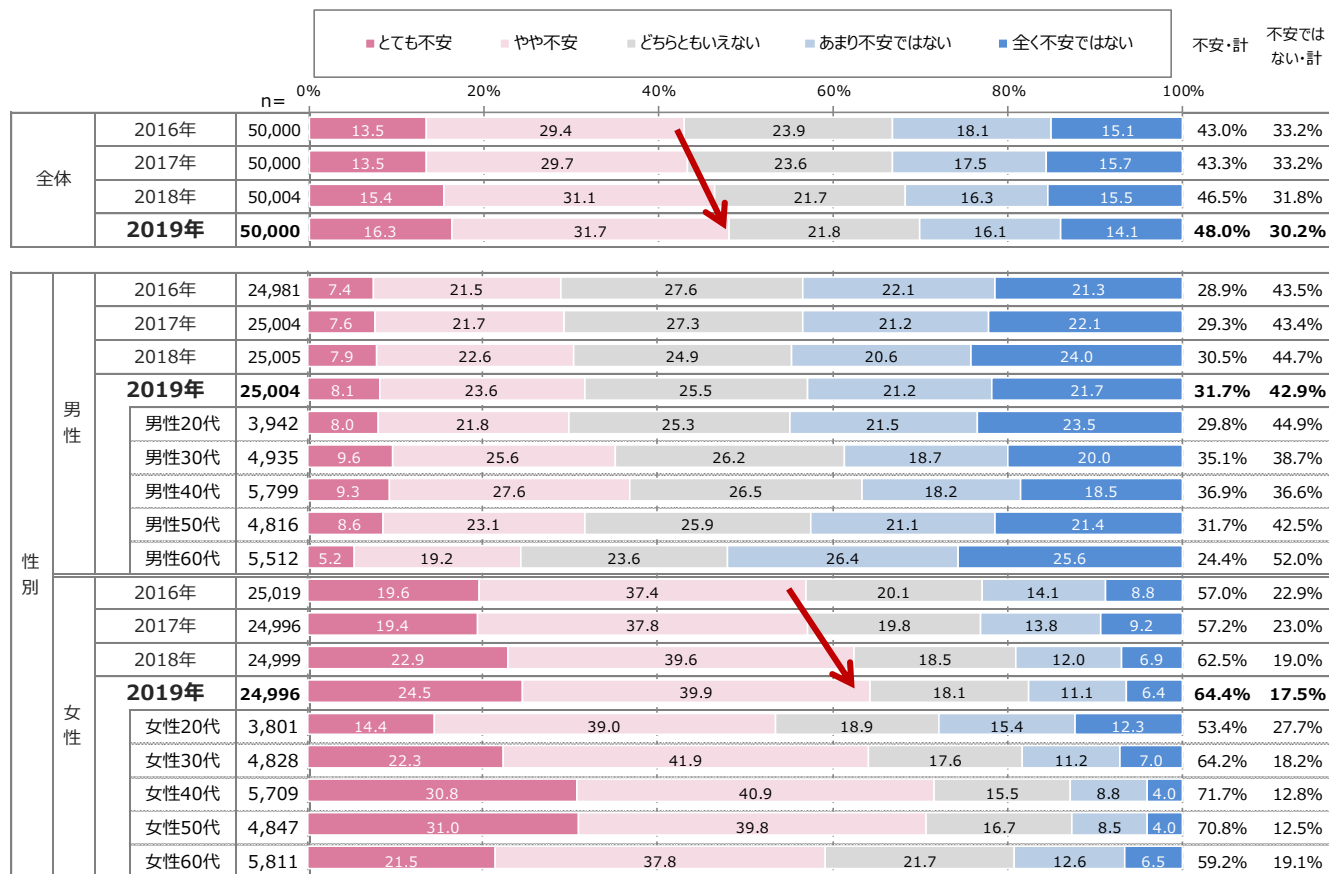
SQ4 今後や将来を考えた時、以下のことについてどの程度不安に思っていますか。【薄毛について】(SAMT)



A 将来の髪/頭皮に関する不安【白髪】

- 経年でみると、将来の「白髪」の不安も、特に女性で高まりつつある
- 「白髪」の不安度は、男性よりも女性の方が増加度合いが高い
- 「とても不安」をみると、女性40・50代で特に高い

SQ4 今後や将来を考えた時、以下のことについてどの程度不安に思っていますか。【白髪について】(SAMT)



A 将来の不安の理由【薄毛】

➤ 将来の「薄毛」の不安理由は性差がみられ、「遺伝」は男性で、「加齢」「髪のだメージが大きい（カラー、パーマ）」「ホルモンバランスの乱れ」は女性で高い

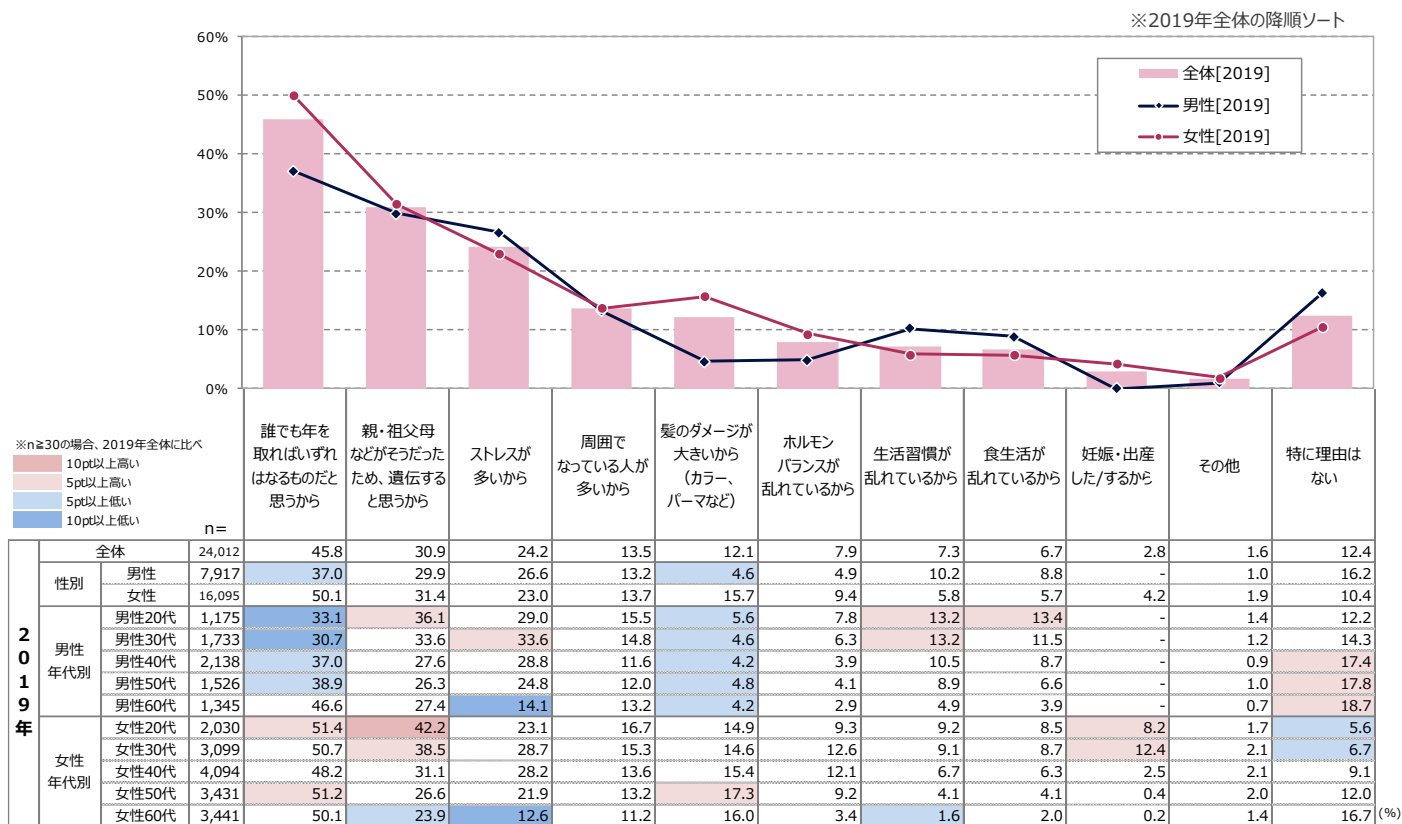
SQ5 今後や将来を考えたとき、以下のことを不安に思うのはなぜですか。理由をすべてお選びください。【薄毛について】(MAMT)



A 将来の不安の理由【白髪】

- 将来の「白髪」の不安理由は、男女とも「加齢」が最も高い
- 「加齢」と「髪のダメージが大きい（カラー、パーマ）」は、女性＞男性

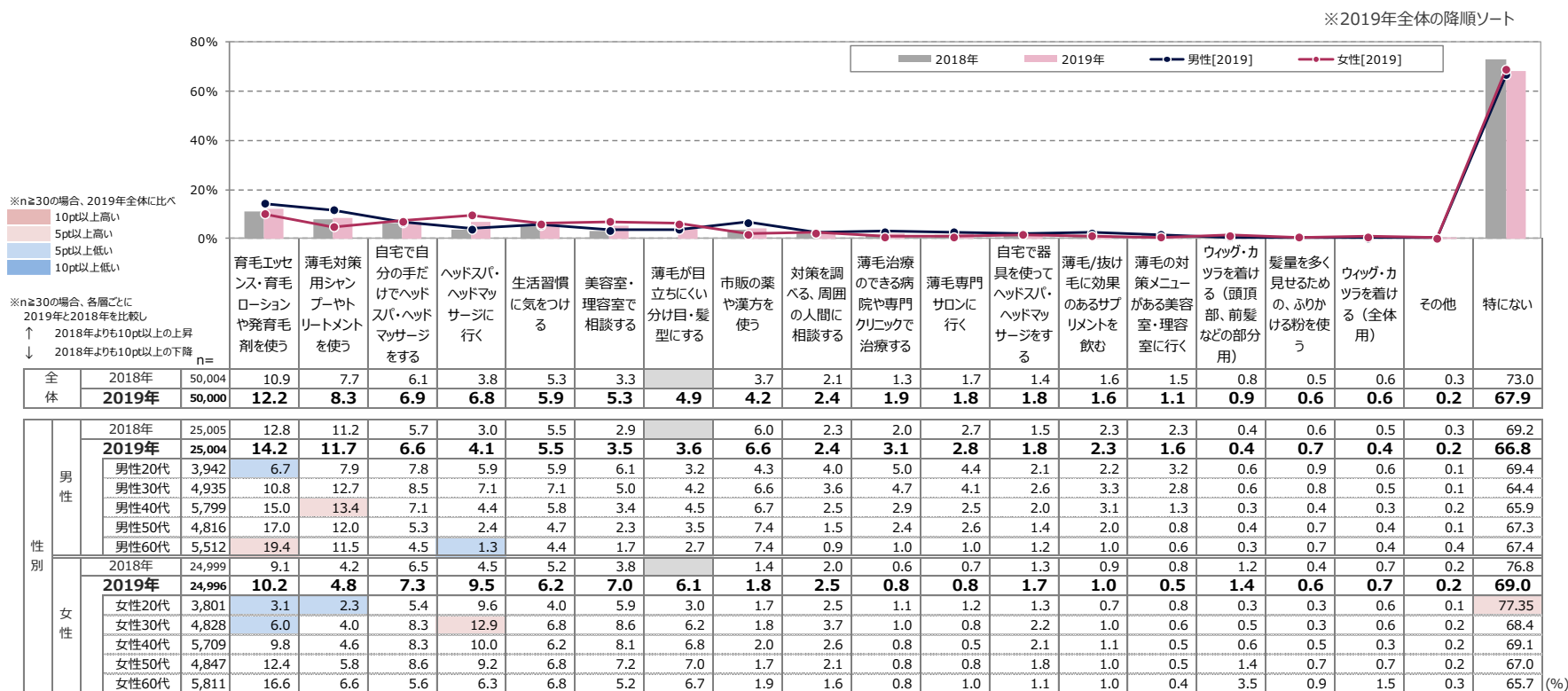
SQ5 今後や将来を考えたとき、以下のことを不安に思うのはなぜですか。理由をすべてお選びください。【白髪について】(MAMT)



A 薄毛に対するアクション経験【過去】

- 経年でみると「特にない」がやや減り、過去に何らかのアクションをした人が増加
- 男女とも「育毛エッセンス・育毛ローションや発育毛剤を使う」が1割台で最多
- そのほか男性では「薄毛対策用シャンプーやトリートメントを使う」、女性では「ヘッドスパ・ヘッドマッサージに行く」が続く

SQ6 薄毛のために行う行動について、お答えください。【過去実施したことがあるもの】(MAMT)



A 薄毛に対するアクション経験【現在】

➤男女とも「育毛エッセンス・育毛ローションや発育毛剤を使う」が最多だが、1割に満たない

➤「薄毛対策用シャンプーやトリートメントを使う」は男性の方が高い

SQ6 薄毛のために行う行動について、お答えください。【今行っているもの】(MAMT)

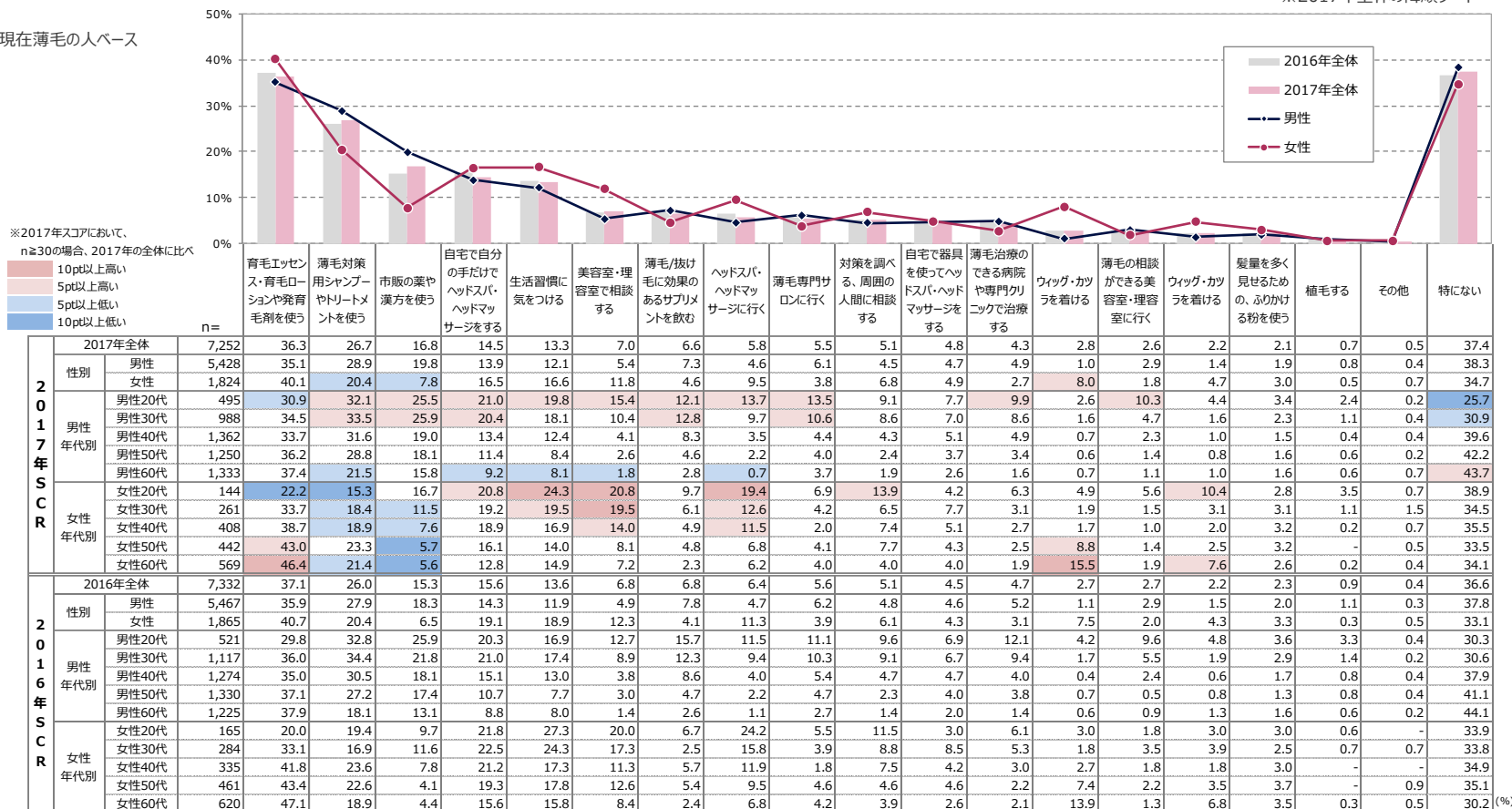


A 参考：薄毛に対するアクション経験（2016・17年）

SQ7 薄毛のために行う行動について、お答えください。（MAMT）

※現在薄毛の人ベース

※2017年全体の降順ソート

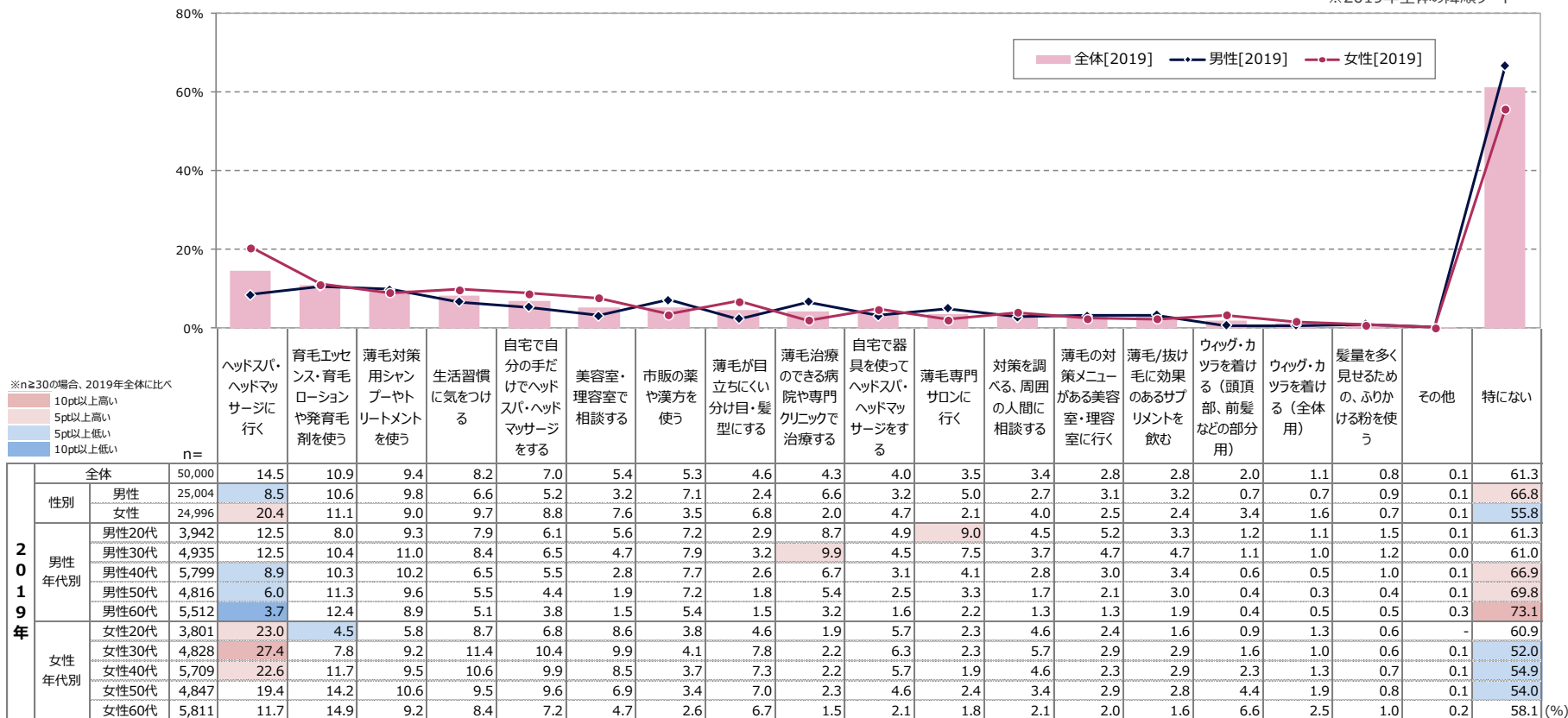


A 薄毛に対するアクション意向【今後】

- 全体で最多の「ヘッドスパ・ヘッドマッサージに行く」は、女性で特に高い
- 「育毛エッセンス・育毛ローションや発育毛剤を使う」と「薄毛対策用シャンプーやトリートメントを使う」は男女とも約1割

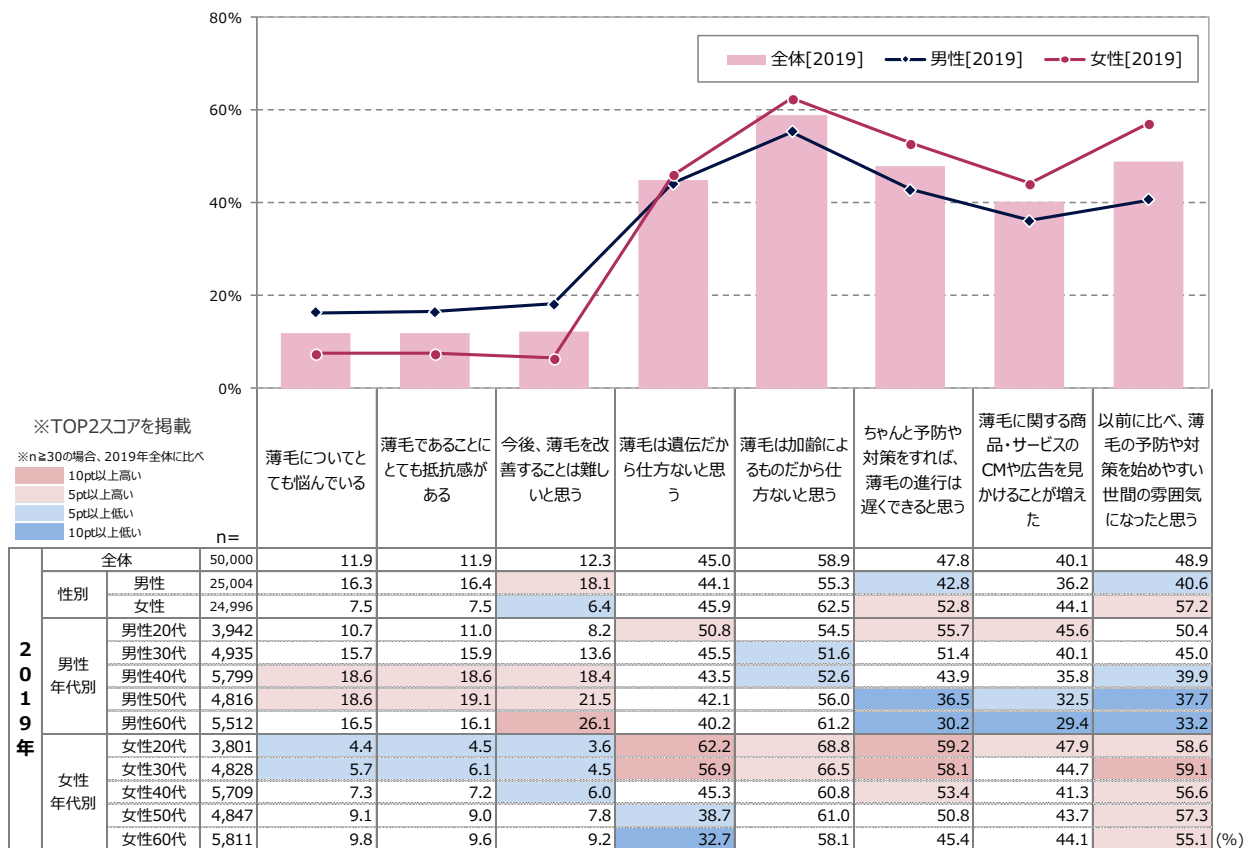
SQ6 薄毛のために行う行動について、お答えください。【今後試してみたいもの】(MAMT)

※2019年全体の降順ソート



➤「ちゃんと予防や対策をすれば、薄毛の進行は遅くできる」「以前に比べ、薄毛の予防や対策を始めやすい世間の雰囲気になったと思う」など『薄毛対策に対するポジティブ思考』は、女性（特に20・30代）で高い

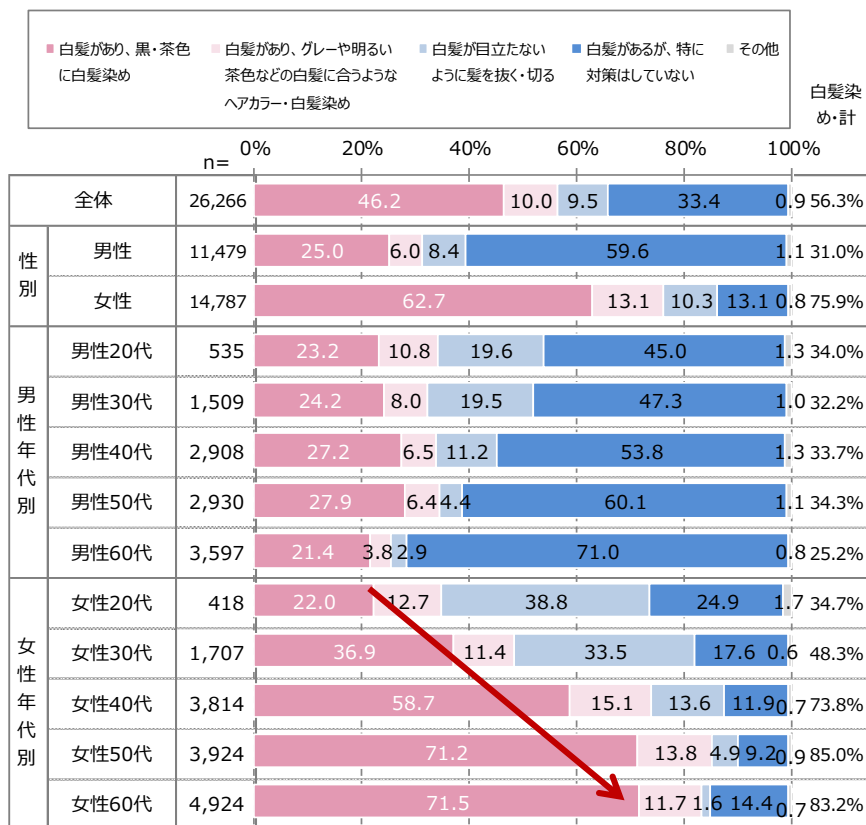
SQ7「薄毛」に関する以下それぞれについて、あなたのお気持ちに近いものをお知らせ下さい。(SA)



A 白髪染め有無【2019年】

- 今回調査の「白髪染め」実施者は全体で6割弱、男性は約3割、女性は8割弱と差が大きい
- 男性は高年層ほど「特に対策をしていない」が、女性は高年層ほど「黒・茶色に白髪染め」実施者が増える

SQ8 あなたは現在、白髪染めをしていますか。最もあてはまるものをお知らせください。【19年】(MA+SA)



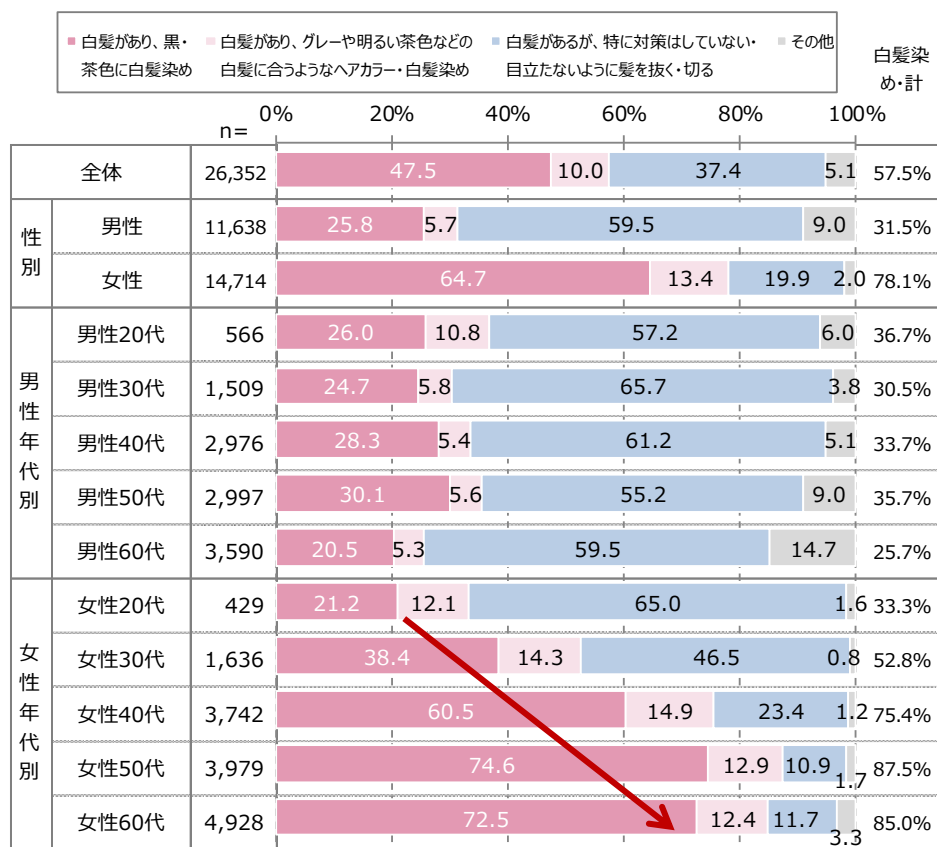
※「白髪がある」回答者ベース

A 白髪染め有無【2018年】

➤ 18年の「白髪染め」実施者は全体で6割弱、男性は約3割、女性は8割弱と差が大きい

➤ 女性は概ね高年層ほど「黒・茶色に白髪染め」実施者が増える

SQ8 あなたは現在、白髪染めをしていますか。最もあてはまるものをお知らせください。【18年】(MA+SA)

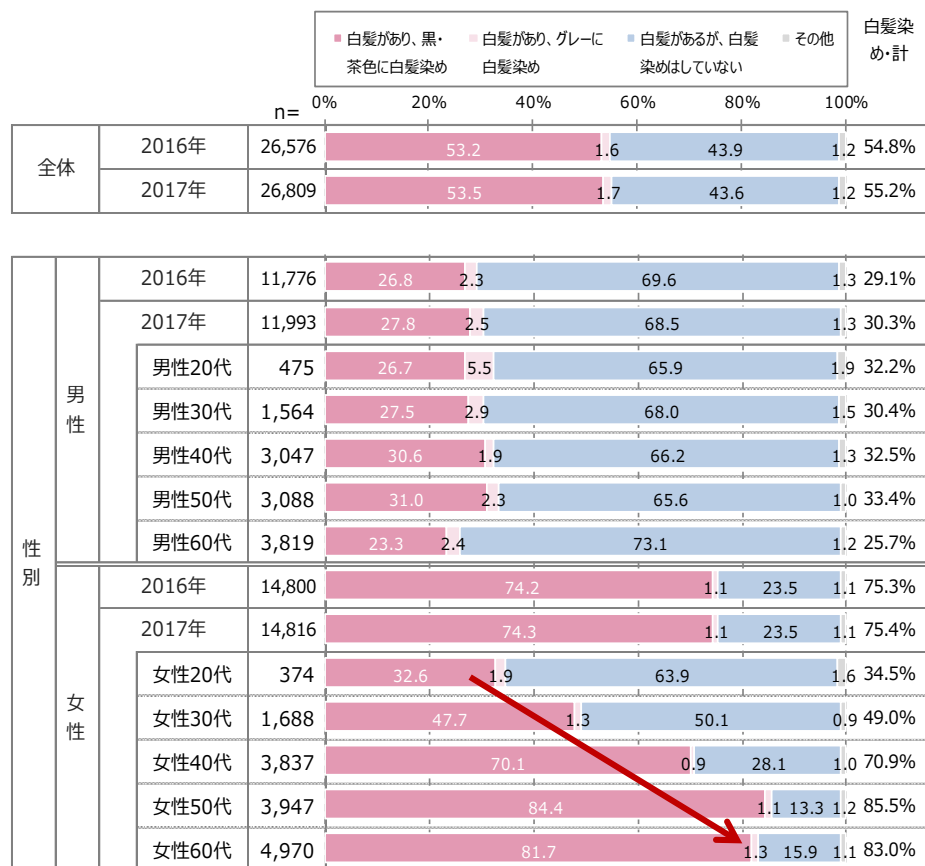


※「白髪がある」回答者ベース

A 白髪染め有無【2016・2017年】

- 16～17年はいずれも「白髪染め」実施者は5割台半ば
- 女性は概ね高年層ほど「黒・茶色に白髪染め」実施者が増える
- 男性は各年代で「黒・茶色に白髪染め」が2～3割台と平均的

SQ8 あなたは現在、白髪染めをしていますか。最もあてはまるものをお知らせください。【2016-2017年】(MA+SA)

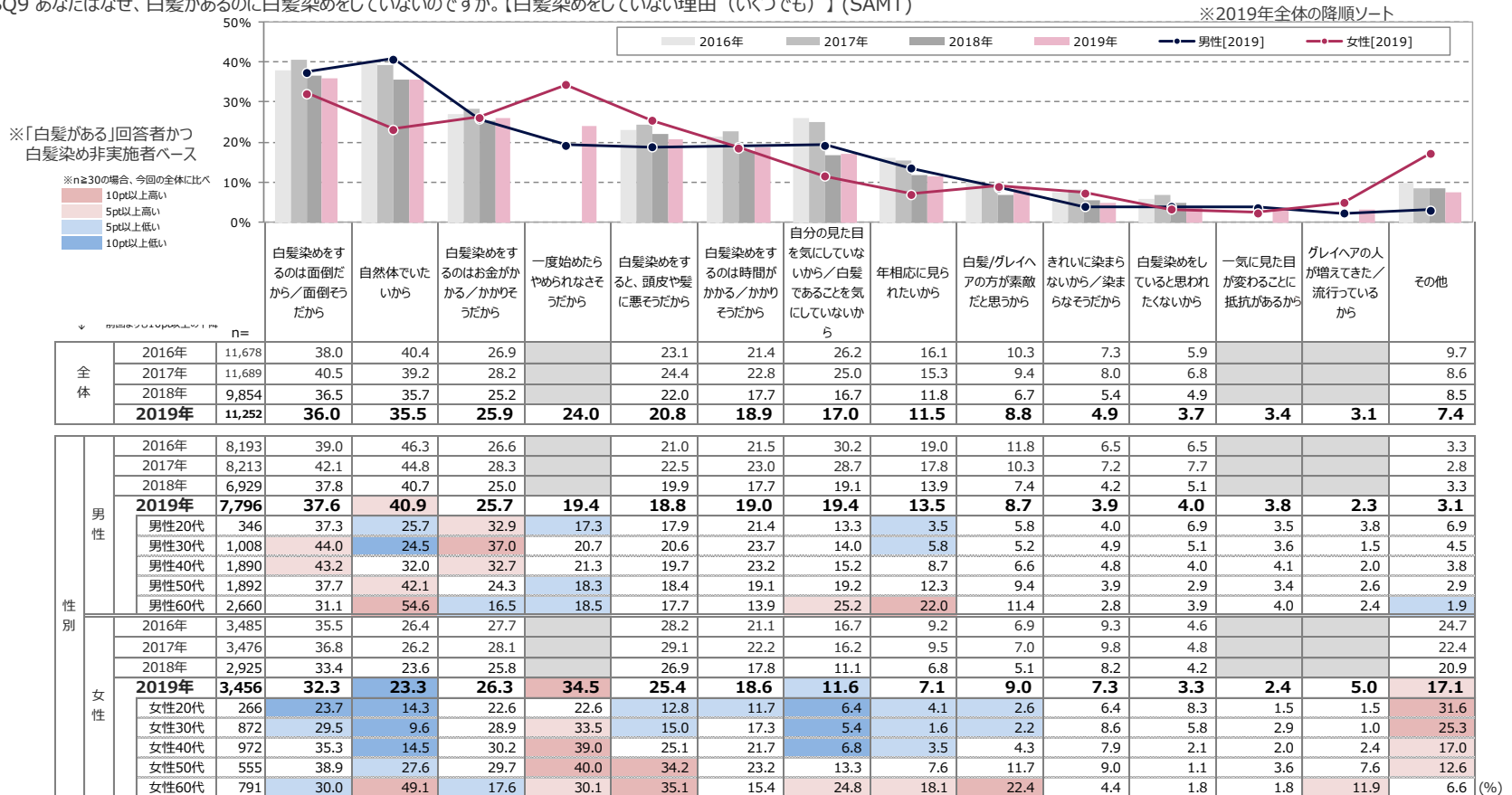


※「白髪がある」回答者ベース

A 白髪染めをしない理由【あてはまる理由すべて】

- 経年でみると「自然体でいたい」「白髪染めをすると、頭皮や髪に悪そう」などが微減
- 白髪染めをしない理由は性差が見られ、「白髪染めをするのは面倒」「自然体でいたい」は男性で、「一度始めたらやめられなさそう」「白髪染めをすると、頭皮や髪に悪そう」は女性で高め

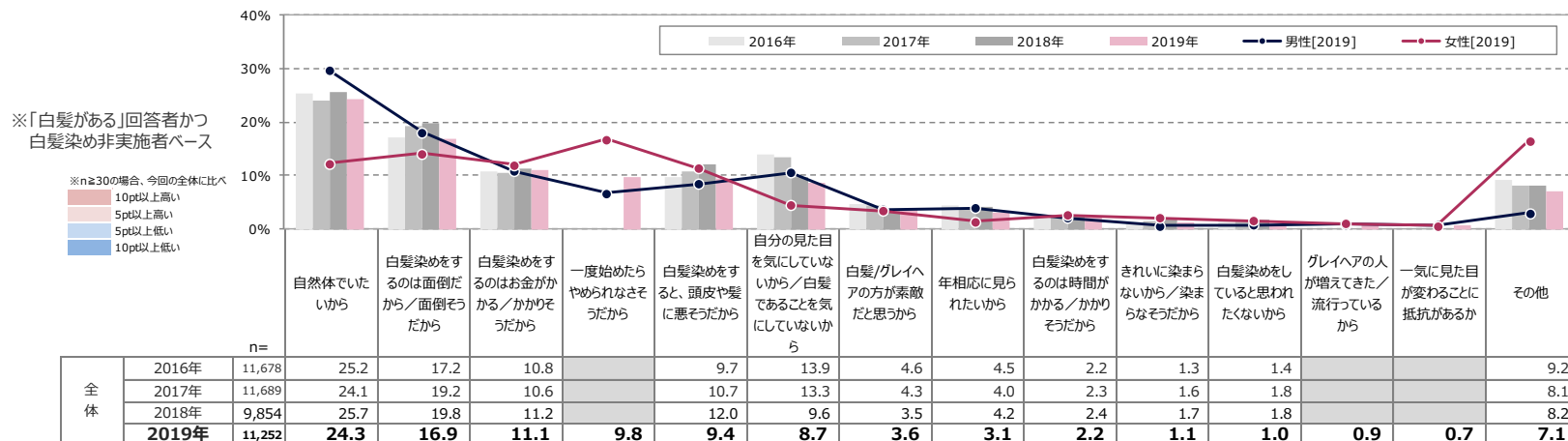
SQ9 あなたはなぜ、白髪があるのに白髪染めをしていないのですか。【白髪染めをしていない理由（いくつでも）】(SAMT)



- 経年でみると「見た目を気にしてない」がやや減少傾向にある
- 単一回答においても白髪染めをしない理由には性差が見られ、「自然体でいたい」は男性で、「一度始めたらやめられなさそう」は女性で高め

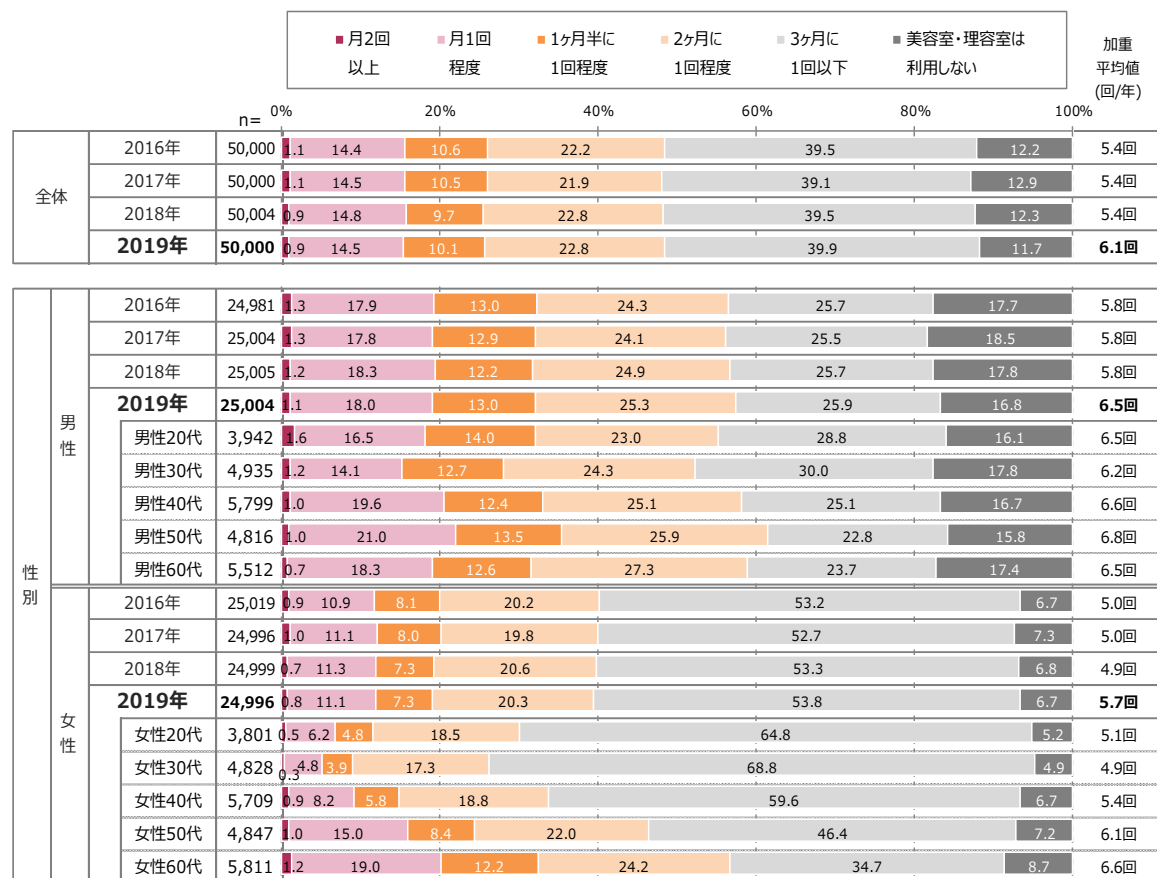
SO9 あなたはなぜ、白髪があるのに白髪染めをしていないのですか。【その中で最も大きな理由（1つだけ）】（SAMT）

※2019年全体の隆順ソート

[illegible]

- 2016年以降、理美容院の利用頻度は年に約5回で推移
- 男性は年代による利用頻度の差は少ないが、女性は30代と60代の差が顕著

SQ10 あなたは、美容室・理容室をどれくらいの頻度で利用していますか。(SA)

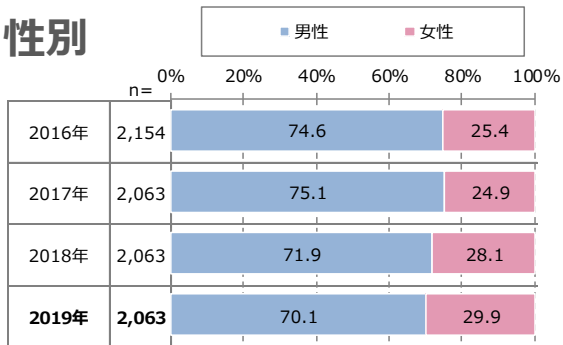




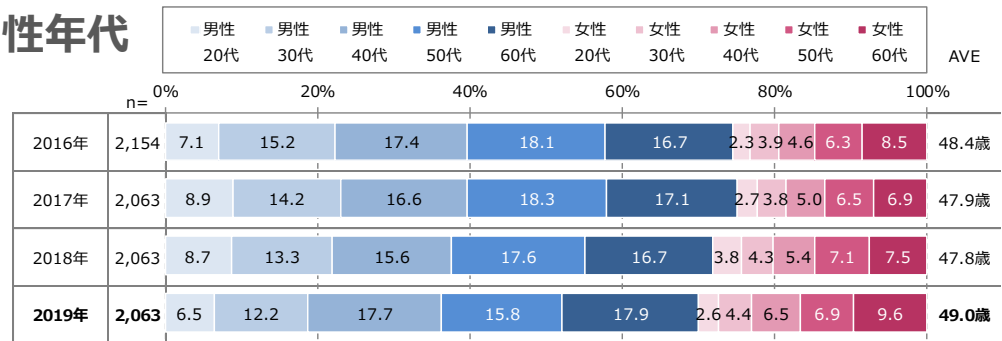
データ編 ～薄毛調査～

A 回答者属性①

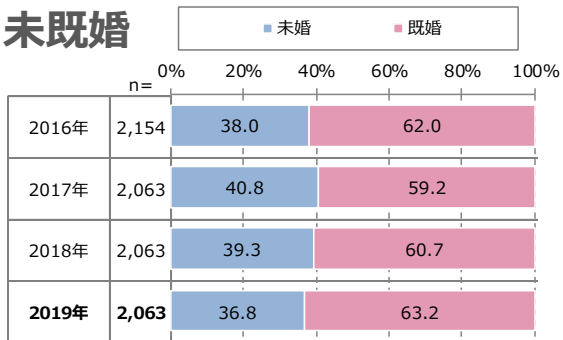
性別



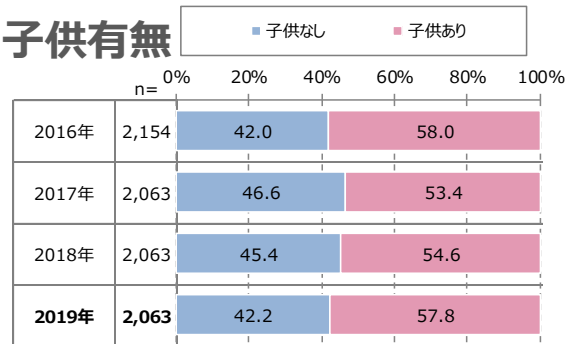
性年代



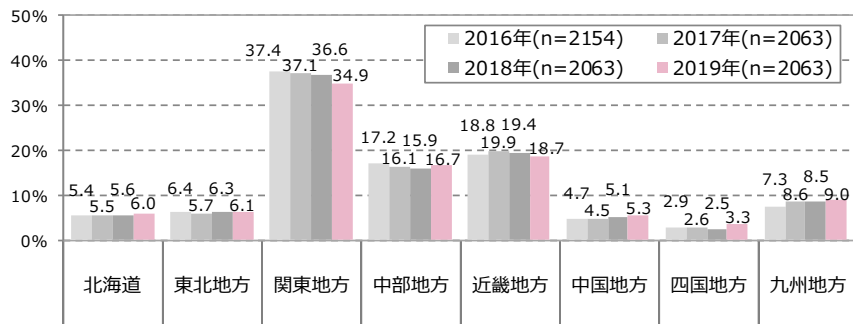
未既婚



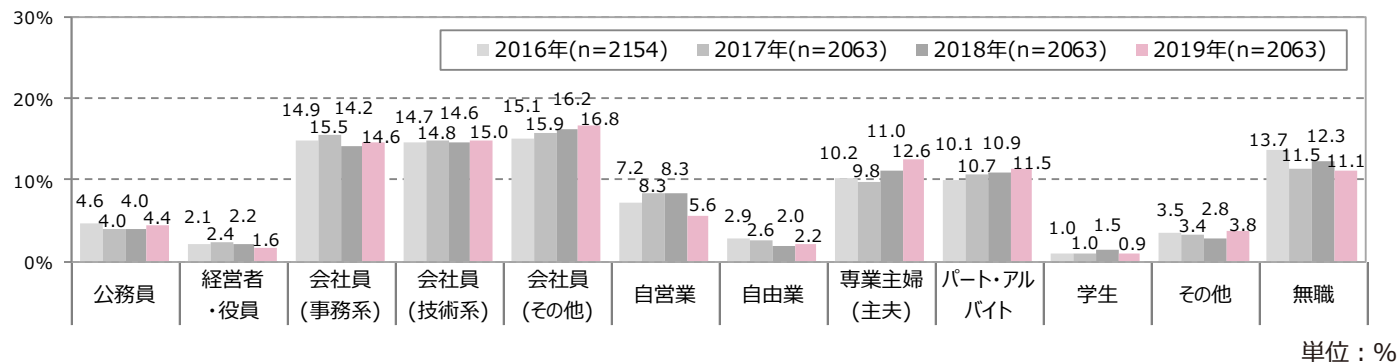
子供有無



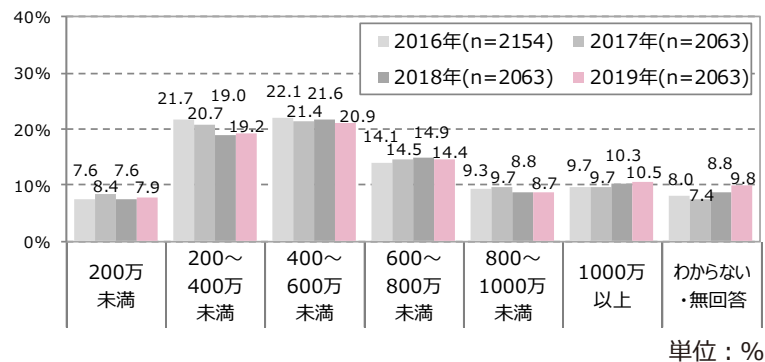
居住エリア



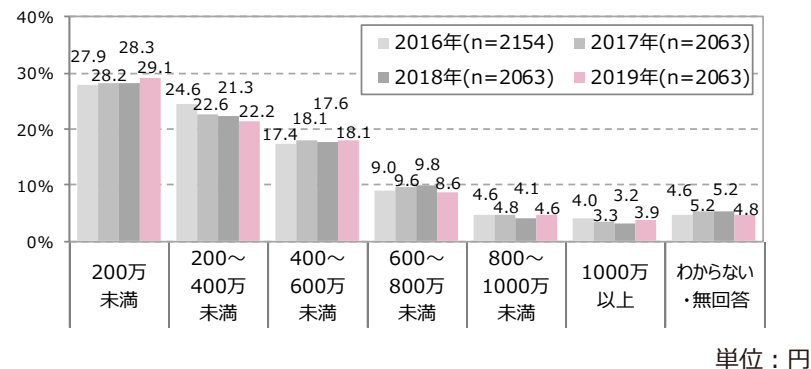
職業



世帯収入



個人収入

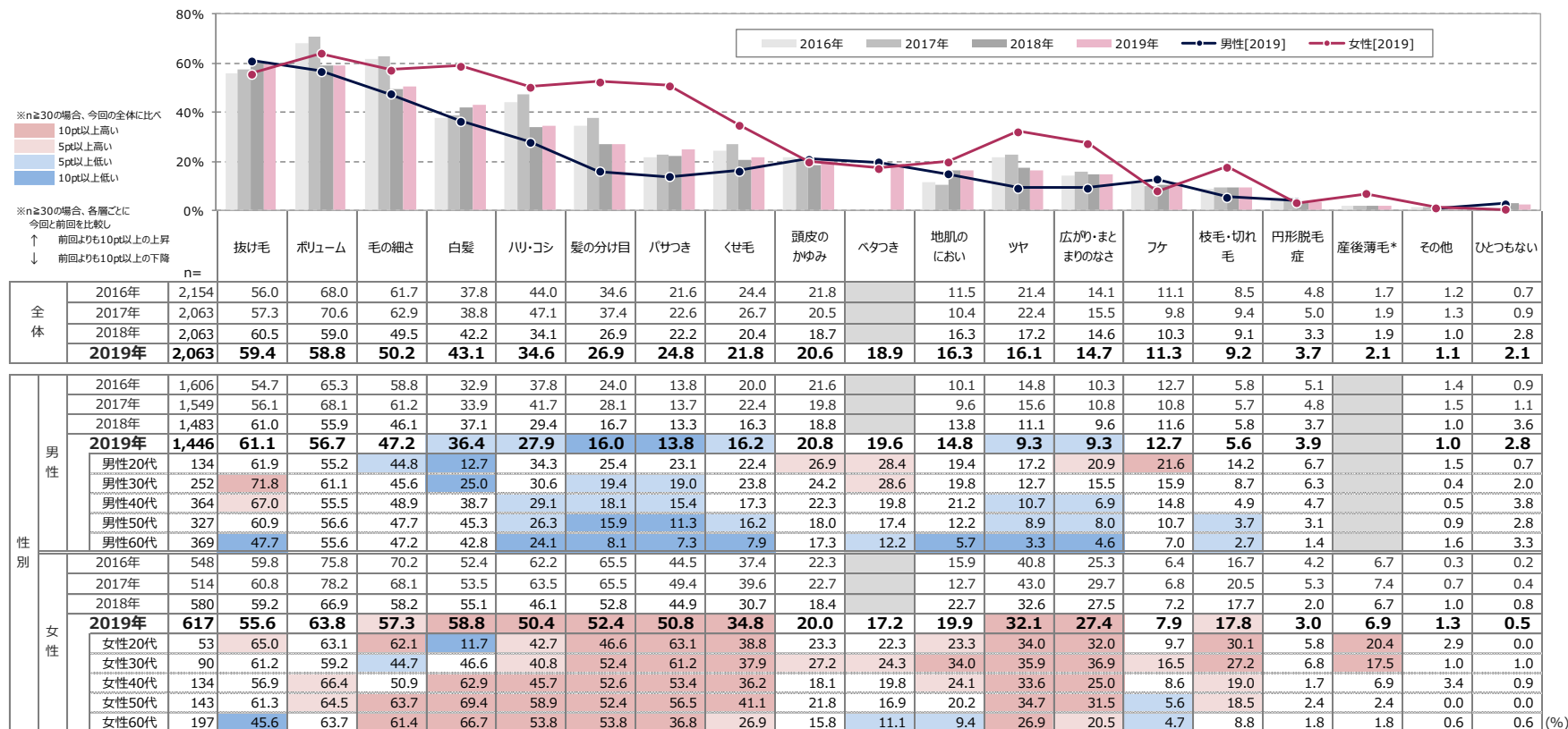


A 髪や頭皮について気になること【現在の悩み】

- ▶ 前回と比較すると、悩み全般に大きな変化はみられない
- ▶ 現在の髪や頭皮の悩みは性差が著しく、特に「白髪」「ハリ・コシ」「髪の分け目」「パサつき」「ツヤ」は女性が男性を20pt以上も上回る。「抜け毛」は男女いずれも6割前後と高い
- ▶ 「抜け毛」は男性30代で、「毛の細さ」は女性50・60代で高め

SQ1 ご自身の髪や頭皮に関して、現在気になることはありますか。【今現在気になっていること】(MAMT)

※2019年全体の降順ソート
※n<30のスコアは参考値



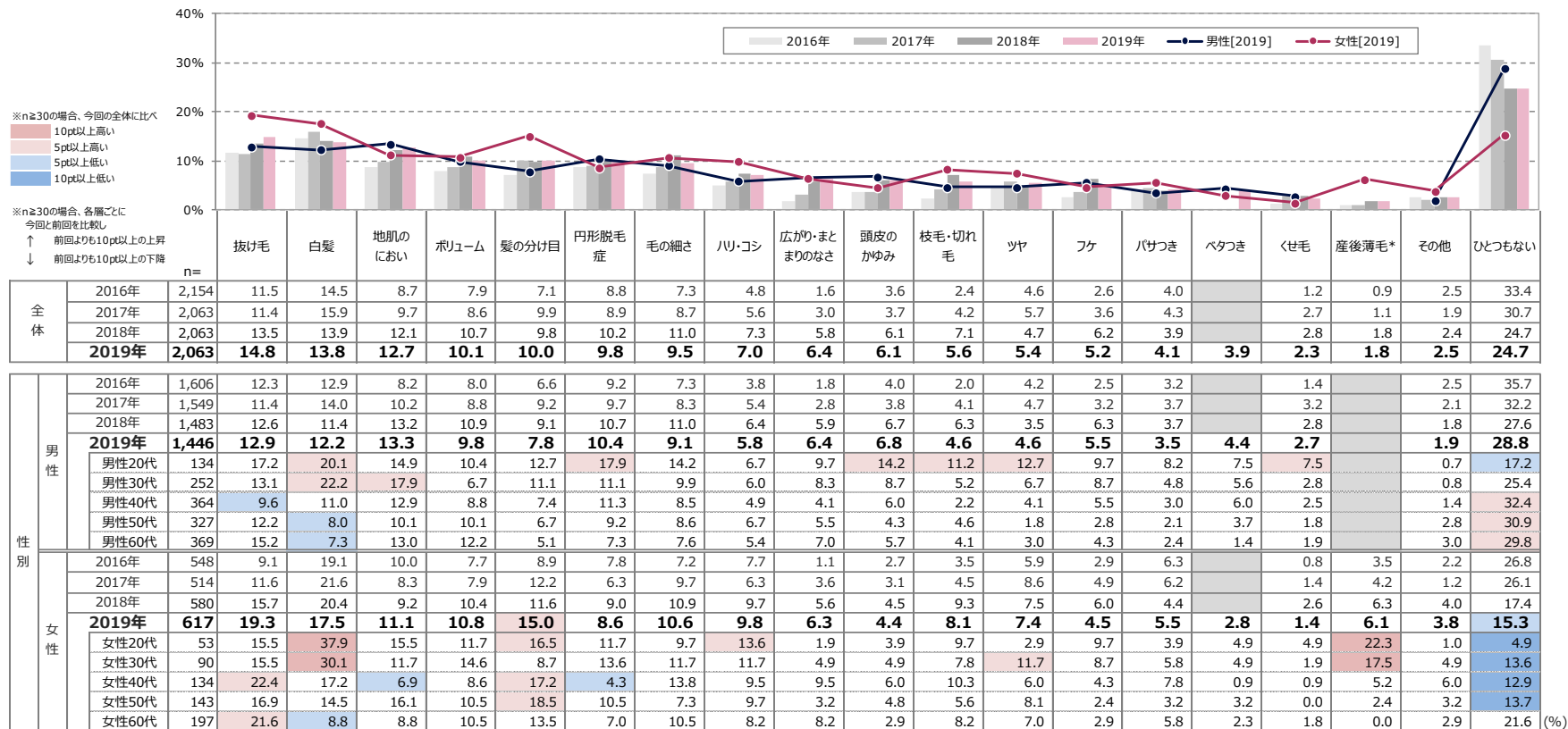
*女性のみに聴取

A 髪や頭皮について気になること【将来の不安】

- 経年でみると「抜け毛」「地肌の臭い」「広がり」などが微増傾向にある
- 将来の髪や頭皮の不安は、「抜け毛」「白髪」「髪の分け目」など、比較的多くの項目で女性が男性を上回る
- 「髪の分け目」は女性40・50代でやや高め

SQ1 ご自身の髪や頭皮に関して、現在気になることはありますか。【今は気にならないが、将来を考えると不安に思っていること】(MAMT)

※2019年全体の降順ソート
※n<30のスコアは参考値



*女性のみに聴取

A 現在の薄毛が気になる度合い

- 2016年以降、薄毛が気になる人は約半数で大きく変わらない
- 女性は高年層ほど、薄毛が気になる度合いが高まる
- 男性は50代以降、薄毛が気になる度合いが低下する

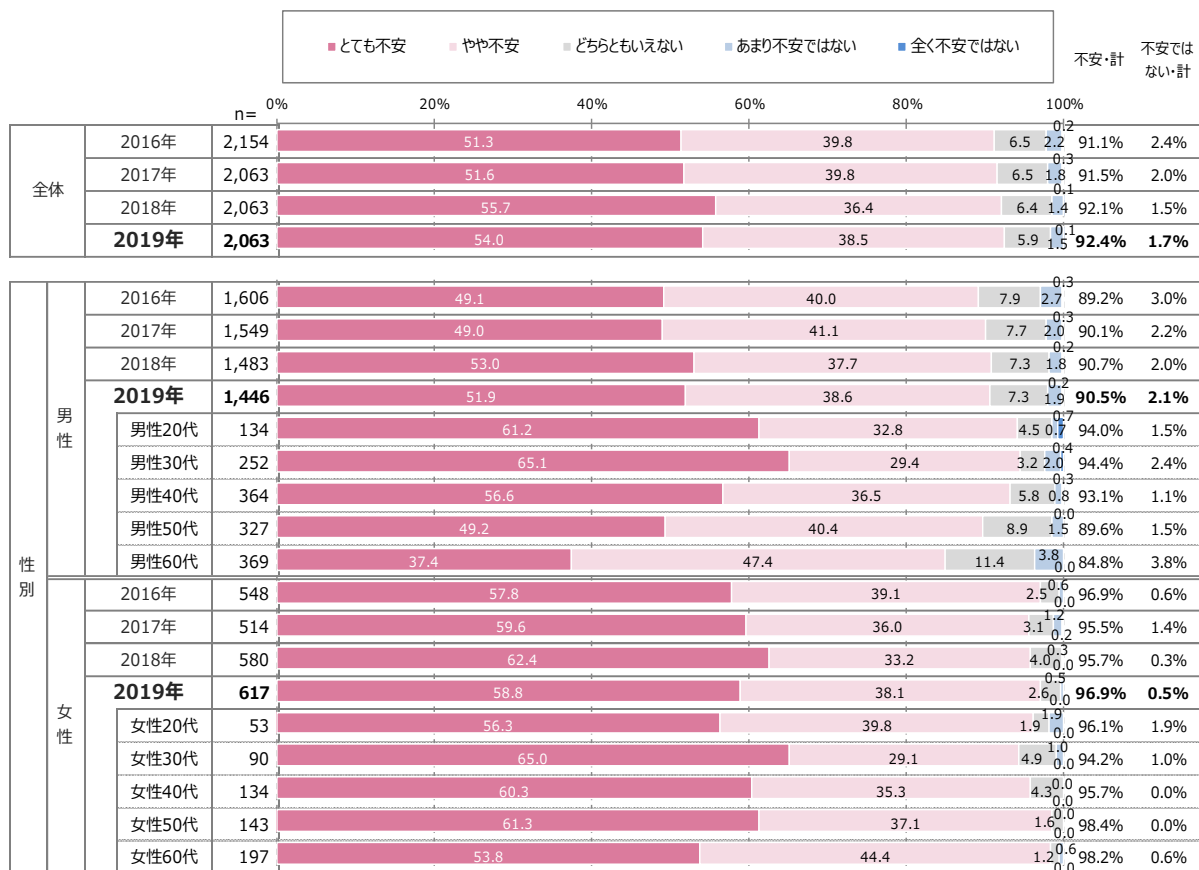
SQ3 あなたは現在、以下のことについて、どの程度気にしていますか。(SAMT)



A 薄毛に関する今後の不安

- 薄毛に関する今後の不安を経年でみると、不安・計は微増傾向にある
- 「とても不安」に着目すると、男性は女性に比べ年代差が大きく、30代と60代では30pt弱の差となっている

SQ4 今後や将来を考えた時、以下のことについてどの程度不安に思っていますか。(SAMT)

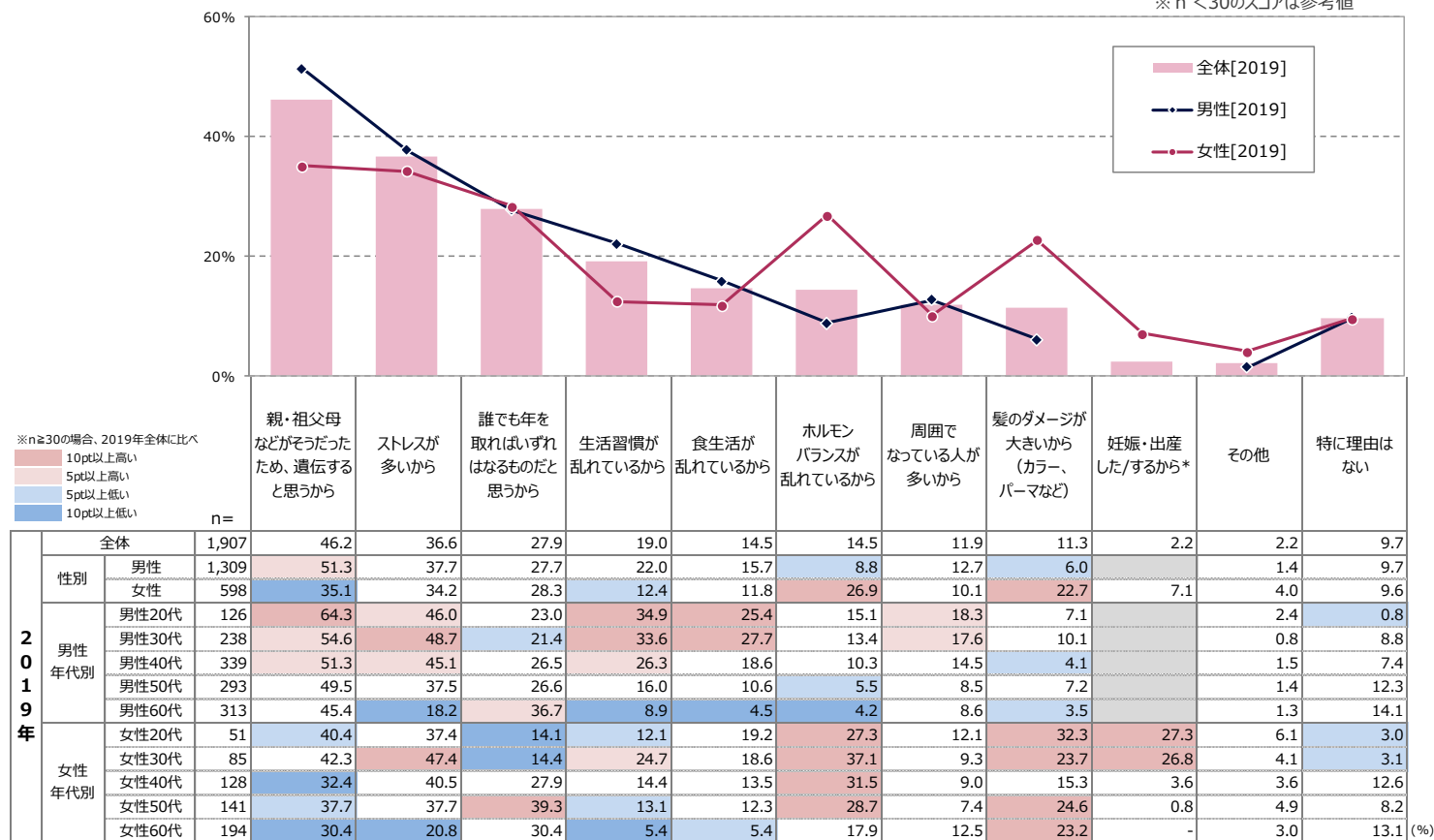


A 将来の不安の理由【薄毛】

➤薄毛に関する今後の不安理由において性差がみられ、「遺伝」「生活習慣の乱れ」は男性で、「ホルモンバランスの乱れ」「髪のダメージが大きい（カラー、パーマ）」は女性で高め

SQ5 今後や将来を考えたとき、以下のことを不安に思うのはなぜですか。理由をすべてお選びください。(MAMT)

※2019年全体の降順ソート
※n<30のスコアは参考値



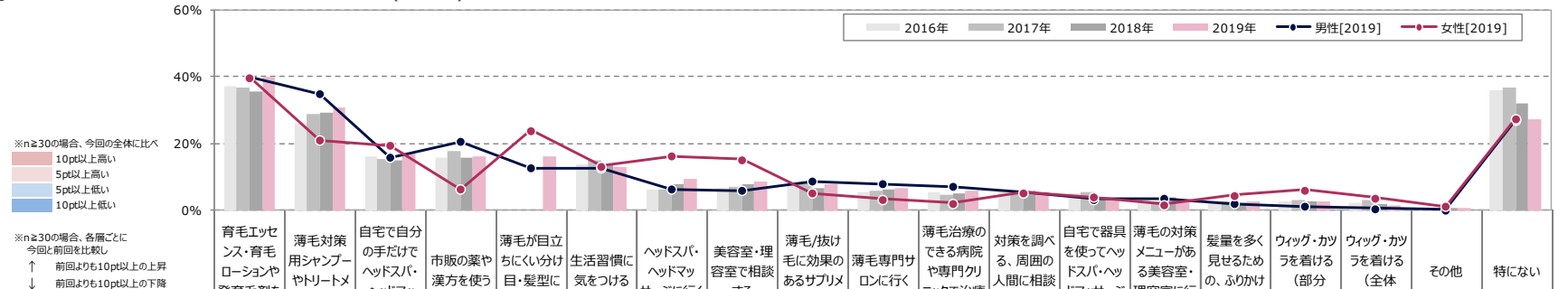
*女性のみに聴取

A 薄毛に対するアクション経験

- 経年でみると「育毛エッセンス・育毛ローションや発育毛剤」「ヘッドスパ・ヘッドマッサージ」などが微増
- 「育毛エッセンス・育毛ローションや発育毛剤」は男女でトップ
- 「薄毛対策用シャンプーやトリートメント」「市販の薬や漢方」など『薬剤』は男性で、「薄毛が目立ちにくい分け目・髪型にする」のほか「美容室・理容室で相談」「ヘッドスパ・ヘッドマッサージ」など『専門店』は女性で高め

SQ6 薄毛のために行う行動について、お答えください。(MAMT)

※2019年全体の降順ソート
※n < 30のスコアは参考値

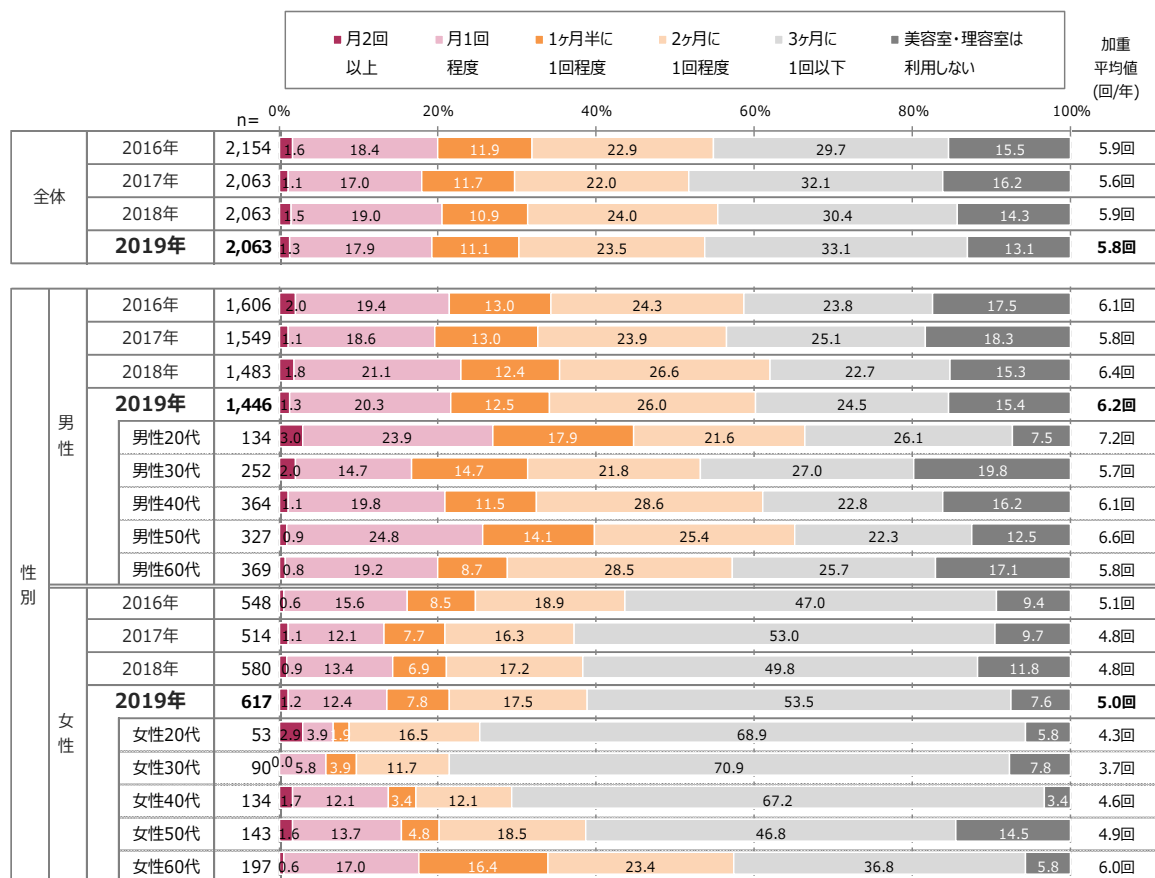


		n=	発育毛剤を使う	ントを使う	ヘッドマッサージをする		する	サロンに行く	する	ント	ニッパで治療する	する	トマツサーンをする	埋容室に行く	る粉を使う	用)	用)				
全体	2016年	2,154	37.2	26.0	16.2	15.9		14.0	6.2	6.8	8.2	5.4	5.6	5.8	5.2	2.9	2.2	2.7	2.2	0.4	36.1
	2017年	2,063	36.8	28.7	15.5	17.7		14.9	6.2	6.9	8.1	5.8	4.6	5.5	2.7	2.6	3.0	3.1	0.3	36.8	
	2018年	2,063	35.7	29.4	15.1	15.7		13.9	8.0	7.9	6.7	6.3	5.2	5.9	4.0	3.8	2.2	2.8	2.1	0.6	31.9
	2019年	2,063	39.9	30.8	17.0	16.3	16.2	12.9	9.3	8.8	7.7	6.6	5.7	5.4	3.6	3.0	2.8	2.7	1.6	0.5	27.4

男性	2016年	1,606	35.1	28.3	15.1	19.5		12.9	4.9	5.6	9.9	5.7	6.4	5.6	5.7	3.5	2.1	1.0	1.6	0.4	37.6
	2017年	1,549	36.0	31.8	15.3	21.4		13.5	5.5	5.6	9.2	6.4	5.1	4.6	6.0	3.2	2.1	1.2	2.0	0.3	37.4
	2018年	1,483	36.6	32.6	13.7	19.8		12.4	7.0	6.4	7.4	7.3	6.3	5.4	4.3	4.3	1.6	1.2	1.2	0.5	31.5
	2019年	1,446	40.0	35.0	15.9	20.6	12.8	12.7	6.3	6.0	8.9	8.0	7.2	5.5	3.4	3.5	2.1	1.2	0.6	0.2	27.2
	男性20代	134	29.9	32.8	24.6	24.6	20.1	17.2	10.4	14.9	13.4	17.2	15.7	10.4	4.5	11.9	3.7	1.5	1.5	0.7	17.9
	男性30代	252	40.9	44.4	25.0	23.4	18.7	22.2	11.5	7.1	14.3	13.1	13.5	9.5	6.7	6.3	2.4	2.4	0.8	0.0	24.2
	男性40代	364	38.5	37.4	17.9	19.5	13.2	13.2	7.4	5.8	10.4	7.7	5.5	6.9	3.0	3.0	1.4	0.8	0.3	0.0	27.2
	男性50代	327	41.3	31.5	9.8	19.9	11.9	7.6	4.9	5.2	7.0	4.9	6.7	3.1	2.4	1.8	2.1	0.9	0.3	0.0	31.5
	男性60代	369	43.4	30.1	10.0	19.0	6.5	8.4	1.4	3.0	3.5	4.3	1.9	1.6	1.9	0.5	1.9	1.1	0.8	0.5	29.0
女性	2016年	548	43.4	19.2	19.2	5.6		17.1	10.2	10.5	3.2	4.3	3.1	6.1	3.6	1.2	2.7	7.5	3.9	0.5	31.6
	2017年	514	39.2	19.4	16.2	6.5		19.1	8.2	10.9	5.0	3.9	3.1	8.0	3.9	1.3	4.1	8.6	6.2	0.5	35.1
	2018年	580	33.3	21.2	18.6	5.4		17.6	10.4	12.0	5.1	3.7	2.3	7.0	3.3	2.6	3.8	7.1	4.3	0.8	33.0
	2019年	617	39.8	21.1	19.4	6.3	24.1	13.3	16.2	15.3	5.1	3.3	2.2	5.4	4.0	1.7	4.5	6.2	3.7	1.3	27.7
	女性20代	53	17.5	15.5	16.5	6.8	21.4	12.6	18.4	16.5	4.9	6.8	5.8	11.7	5.8	4.9	1.9	1.0	3.9	1.0	38.8
	女性30代	90	28.2	17.5	22.3	5.8	28.2	13.6	22.3	18.4	7.8	1.0	3.9	6.8	9.7	3.9	2.9	4.9	2.9	2.9	27.2
	女性40代	134	35.3	20.7	21.6	2.6	25.0	10.3	14.7	19.0	3.4	0.0	0.9	4.3	1.7	0.9	2.6	1.7	0.0	0.9	29.3
	女性50代	143	40.3	21.0	19.4	7.3	24.2	13.7	16.1	15.3	5.6	2.4	2.4	6.5	3.2	0.8	4.0	3.2	3.2	1.6	30.6
	女性60代	197	53.8	24.6	17.5	8.2	22.2	15.2	14.0	11.1	4.7	6.4	1.2	2.9	2.9	1.2	7.6	13.5	7.0	0.6	21.6

- 理美容院の利用頻度を経年でみると、年6回弱で推移
- 男性よりも女性の方が利用頻度が低く、中でも女性30代で年3.7回と顕著
- 一方、男性20代で年7.2回と最多

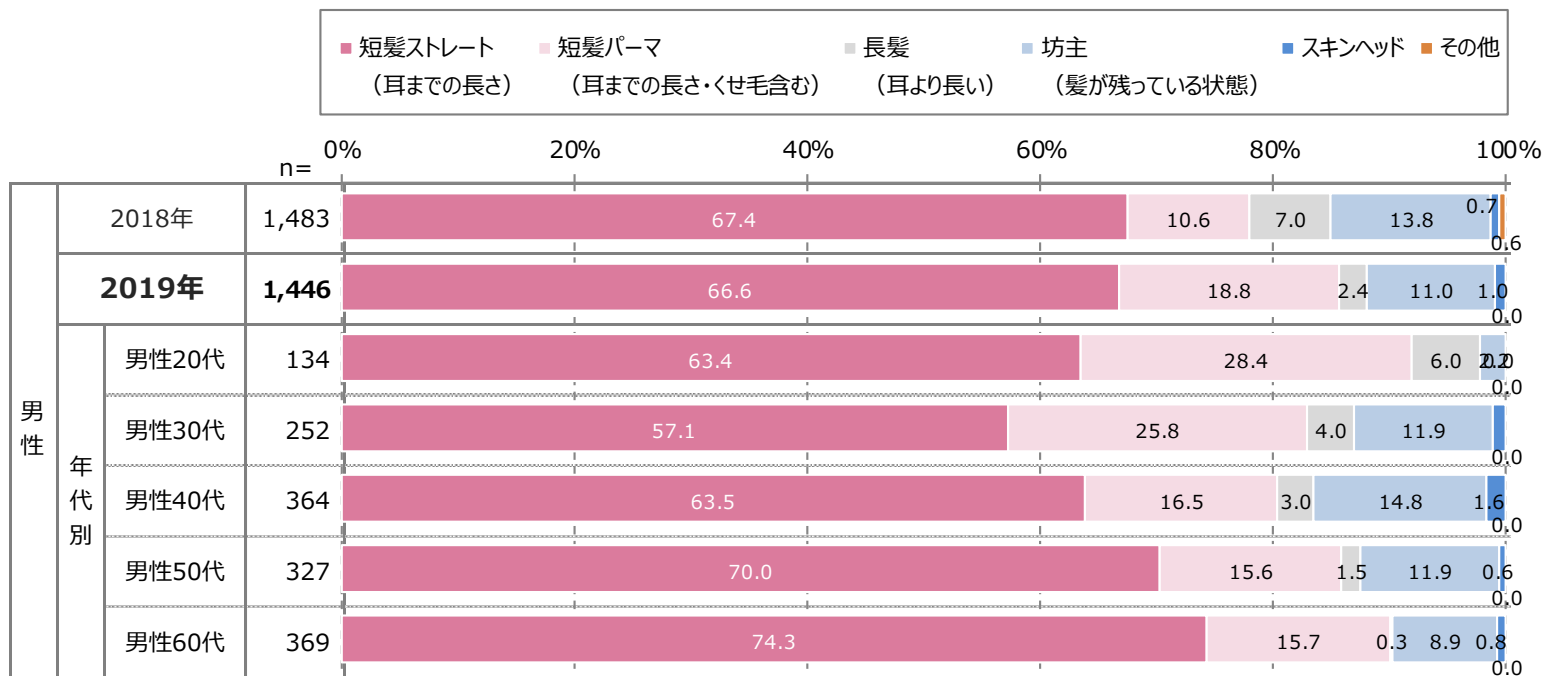
SQ10 あなたは、美容室・理容室をどれくらいの頻度で利用していますか。(SA)



A 現在の髪型【男性】

➤経年でみると「短髪ストレート」は7割弱で推移、「短髪パーマ」がやや増え2割弱

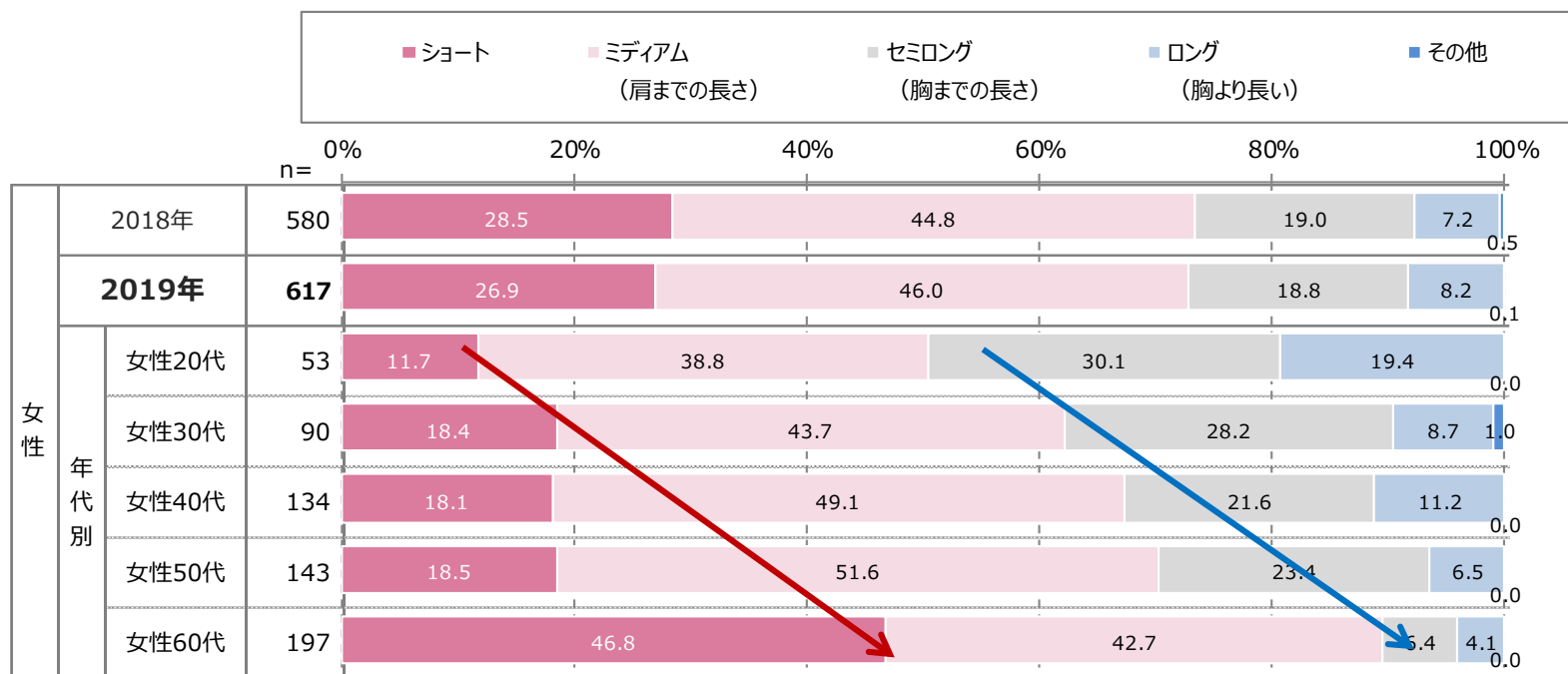
Q1 あなたの現在の髪型として、最も近いものをお選びください。【男性】(SA)



A 現在の髪型【女性】

- 経年でみると、今回も「ミディアム」が4割台半ばでトップと、大きな変化はない
- 女性は高年層ほど「ショート」が増え、「セミロング」+「ロング」が減少する

Q1 あなたの現在の髪型として、最も近いものをお選びください。【女性】(SA)

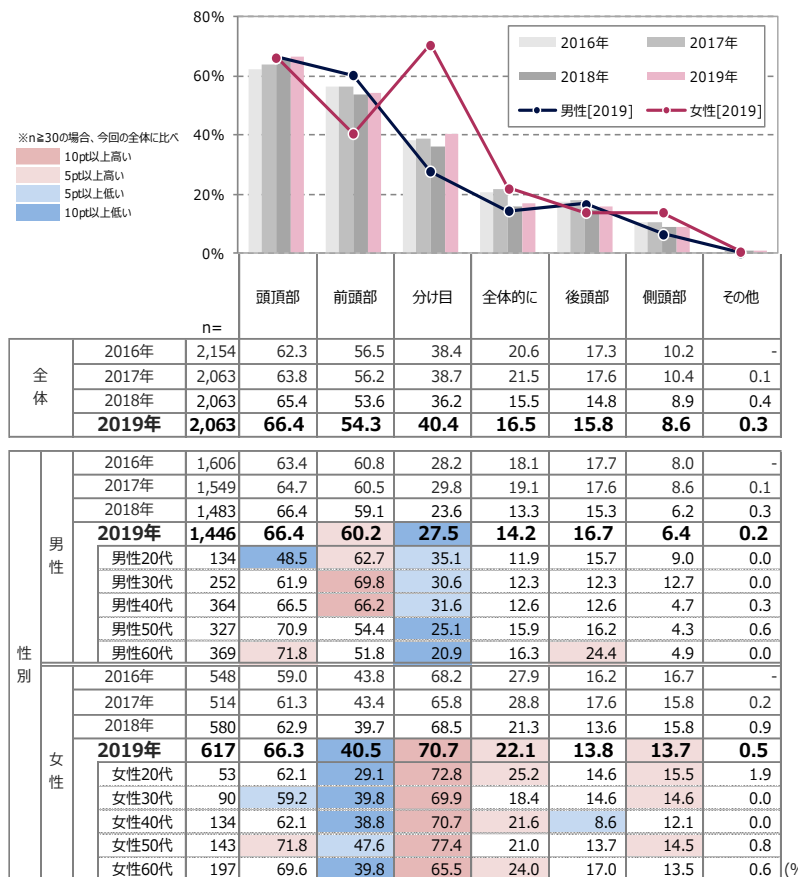




薄毛が気になる部位【薄毛が気になる部位】

- 経年では大きな変化はみられない
- 薄毛が気になる部位は、男性では「頭頂部」「前頭部」がトップ2、女性では「分け目」「頭頂部」がトップ2
- 男性の「前頭部」は30・40代で、女性の「分け目」は各年代で高めになっている

Q2 あなたが今、薄毛に関して具体的に気になる部位をお聞かせください。【薄毛が気になる部位】(MAMT)

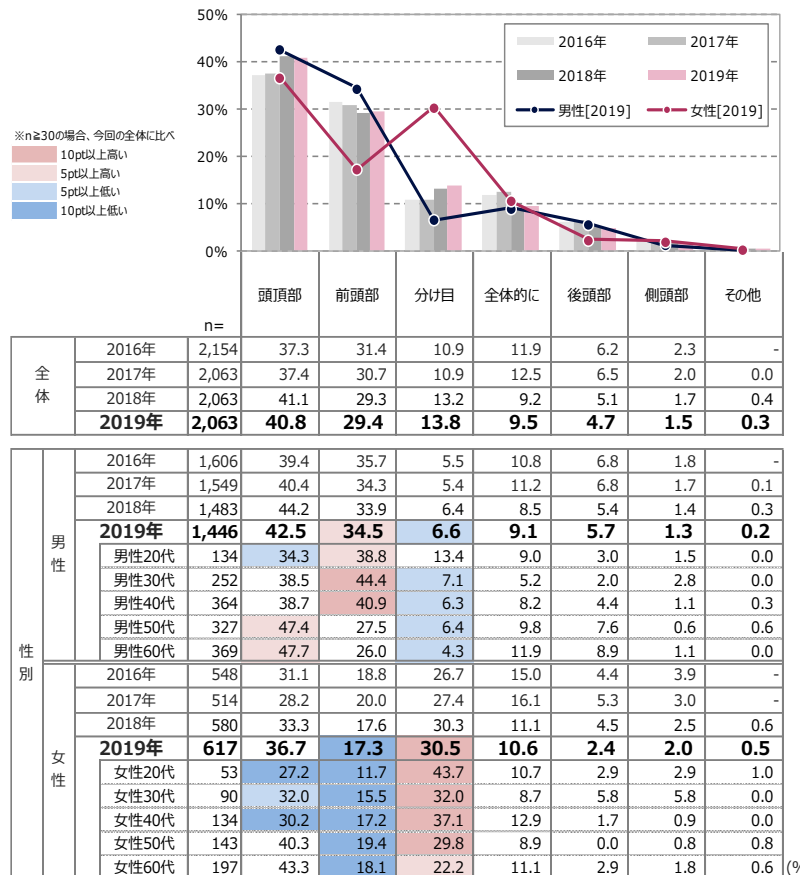


※2019年全体の降順ソート
 ※n<30のスコアは参考値

A 薄毛が気になる部位【最も薄毛が気になっている部位】

- 経年でみると「分け目」が若干増加傾向にある
- 最も薄毛が気になる部位も、男性では「頭頂部」「前頭部」が、女性では「頭頂部」「分け目」がトップ2
- 男性の「前頭部」は30・40代で、女性の「分け目」は20代で特に高い

Q2 あなたが今、薄毛に関して具体的に気になる部位をお聞かせください。【最も薄毛が気になっている部位】(MAMT)

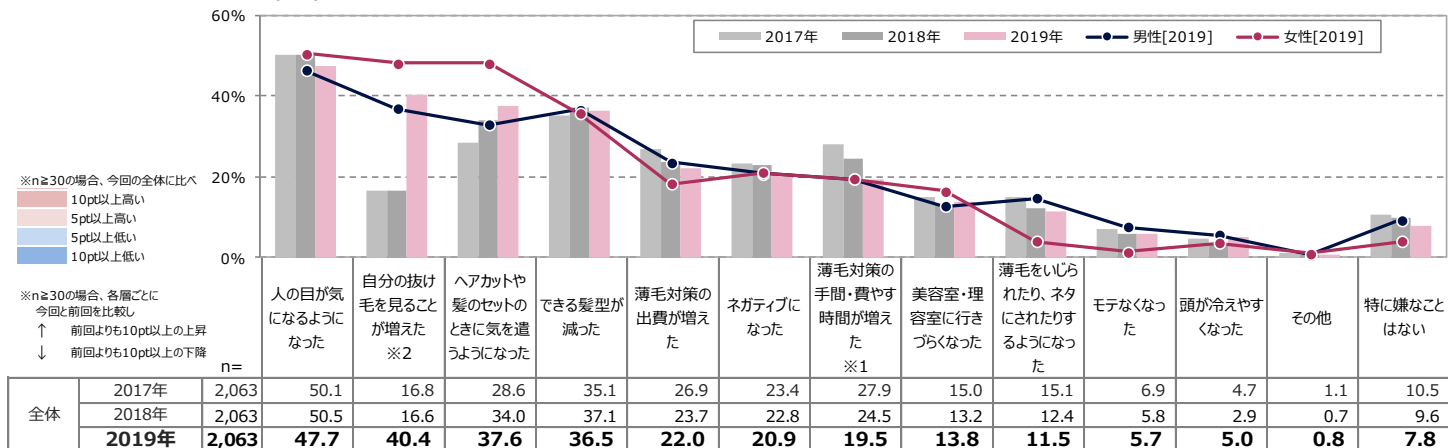


※2019年全体の降順ソート
※ n < 30のスコアは参考値

A 薄毛で嫌なこと

- 経年では「ヘアカットや髪のリセットのときに気を遣うようになった」が増加、「薄毛対策の手間・費やす時間が増えた」が減少
- 薄毛で嫌なことは、男女とも「人の目が気になる」がトップ。「自分の抜け毛を見ることが増えた」「ヘアカットや髪のリセットのときに気を遣うようになった」は女性でより高い

Q3 薄毛で嫌なことは何かありますか。(MA)



※2019年全体の降順ソート
※n < 30のスコアは参考値

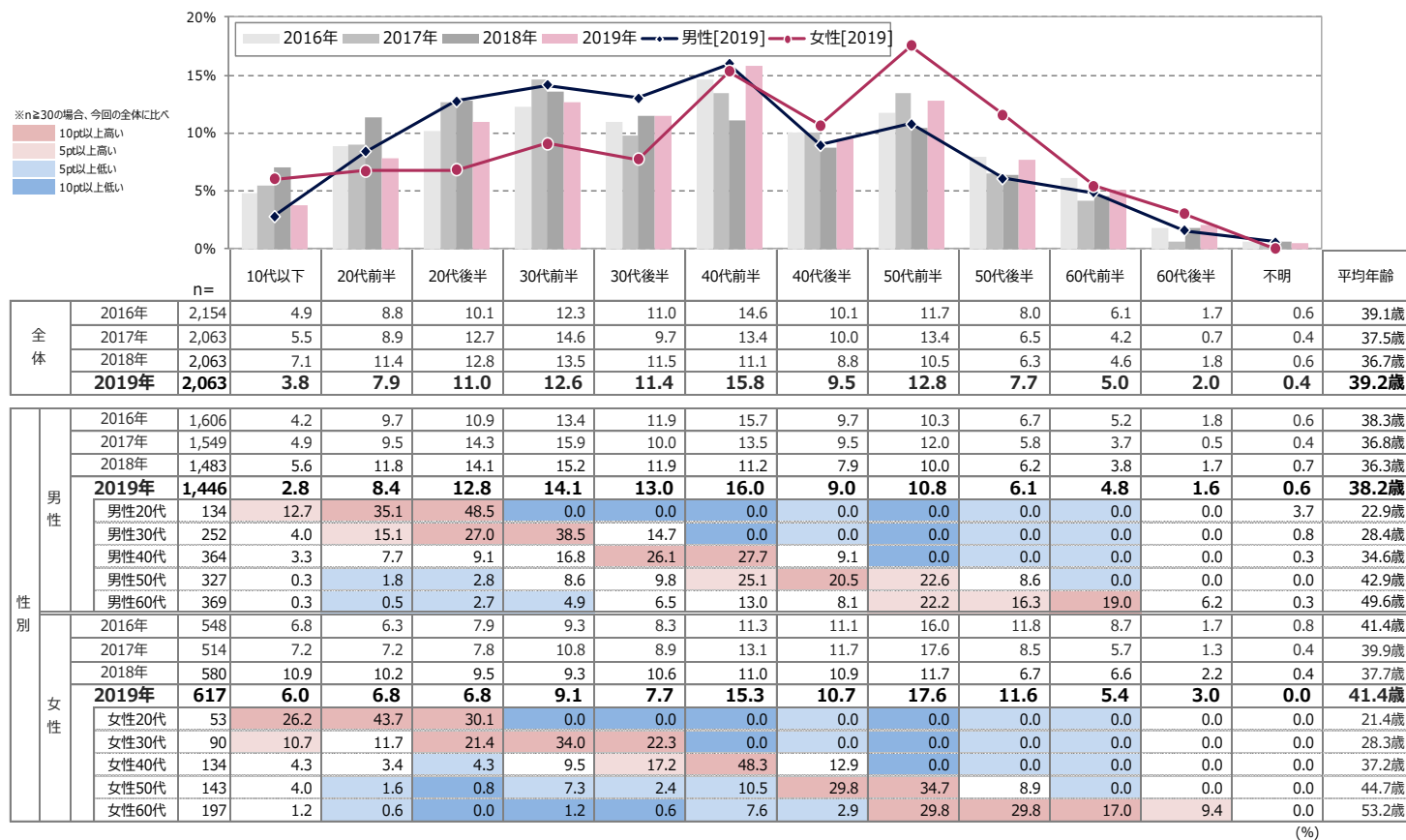
性別	男性	2017年	1,549	47.8	14.0	23.8	32.8	26.7	23.6	27.4	12.6	18.1	8.5	4.9	0.9	12.0
		2018年	1,483	49.8	12.2	28.6	36.3	24.5	22.9	25.4	12.7	15.2	7.5	3.0	0.7	10.3
		2019年	1,446	46.5	↑ 37.0	33.0	36.8	23.6	20.9	19.5	12.7	14.7	7.5	5.7	0.6	9.3
		男性20代	134	51.5	54.5	38.1	32.1	30.6	24.6	36.6	17.2	20.1	6.0	7.5	0.7	3.0
		男性30代	252	51.6	47.6	42.5	38.9	29.0	25.0	25.4	18.7	18.7	7.5	5.6	0.0	4.8
		男性40代	364	48.4	41.5	35.2	43.7	26.4	25.3	20.3	12.9	18.7	9.3	4.9	0.5	6.3
		男性50代	327	45.0	35.2	30.6	37.9	18.7	20.8	15.0	11.3	11.6	8.9	5.2	1.2	14.1
		男性60代	369	40.7	20.6	24.7	29.3	19.0	12.5	12.5	8.1	8.9	5.1	6.2	0.5	13.6
	女性	2017年	514	57.2	25.1	43.1	42.0	27.5	22.8	29.4	22.2	5.9	2.0	4.1	1.6	6.0
		2018年	580	52.2	27.8	47.9	39.2	21.4	22.4	22.4	14.5	5.4	1.4	2.6	0.9	7.9
		2019年	617	50.6	↑ 48.3	48.3	35.7	18.2	21.1	19.6	16.4	4.0	1.5	3.6	1.1	4.1
		女性20代	53	52.4	54.4	43.7	26.2	8.7	28.2	13.6	14.6	14.6	2.9	3.9	1.0	8.7
		女性30代	90	57.3	63.1	47.6	33.0	14.6	25.2	18.4	19.4	4.9	1.9	2.9	1.9	4.9
		女性40代	134	56.0	50.0	50.0	35.3	12.1	21.6	12.9	13.8	2.6	1.7	3.4	0.9	2.6
		女性50代	143	46.0	53.2	47.6	36.3	22.6	27.4	29.8	16.9	2.4	2.4	2.4	0.8	4.0
		女性60代	197	46.8	35.1	49.1	39.2	23.4	12.3	18.7	17.0	2.9	0.0	4.7	1.2	3.5

※1：2018年以前は「薄毛対策の手間が増えた」 ※2：2018年以前は「抜け毛を掃除する手間が増えた」

A 薄毛が気になり出した年齢

- 経年でみると、前回に比べ「10代以下」～「30代前半」といった若年層が減少
- 性差が著しく、「20代後半」～「30代後半」は男性の方が、「50代前半」～「50代後半」は女性の方が高い

Q4 薄毛に関して、あなたは、何歳くらいから気になり始めましたか。気になりだした具体的な年齢をお聞かせください。(N)

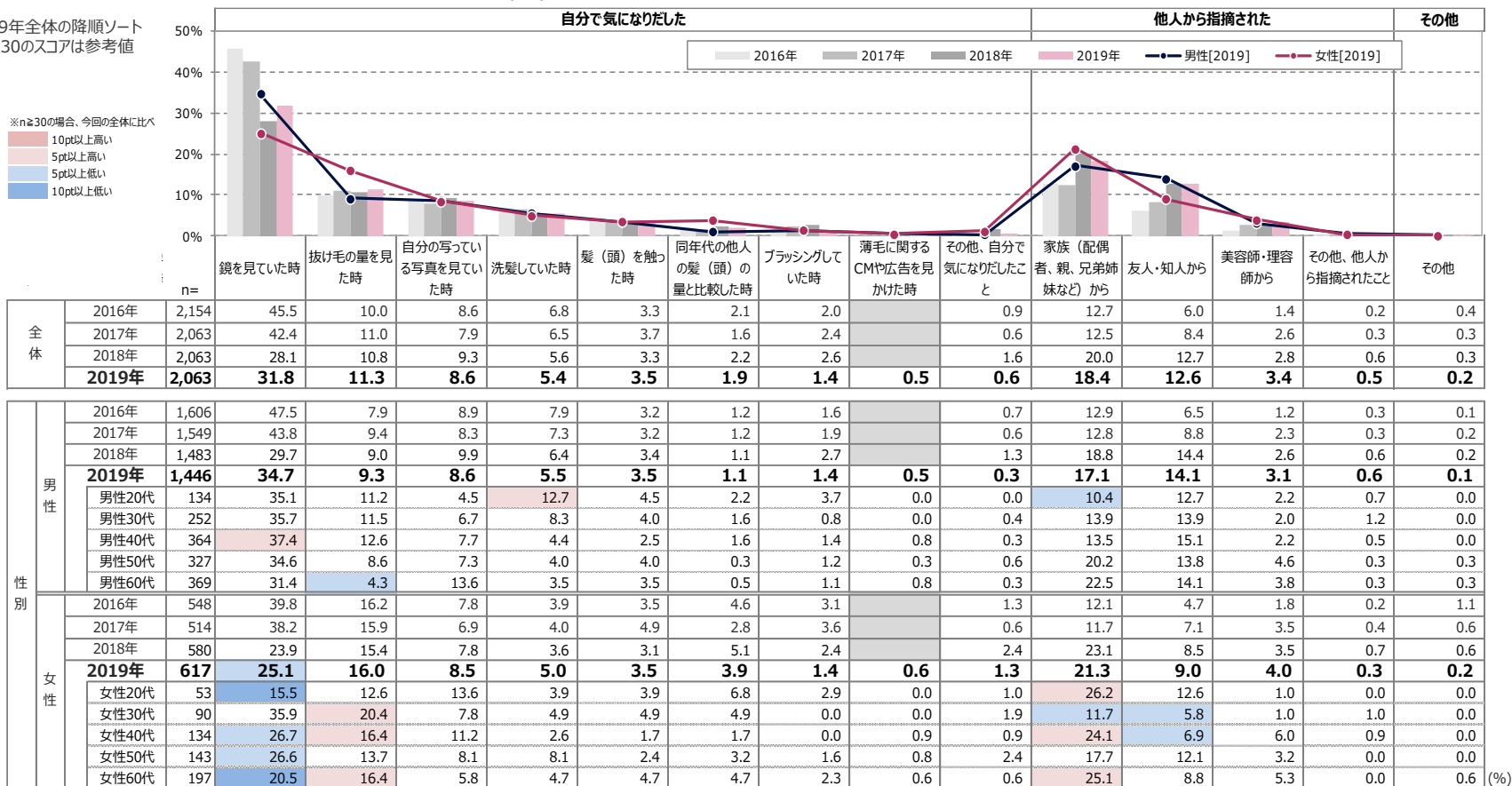


A 薄毛が気になり出したきっかけ

- 前回と比較し、項目全般に大きな変化はみられない
- 薄毛が気になり出したきっかけとして、「鏡を見ていた時」が男女とも最多
- 次いで「家族から」が続く
- 「鏡を見ていた時」は男性で、「家族から」「抜け毛の量を見た時」は女性で高め

Q5 薄毛に関して、あなたが気になりだしたきっかけをお聞かせください。(SA)

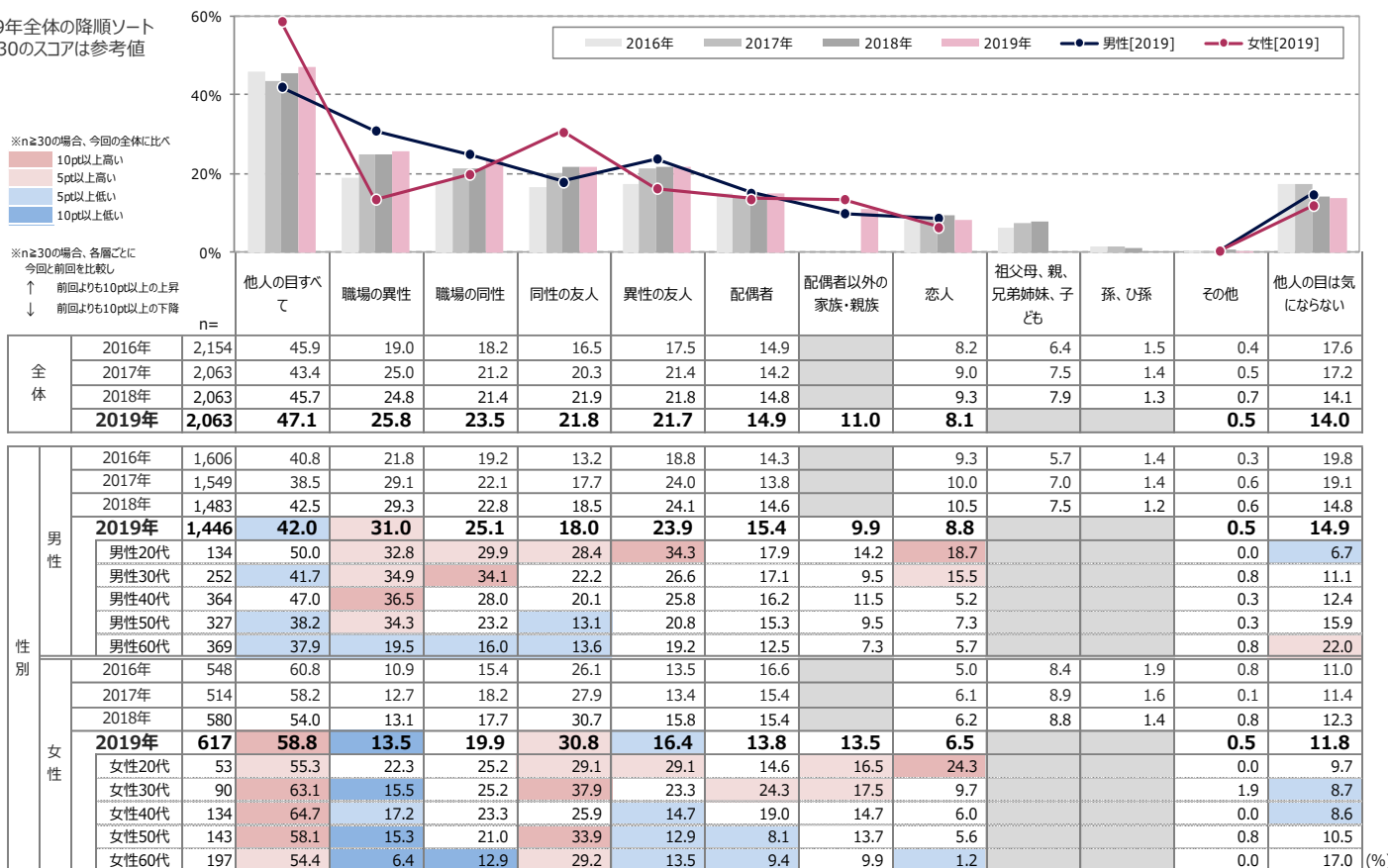
※2019年全体の降順ソート
※n < 30のスコアは参考値



- 経年でみると、項目全般に大きな変化はみられない
- 気になる目線は、男女いずれも「他人の目すべて」が最多。女性で顕著に高い
- 「職場の異性」は男性の方が、「同性の友人」は女性の方が高い

Q6 薄毛について、あなたは誰の目が気になりますか。あてはまるものを全てお知らせください。(MA)

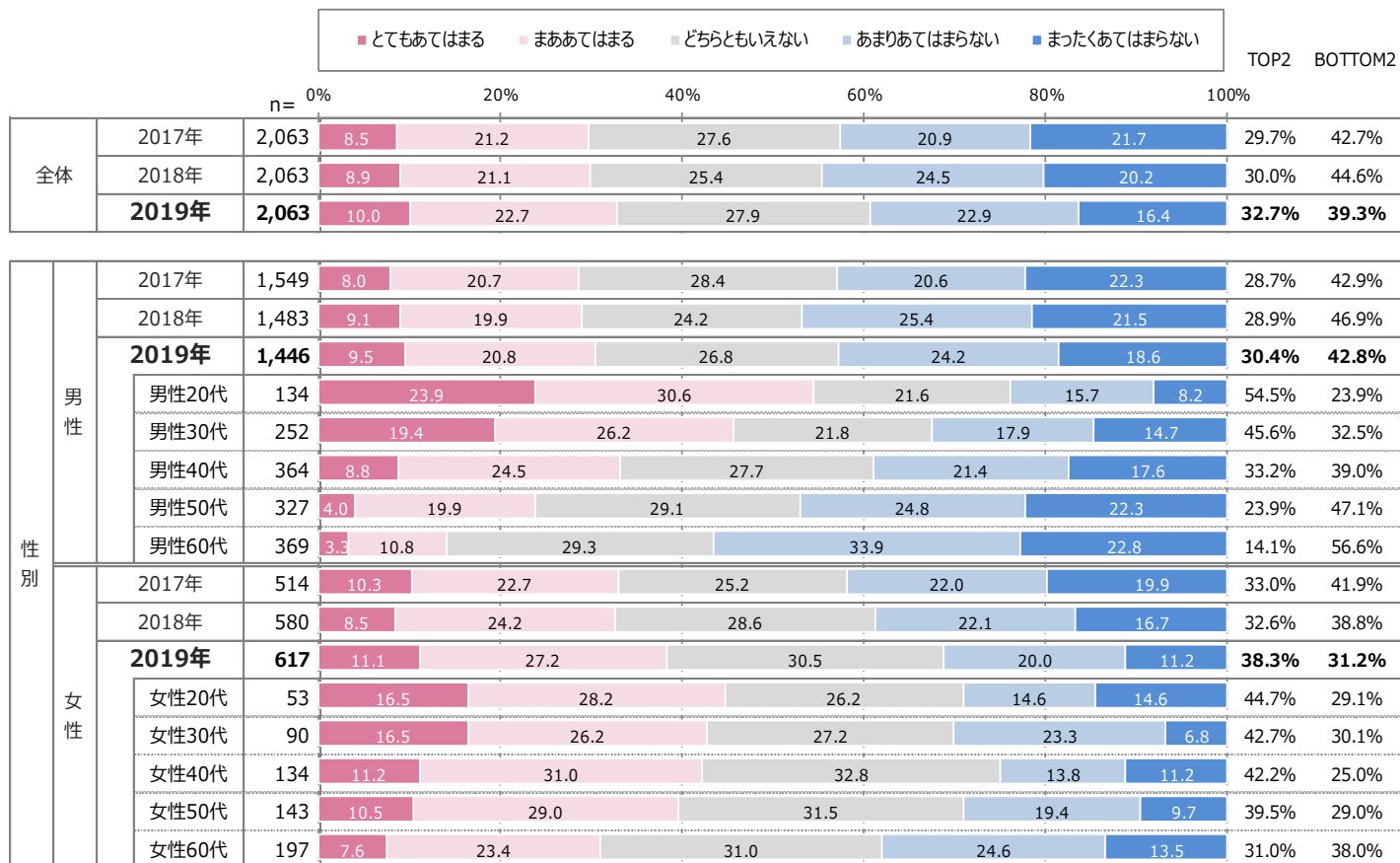
※2019年全体の降順ソート
※n < 30のスコアは参考値



A 薄毛の話をしたいか/実際にしているか【話したいと思う】

- 経年でみると「話したいと思う」人は3割。大きな変化はない
- 「とてもあてはまる」の比率は、男女とも20・30代でやや高い

Q7 あなたは、周囲に自分と似たような薄毛の人がいた場合、その人と薄毛について話したい/悩みを分かち合いたいと思いますか。【薄毛の人と、薄毛について話したい/分かち合いたいと思う】(SA)

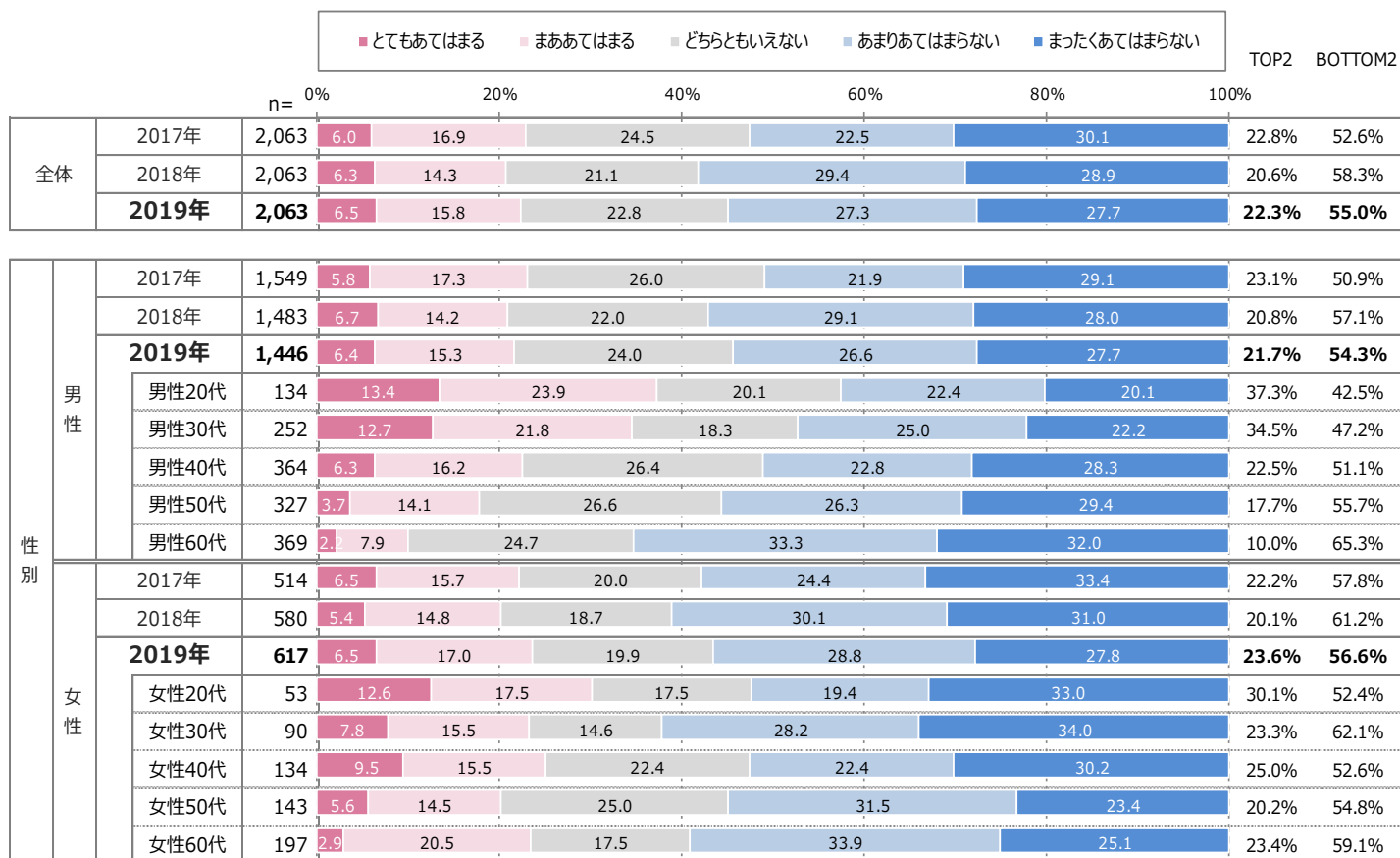


A 薄毛の話をしたいか/実際にしているか【実際に話す】

➤経年でみると「実際に話す」人は約2割を推移

➤「とてもあてはまる」の比率は、男性20・30代と女性20代でやや高い

Q7 あなたは、周囲に自分と似たような薄毛の人がいた場合、その人と薄毛について話したい/悩みを分かち合いたいと思いますか。【薄毛の人と、薄毛について話す/分かち合うことがある】(SA)

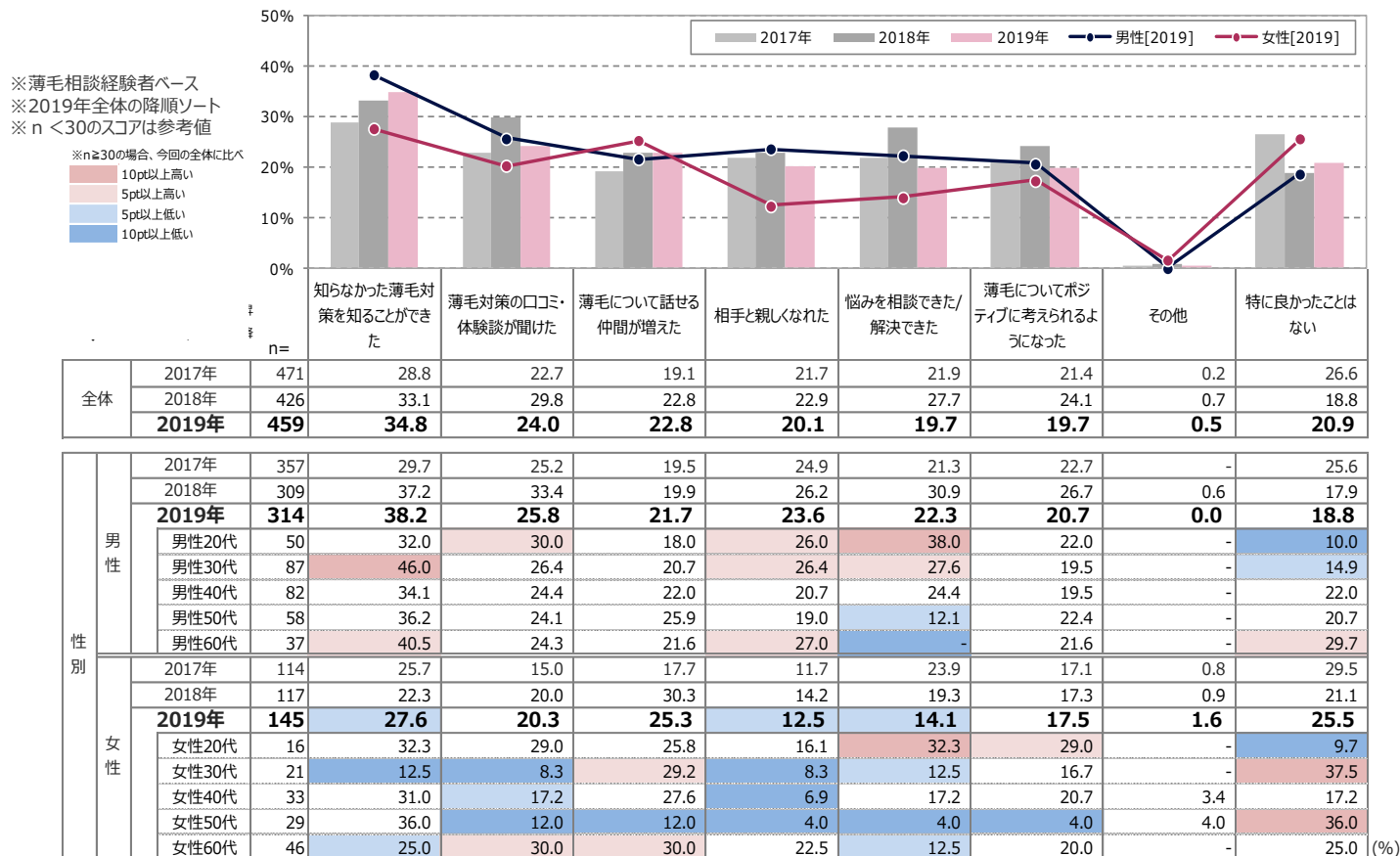


A 薄毛について話して良かったこと

➤経年でみると、今回も「知らなかった薄毛対策を知ることができた」がトップ、かつ増加傾向にある

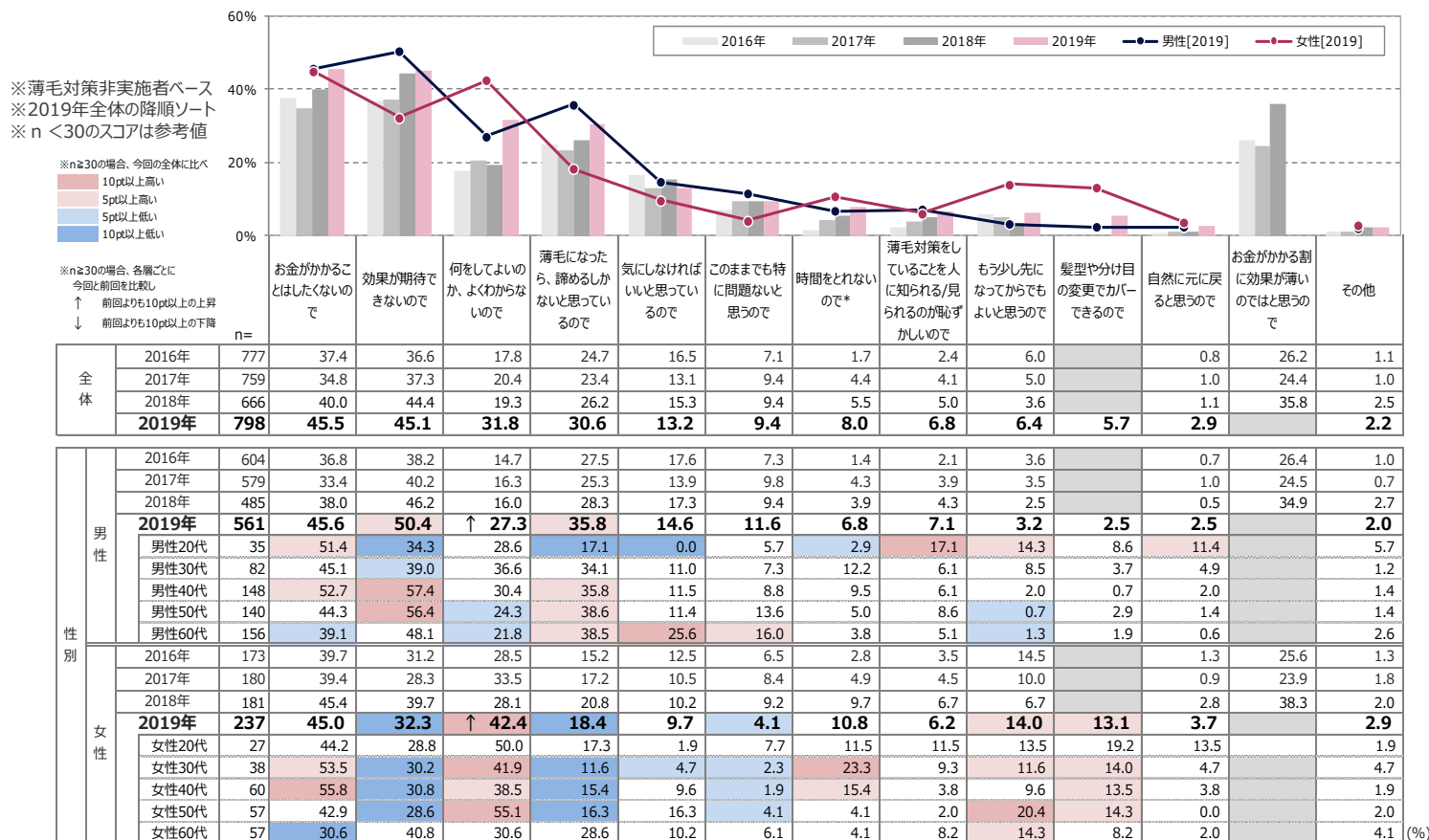
➤「悩みを相談できた/解決できた」は、男女20代で特に高い

Q8 実際に周囲の薄毛の人と薄毛について話す/分かち合うことはある方に伺います。(MA)



- 経年でみると上位項目が概ね増加基調にある
- 「効果が期待できない」「薄毛になったら、諦めるしかないと思っている」は男性の方が、「何をしてもいいのかわからない」は女性の方が高い

Q9 薄毛に関して、気になりながらも、特に対策アクションをしない理由をお答えください。(MA)



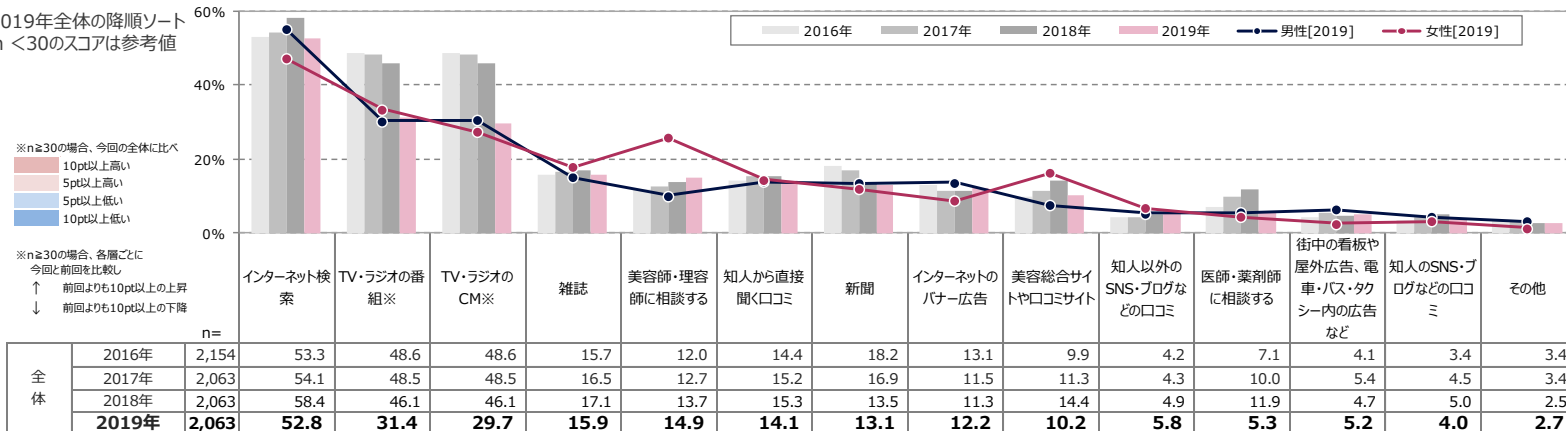


薄毛対策の情報源【参考にする情報源】

- 前年に対し「インターネット検索」がやや減少
- 男女いずれも「インターネット検索」「TV・ラジオの番組」「TV・ラジオのCM」がトップ3
- 上位情報源は性差がほとんどないが、「美容師・理容師に相談」「美容総合サイトや口コミサイト」など『口コミ』は女性の方が高い

Q10 あなたは薄毛の対策を検討する際に、どのような情報を参考にしていますか。【薄毛対策について参考にする情報源】(MA)

※2019年全体の降順ソート
※n<30のスコアは参考値



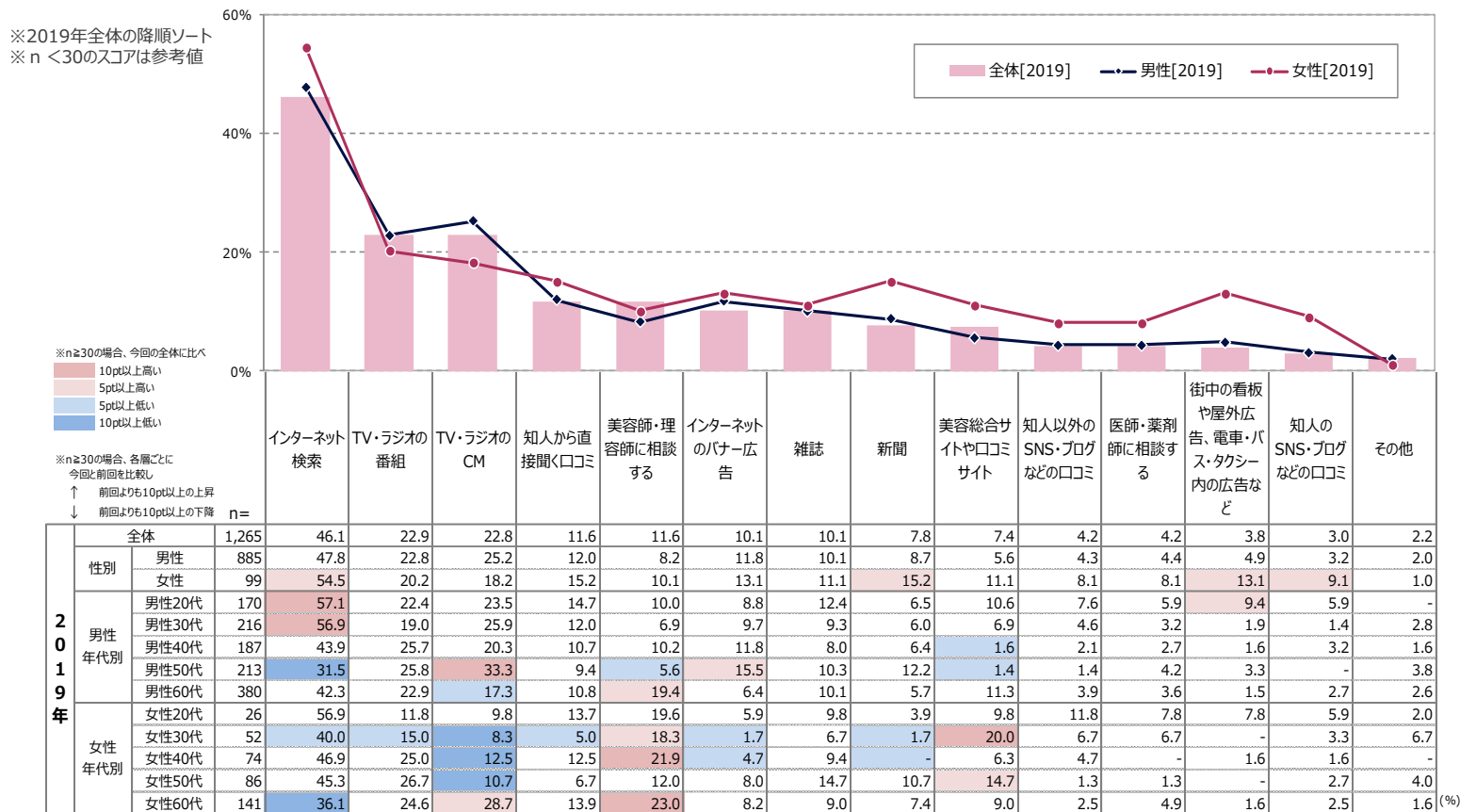
性別	男性	2016年	1,606	55.2	46.8	46.8	15.3	8.6	11.7	18.1	13.8	7.9	4.2	7.4	4.6	3.4	3.3
		2017年	1,549	55.3	48.5	48.5	16.0	9.7	13.9	17.6	11.6	9.7	4.0	10.7	5.9	4.6	3.6
		2018年	1,483	60.5	47.0	47.0	17.0	9.6	13.0	14.3	12.9	11.4	4.3	13.4	5.6	5.0	2.6
		2019年	1,446	55.2	↓ 30.4	↓ 30.6	15.0	10.2	14.0	13.6	13.8	7.6	5.5	5.7	6.3	4.4	3.3
		男性20代	134	61.9	29.1	26.9	17.2	14.2	20.1	17.9	14.9	14.9	11.9	11.2	11.9	9.0	0.0
		男性30代	252	65.1	30.6	30.6	16.3	9.9	19.0	9.1	9.1	11.5	10.7	8.7	11.9	9.9	1.6
		男性40代	364	64.6	26.6	28.0	13.7	9.9	11.0	8.5	12.6	10.2	4.7	4.7	4.9	3.8	3.6
		男性50代	327	50.5	31.8	28.4	15.0	11.0	11.6	12.8	13.8	4.6	2.8	3.7	3.4	2.8	3.7
		男性60代	369	40.9	33.3	36.6	14.6	8.4	13.3	20.6	17.6	2.4	2.7	4.3	4.3	1.1	4.9
	女性	2016年	548	47.6	53.8	53.8	16.7	21.8	22.3	18.5	11.3	15.9	4.3	6.3	2.7	3.3	3.5
		2017年	514	50.4	48.5	48.5	17.9	21.9	19.1	14.6	11.0	16.1	5.1	7.7	4.0	4.1	3.0
		2018年	580	53.1	43.6	43.6	17.4	24.3	20.9	11.6	7.4	22.0	6.5	8.1	2.5	5.0	2.3
		2019年	617	47.3	↓ 33.6	↓ 27.4	17.9	25.9	14.5	12.0	8.7	16.4	6.7	4.4	2.7	3.1	1.4
		女性20代	53	59.2	22.3	20.4	13.6	27.2	10.7	1.9	5.8	20.4	16.5	7.8	5.8	9.7	0.0
		女性30代	90	52.4	22.3	14.6	18.4	20.4	8.7	2.9	4.9	23.3	15.5	7.8	1.0	2.9	1.9
		女性40代	134	52.6	30.2	22.4	13.8	28.4	13.8	5.2	8.6	12.1	4.3	1.7	0.9	4.3	0.0
		女性50代	143	45.2	34.7	26.6	23.4	26.6	13.7	15.3	7.3	23.4	5.6	4.8	3.2	0.8	1.6
		女性60代	197	39.8	43.3	39.2	17.5	25.7	19.3	21.1	12.3	9.9	2.3	3.5	3.5	2.3	2.3

※過去データは「TV・ラジオ」スコアを掲載

A 薄毛対策の情報源【普段やっている対処法のきっかけ】

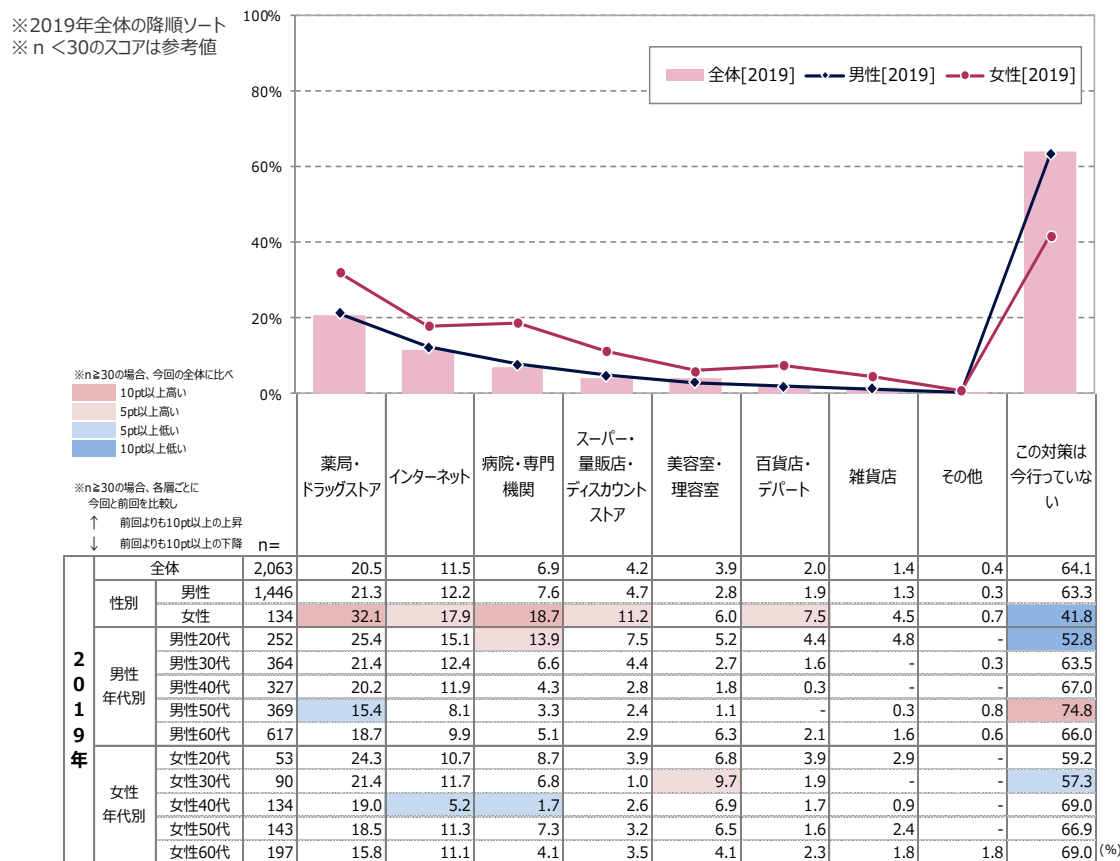
- 男女で「インターネット検索」「TV・ラジオの番組」「TV・ラジオのCM」がトップ3
- 「TV・ラジオのCM」は男性、特に50代で高め
- 「美容総合サイトや口コミサイト」は女性30代で高め

Q10 あなたは薄毛の対策を検討する際に、どのような情報を参考にしていますか。【普段やっている対処法を始めるきっかけとなった情報源】(MA)



➤男女いずれも「薬局・ドラッグストア」「インターネット」「病院・専門機関」がトップ3 ➤チャネル全般に女性の方が高い

Q11 あなたがふだんやっている対策に関して、それぞれどこで購入していますか。【病院・専門機関で処方してもらった薬・漢方や育毛エッセンスなど】(MAMT)



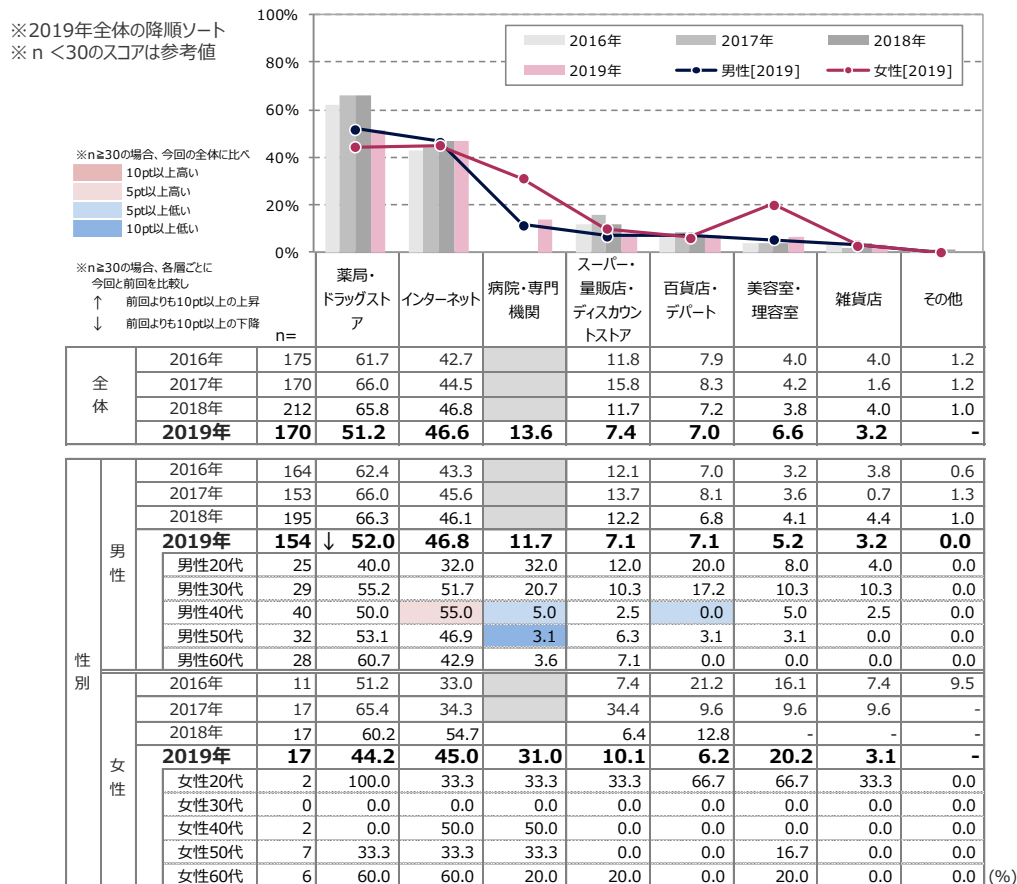


薄毛対策の購入チャネル【市販の薬や漢方】

➤「インターネット」は4割台で推移

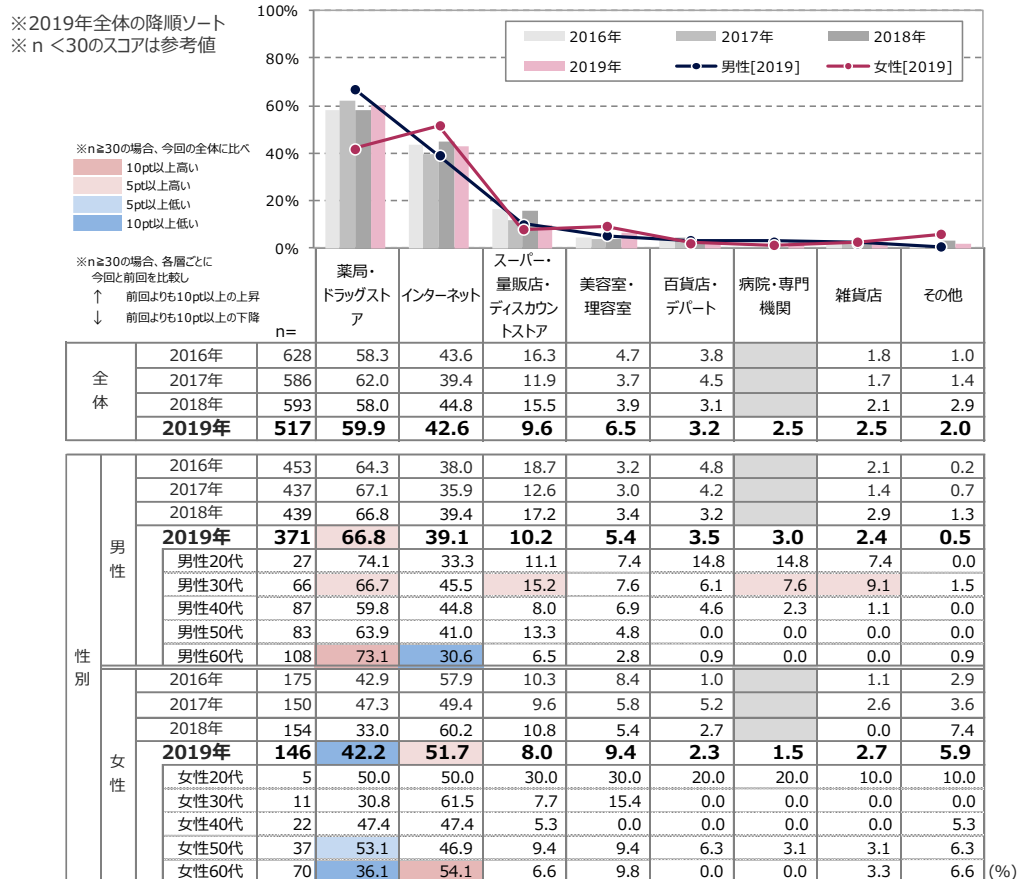
➤「病院・専門機関」「美容室・理容室」は男女差が大きい

Q11 あなたがふだんやっている対策に関して、それぞれどこで購入していますか。【市販の薬や漢方】(MAMT)



- 経年でみるとチャネル全般に大きな変化はみられない
- 男性で「薬局・ドラッグストア」が、女性で「インターネット」が高め

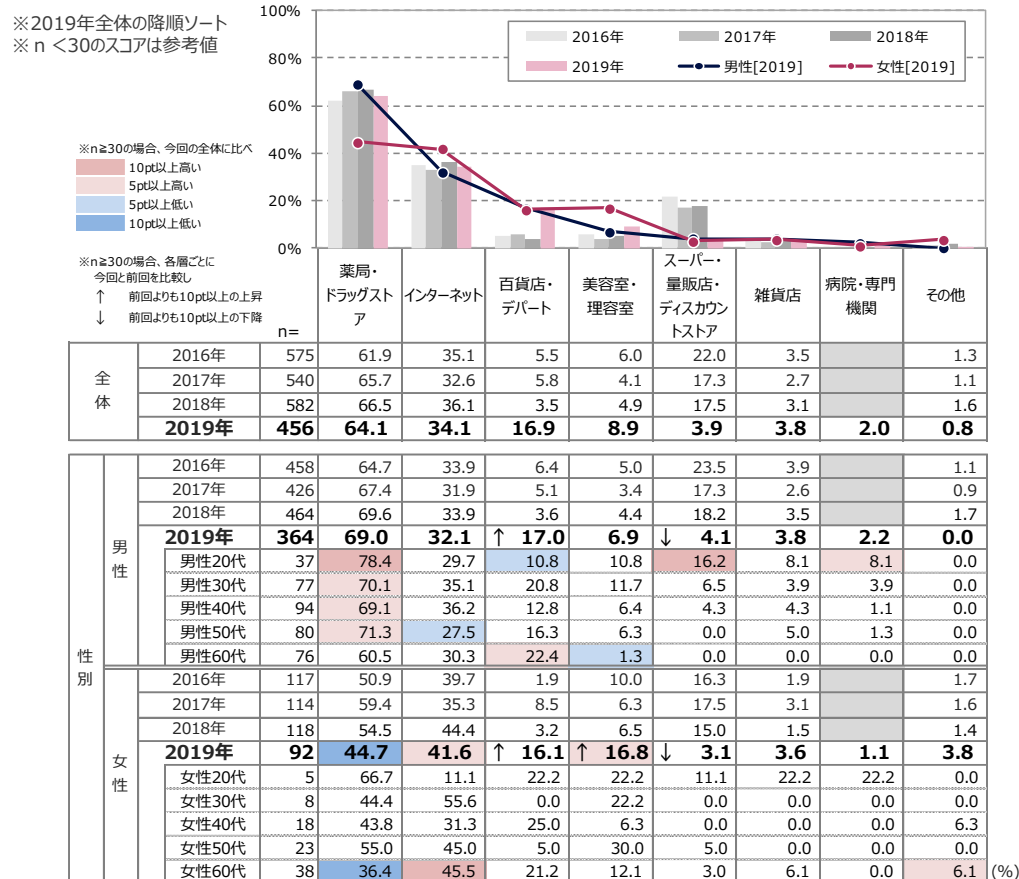
Q11 あなたがふだんやっている対策に関して、それぞれどこで購入していますか。【育毛エッセンス・育毛ローションや発育毛剤（市販品）】（MAMT）



A 薄毛対策の購入チャネル【薄毛対策用シャンプーやトリートメント】

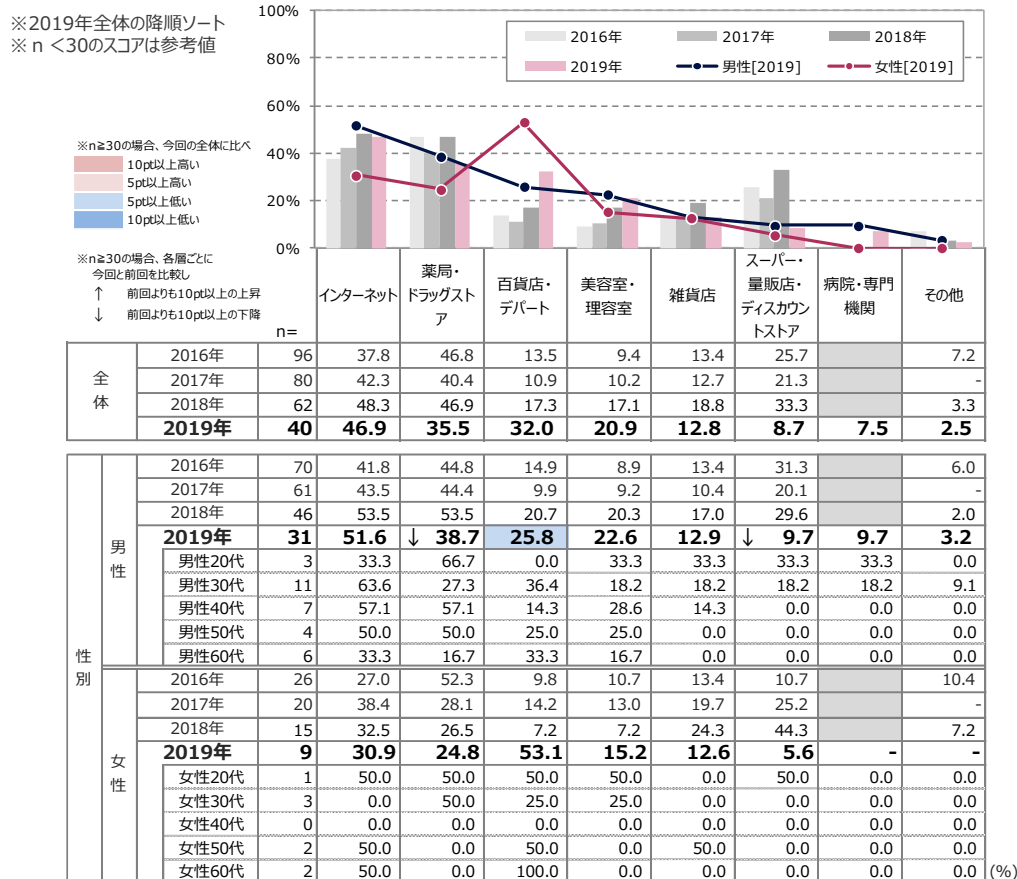
- 経年でみると、今回「百貨店・デパート」が増加
- 男性は「薬局・ドラッグストア」が中心だが、女性は「薬局・ドラッグストア」と「インターネット」が同程度

Q11 あなたがふだんやっている対策に関して、それぞれどこで購入していますか。【薄毛対策用シャンプーやトリートメント（髪のボリュームアップやエイジングケア、地肌ケア、育毛/養毛効果がある）】（MAMT）



- 経年でみると、「百貨店・デパート」「美容室・理容室」が増加傾向
- 男性では「薬局・ドラッグストア」「インターネット」が特に高い

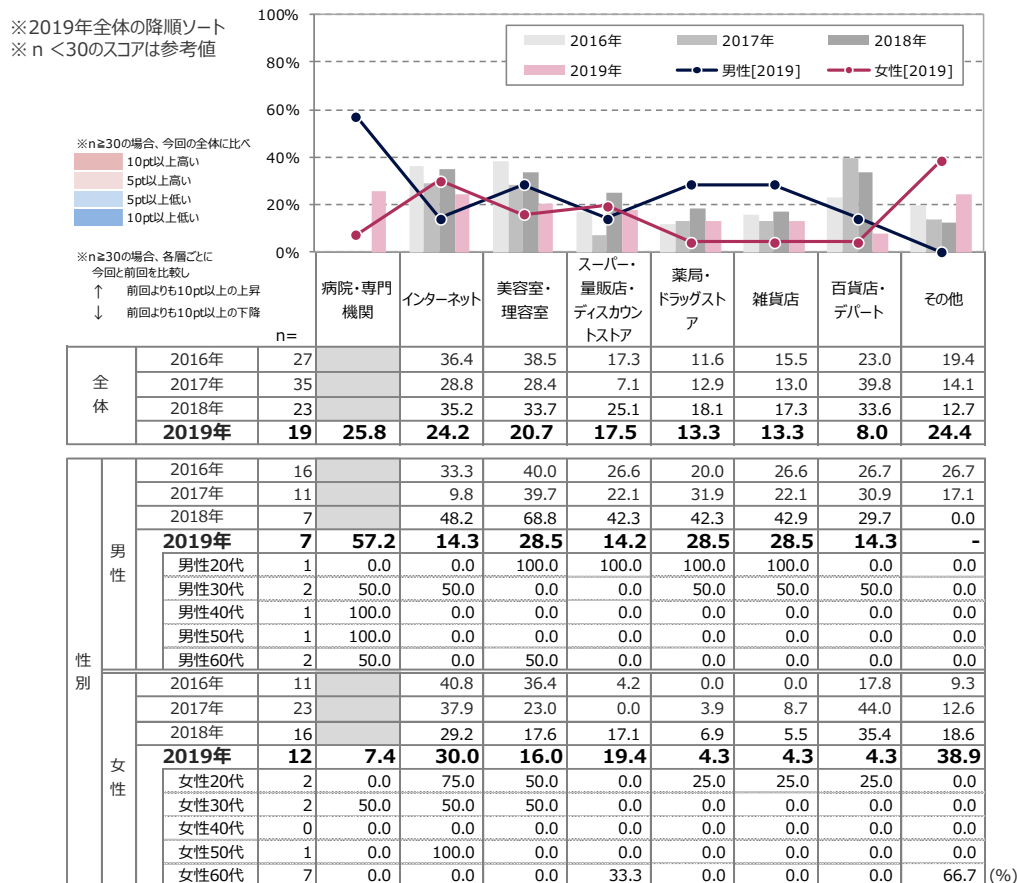
Q11 あなたがふだんやっている対策に関して、それぞれどこで購入していますか。【自宅のヘッドスパ・ヘッドマッサージで使う器具】(MAMT)



A 薄毛対策の購入チャネル【ウィッグ・カツラ（全体用）】

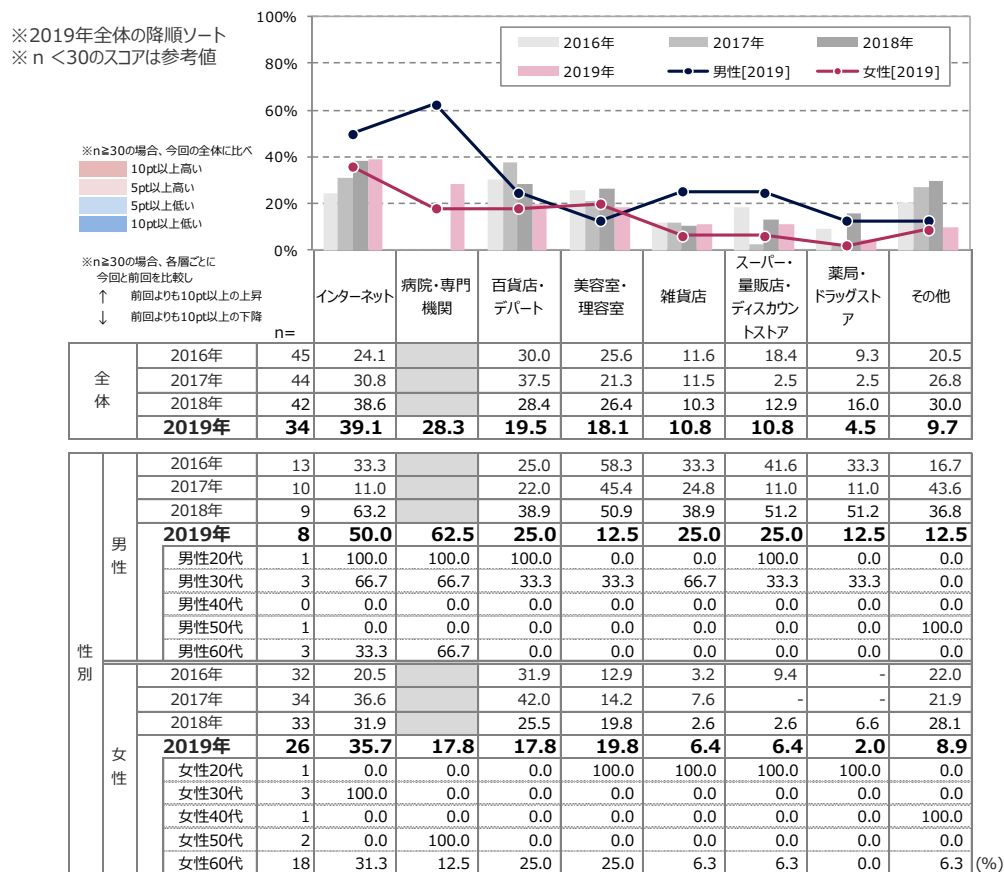
➤ N数が少ないため、参考値

Q11 あなたがふだんやっている対策に関して、それぞれどこで購入していますか。【ウィッグ・カツラ（全体用）】（MAMT）



➤経年でみると、「百貨店・デパート」が減少し、「インターネット」が増加

Q11 あなたがふだんやっている対策に関して、それぞれどこで購入していますか。【ウィッグ・カツラ（頭頂部、前髪などの部分用）】（MAMT）

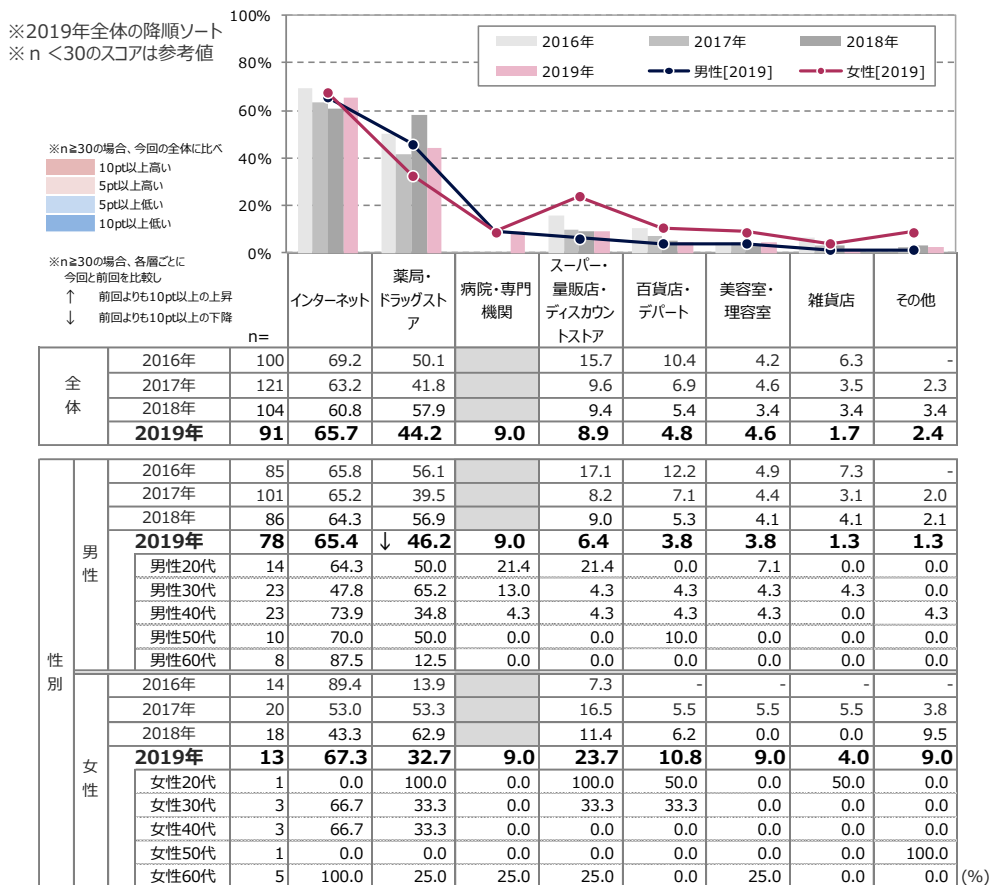


A 薄毛対策の購入チャネル【薄毛/抜け毛に効果のあるサプリメント】

➤ 前回上昇した「薬局・ドラッグストア」が、今回減少。「インターネット」は6割台を推移

➤ 男性では今回も「インターネット」が特に高い

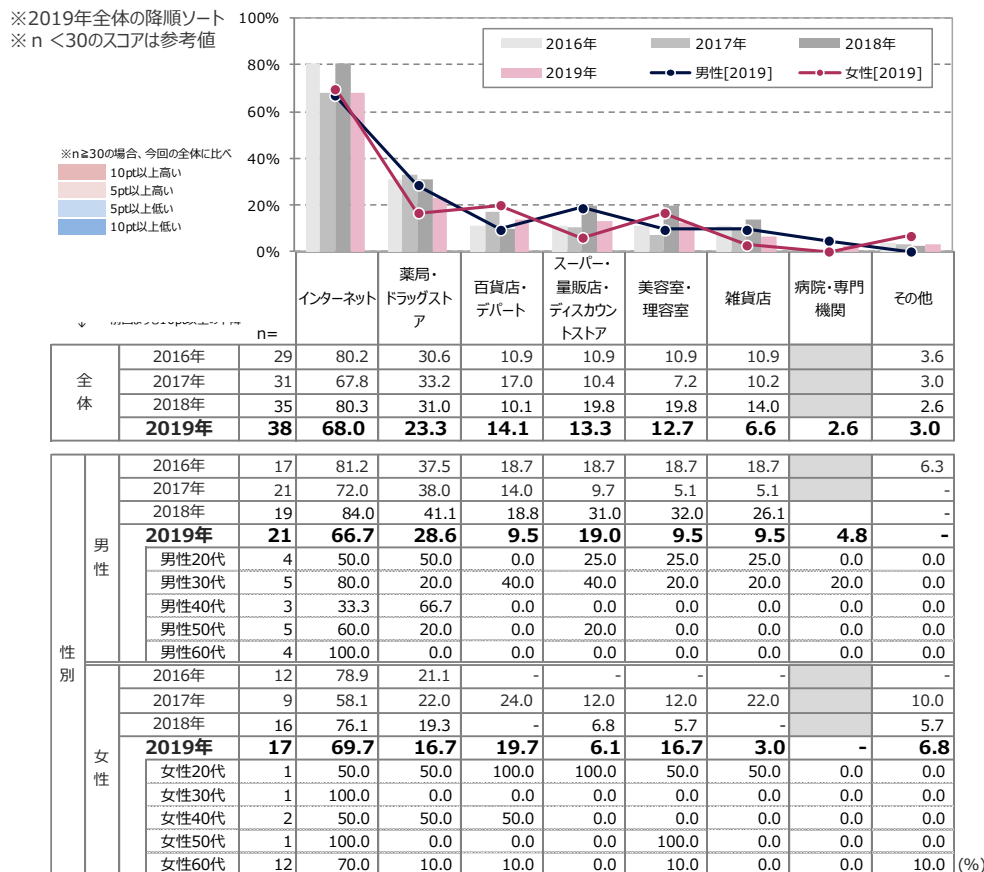
Q11 あなたがふだんやっている対策に関して、それぞれどこで購入していますか。【薄毛/抜け毛に効果のあるサプリメント（健康補助剤、健康食品など）】（MAMT）



A 薄毛対策の購入チャネル【髪量を多く見せるための、ふりかける粉】

▶前回に比べ「インターネット」が10pt以上減少

Q11 あなたがふだんやっている対策に関して、それぞれどこで購入していますか。【髪量を多く見せるための、ふりかける粉（パウダー）】(MAMT)

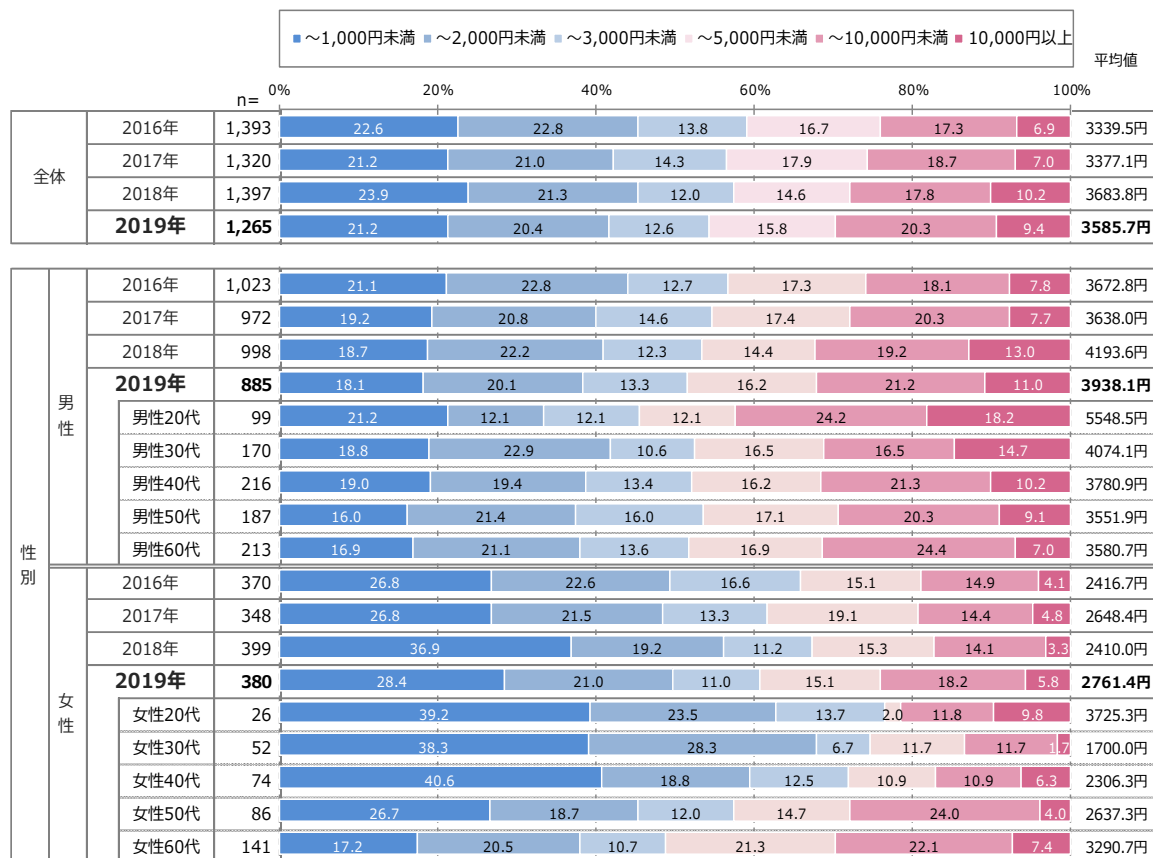




薄毛対策にかけている金額（1カ月あたり）

- 経年でみると、「5,000円以上」が増加基調。今回の平均値は3,586円
- 男性平均3,938円、女性平均2,761円と、男性の方が千円以上も高い
- 男性20代で平均5,549円、と特に高い

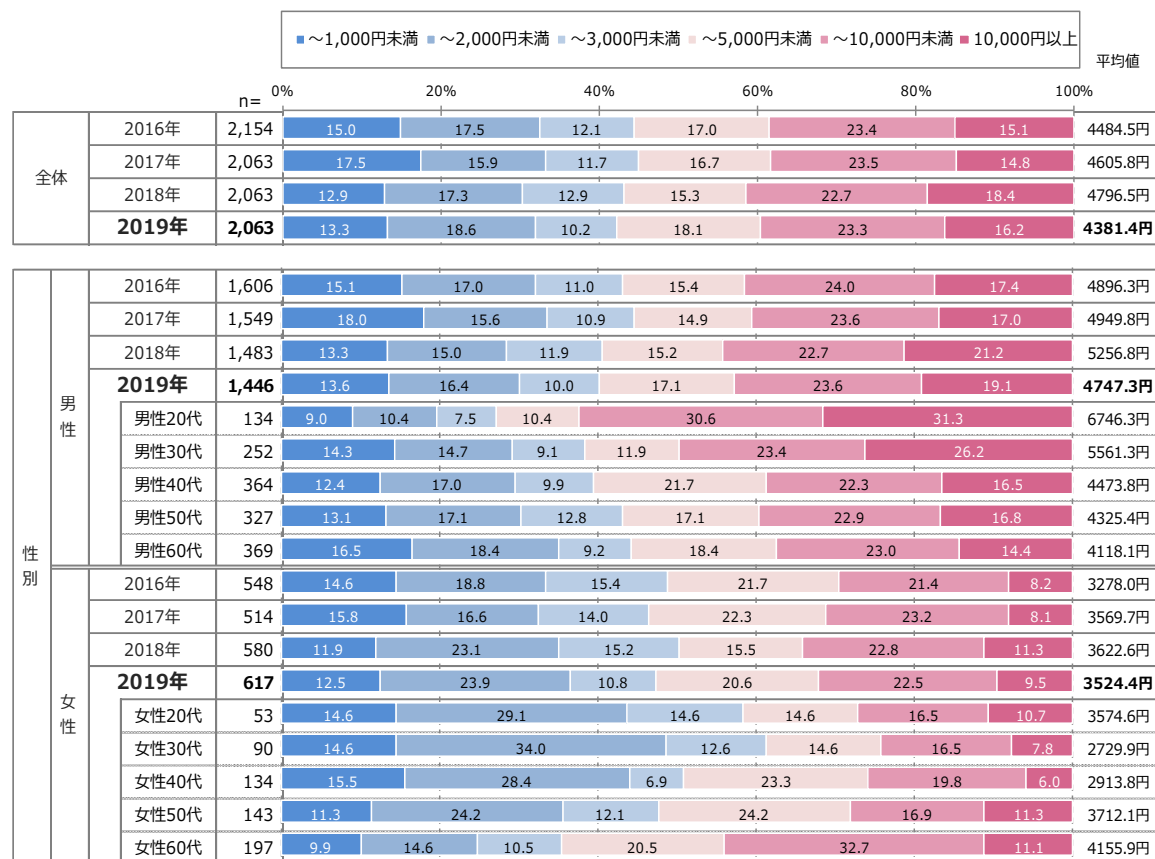
Q12 薄毛対策として、現在、月にいくらかかっていますか。【現在、薄毛対策にかけている金額（1カ月あたり）】（N）



A 薄毛対策にかけてもよい金額（1カ月あたり）

- 経年で平均金額をみると、前回までは上昇していたが、今回減少した
- 男性平均4,747円、女性平均3,524円と、男性の方が千円以上も高い
- 男性20代で平均6,746円と特に高く、女性30代で2,730円と最も安い

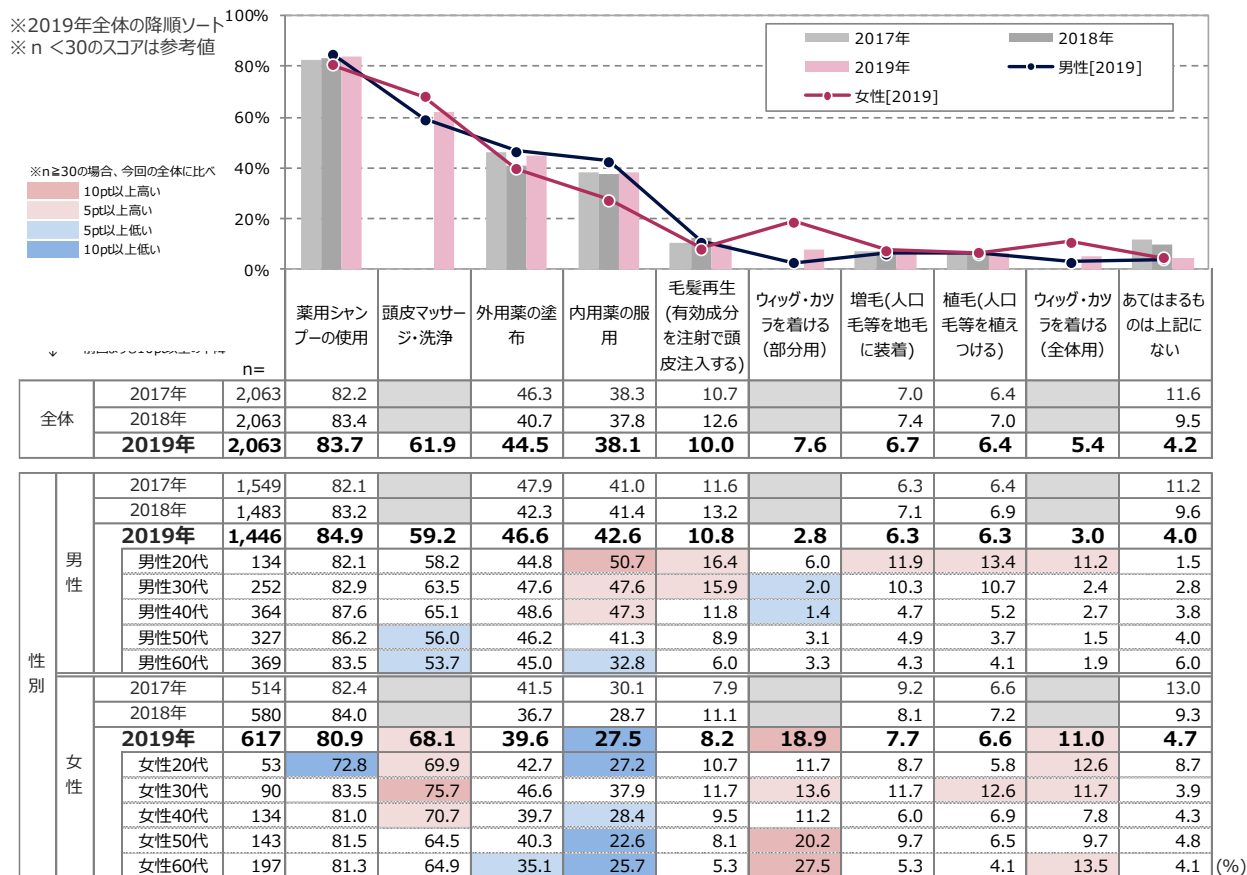
Q12 薄毛対策として、月にいくらかいならかけてもよいと思いますか。【薄毛対策にかけてもよいと思う金額の上限（1カ月あたり）】（N）



A 施術のハードル【実施するとして特に抵抗感はない薄毛対策】

- 経年でみると、項目全般に大きな変化はみられない
- 「薬用シャンプー」は女性20代以外の層で8割以上の実施率
- 「頭皮マッサージ・洗浄」は女性、特に30・40代で高め

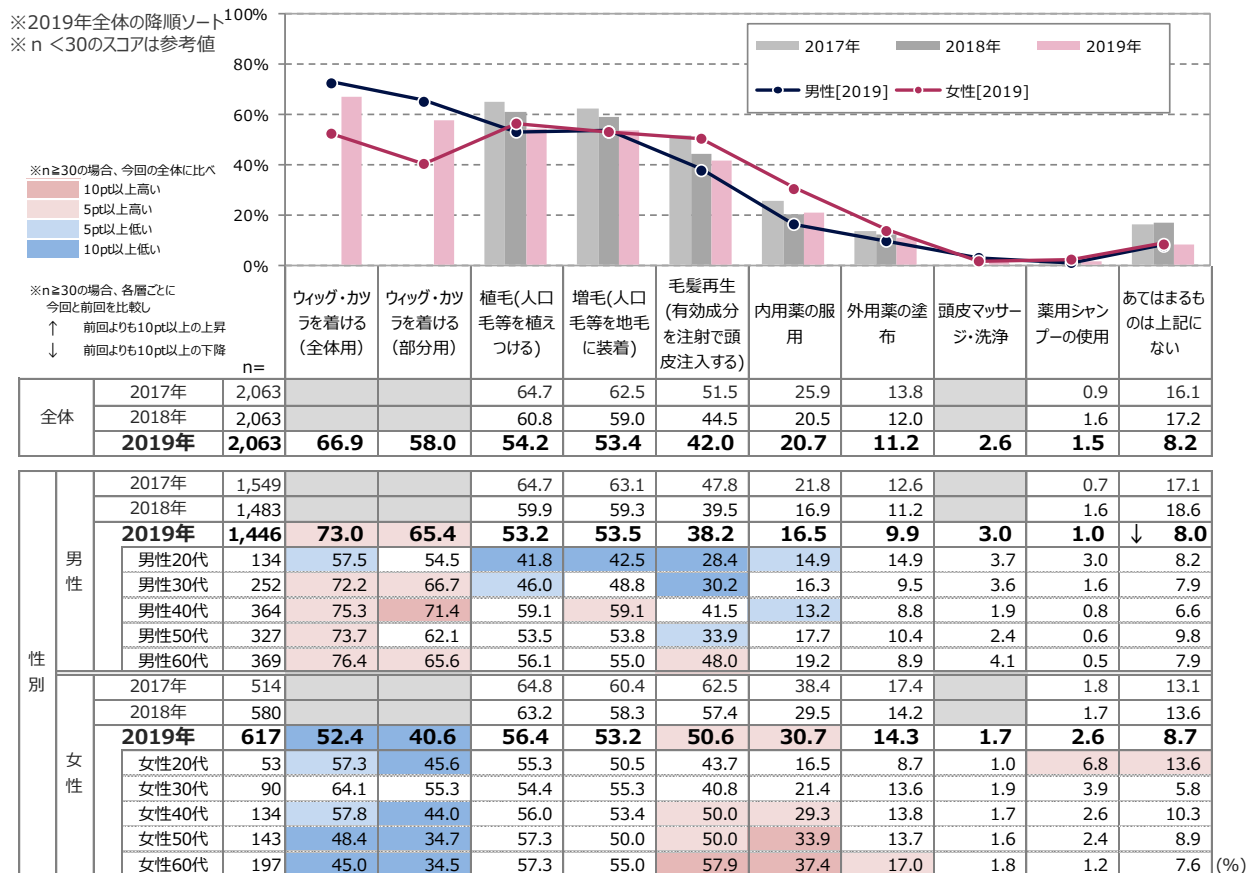
Q13 病院や専門クリニックで行う下記薄毛対策のうち、自身が実施するとして抵抗感がないものはどれですか。 【実施するとして特に抵抗感はない薄毛対策】(MAMT)



A 施術のハードル【実施するとして抵抗感がある薄毛対策】

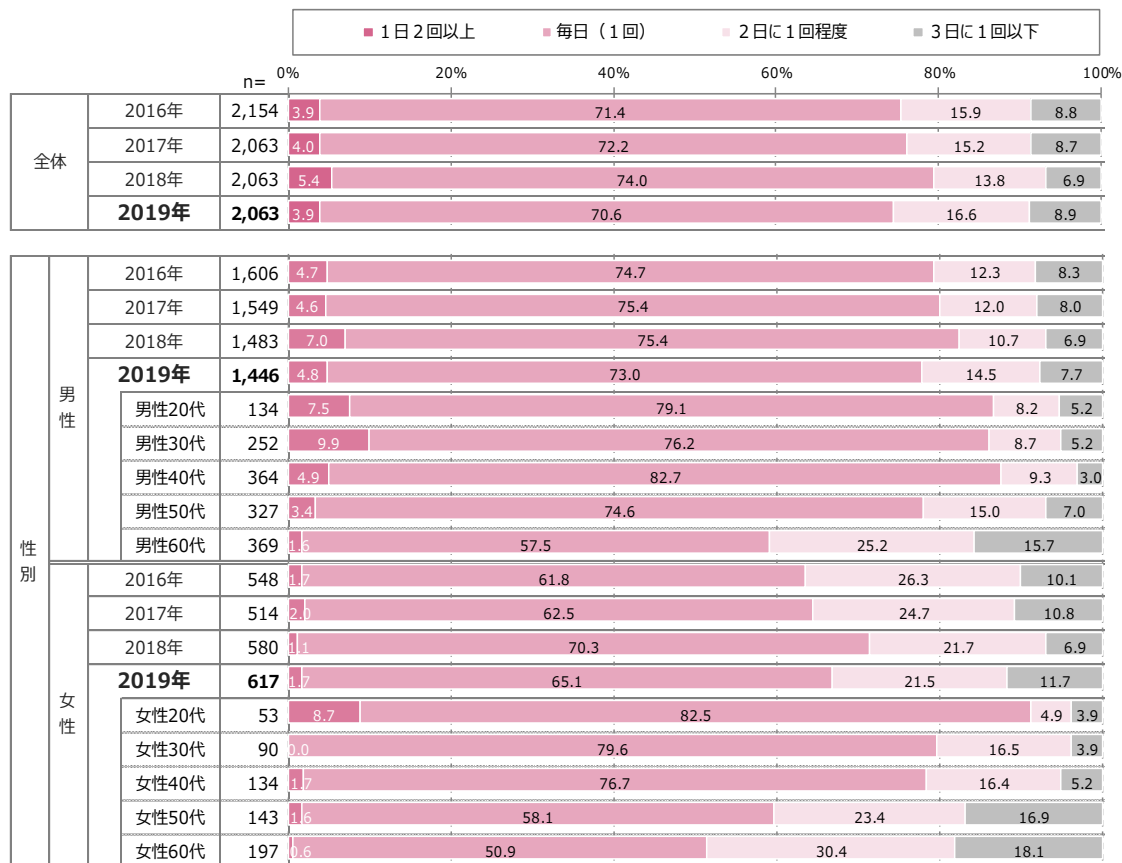
- 経年でみると、「植毛」「増毛」「毛髪再生」に対する抵抗感が減少傾向
- 「ウィッグ・カツラ」は男性、特に30代以上でやや高め
- 「毛髪再生」「内用薬」はいずれも女性、特に40代以上でやや高め

Q13 病院や専門クリニックで行う下記薄毛対策のうち、自身が実施するとして抵抗感があるものはありますか。【実施するとして抵抗感がある薄毛対策】(MAMT)



- 経年でみると、「1日2回以上」+「毎日（1回）」が7割台を推移
- 「1日2回以上」+「毎日（1回）」でみると、男性20～40代、女性20代で高め
- 「2日に1回程度」+「3日に1回以下」は、男性60代、女性50・60代でやや多い

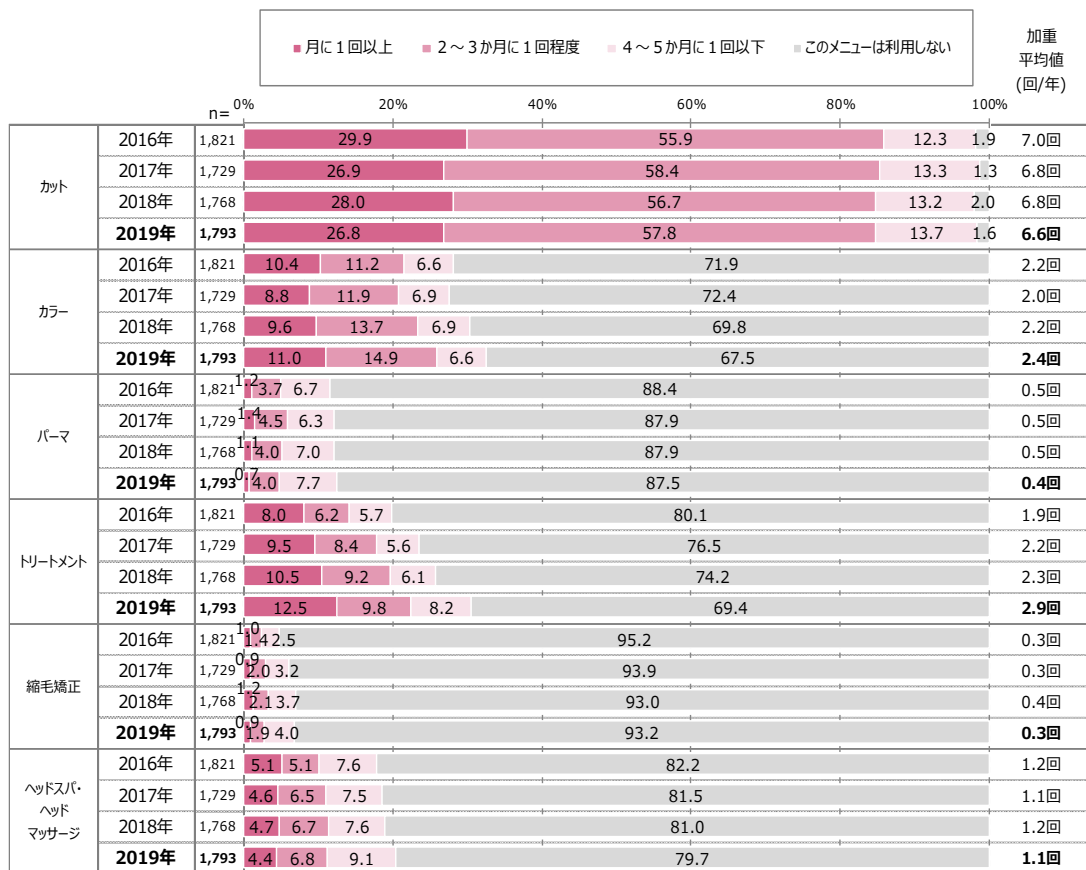
Q14 あなたはふだん、どのくらいの頻度で洗髪していますか。(SA)



A 理美容室の利用頻度【全体サマリー】

- 経年で平均頻度をみると、「カラー」「トリートメント」が概ね増加傾向にあり、「カット」が減少傾向にある
- 「ヘッドスパ・ヘッドマッサージ」は、約1回/年を推移

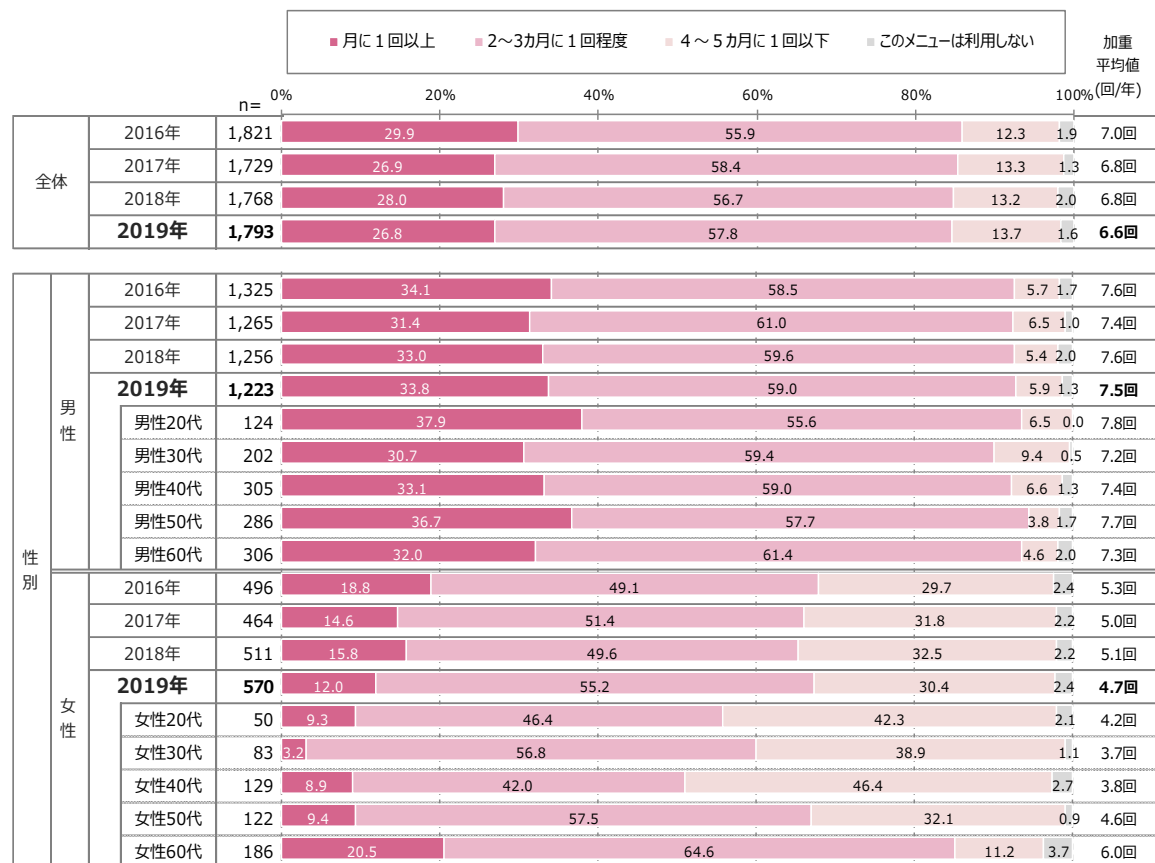
Q15 あなたはふだん、どのくらいの頻度で美容室・理容室の下記メニューを利用していますか。(SAMT)



A 理美容室の利用頻度【カット】

- 経年でみると、女性で「月に1回以上」が減少傾向にある
- 年平均をみると、男性は各年代で7回台と平均的
- 一方、女性は30代で3.7回、60代で6.0回と、年代差が大きい

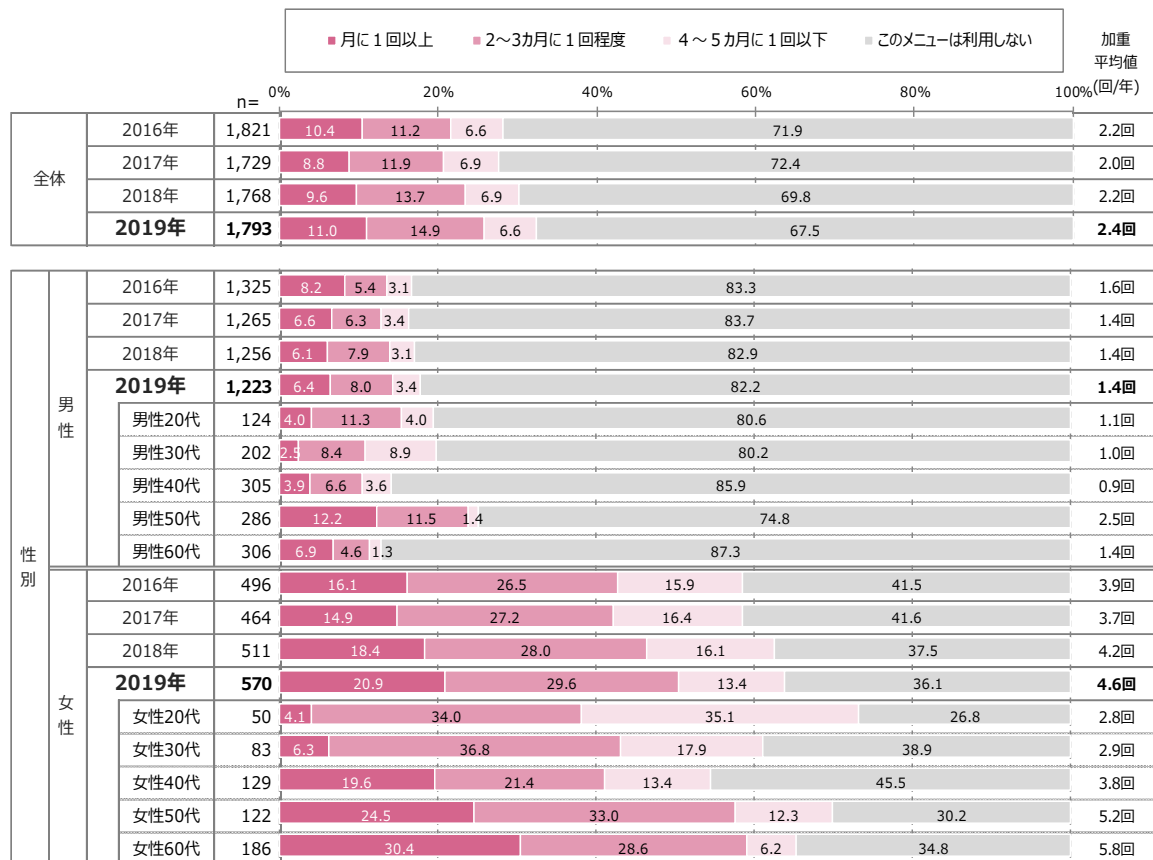
Q15 あなたはふだん、どのくらいの頻度で美容室・理容室の下記メニューを利用していますか。【カット】(SAMT)



A 理美容室の利用頻度【カラー】

- 経年でみると、女性で平均利用頻度が上昇傾向にある
- 平均利用頻度において性差が著しく、男性1.4回に対し、女性は4.6回
- 男性は50代で、女性は年配層ほど利用頻度が高い

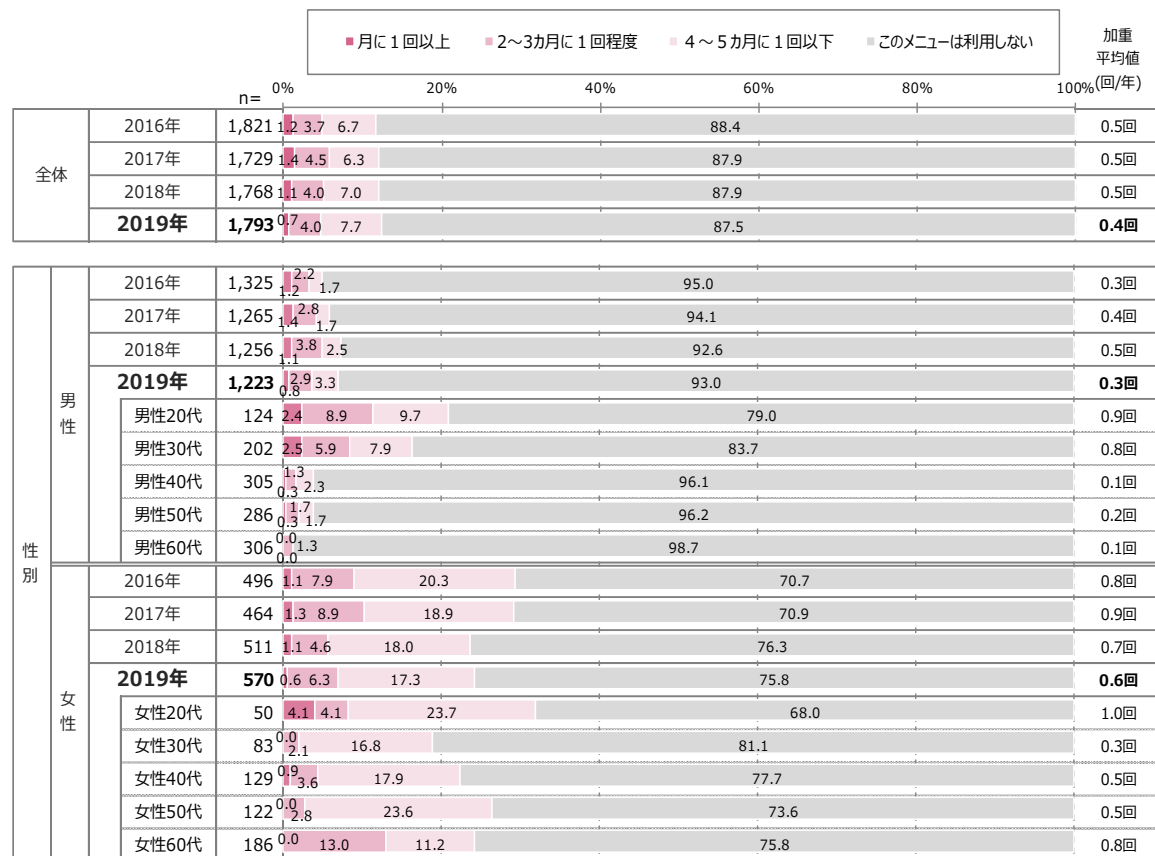
Q15 あなたはふだん、どのくらいの頻度で美容室・理容室の下記メニューを利用していますか。【カラー】(SAMT)



A 理美容室の利用頻度【パーマ】

- 経年でみると、女性で平均利用頻度が微減
- 男性では20・30代、女性では20代、60代で利用頻度がやや高め

Q15 あなたはふだん、どのくらいの頻度で美容室・理容室の下記メニューを利用していますか。【パーマ】(SAMT)

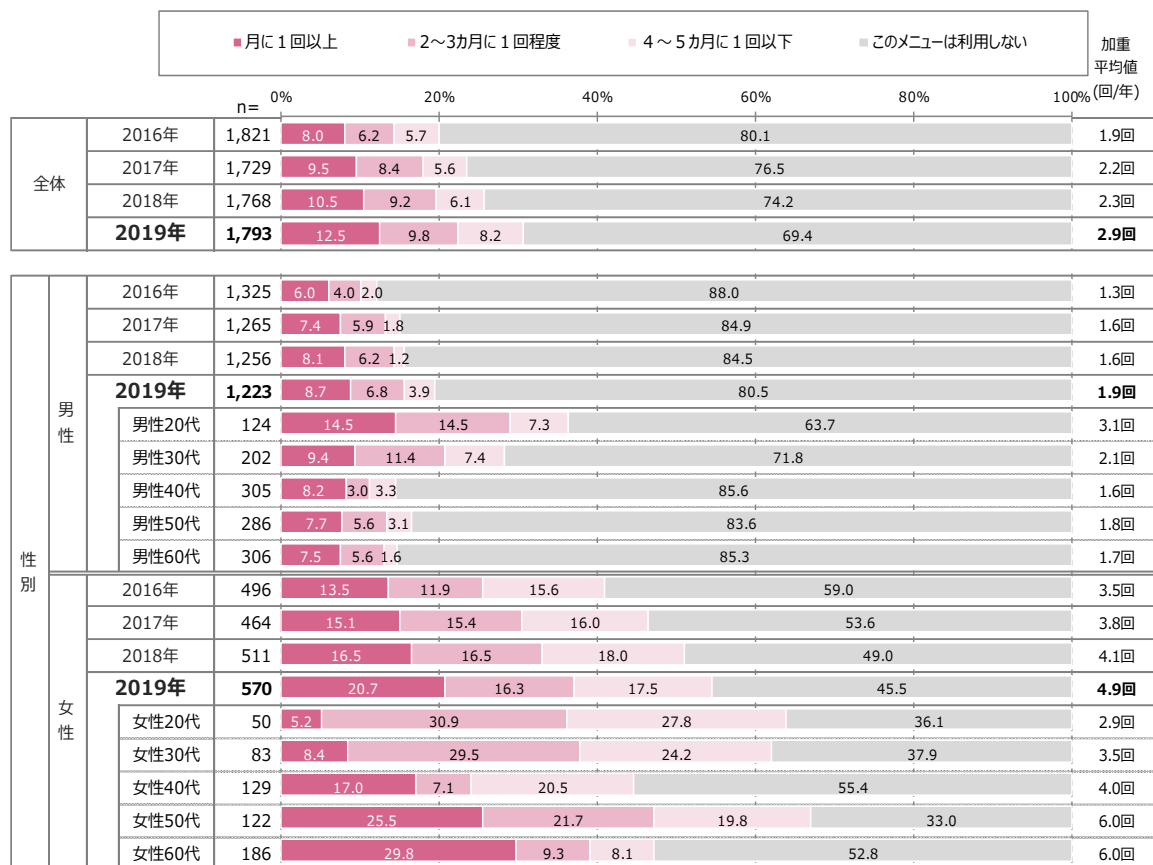




理美容室の利用頻度【トリートメント】

- 経年でみると、男女とも平均利用頻度が増加
- 平均利用頻度において性差が著しく、男性1.9回に対し、女性は4.9回
- 女性は年配層ほど利用頻度が高まる

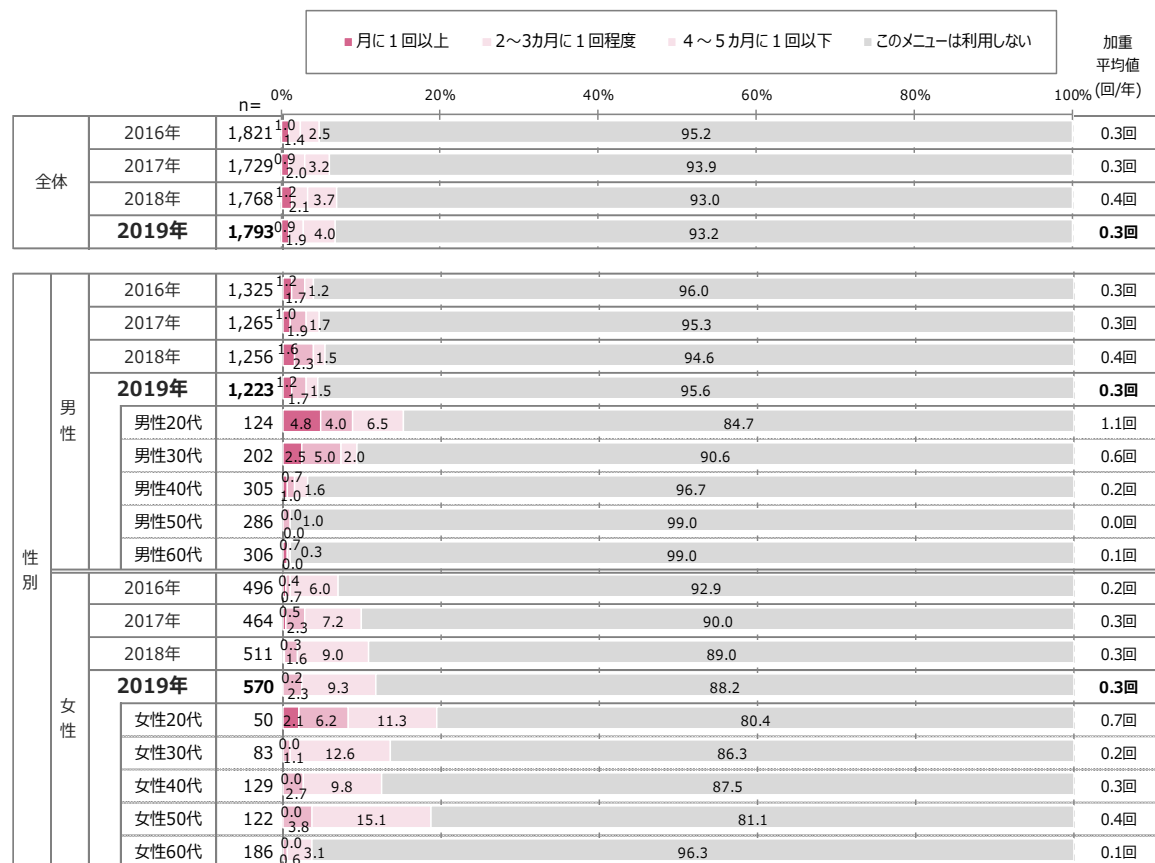
Q15 あなたはふだん、どのくらいの頻度で美容室・理容室の下記メニューを利用していますか。【トリートメント】(SAMT)



A 理美容室の利用頻度【縮毛矯正】

- 経年でみると、大きな変化はみられない
- 平均利用頻度は男女とも非常に低く、年0.3回
- 男性20代で平均利用頻度がやや高め

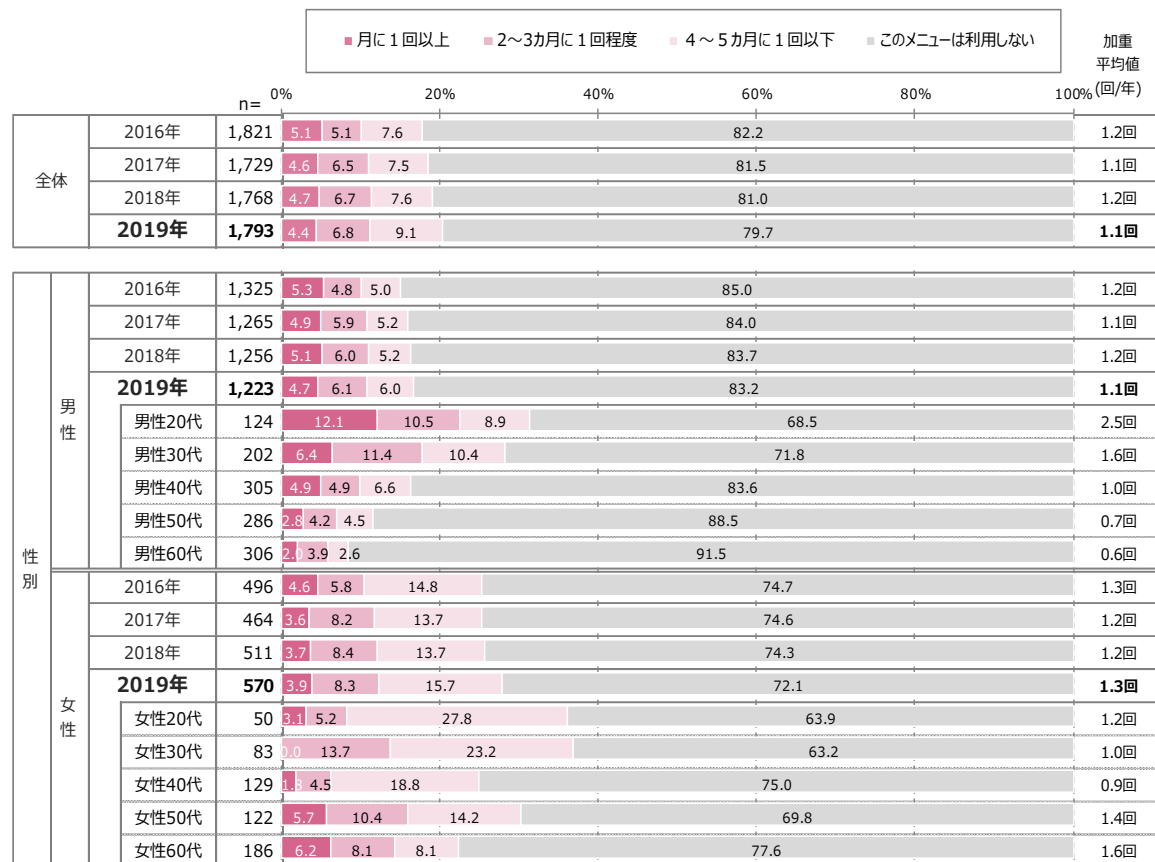
Q15 あなたはふだん、どのくらいの頻度で美容室・理容室の下記メニューを利用していますか。【縮毛矯正】(SAMT)



A 理美容室の利用頻度【ヘッドスパ・ヘッドマッサージ】

- 経年でみると、大きな変化はみられない
- 平均利用頻度は男女とも年に約1回と、同程度
- 男性20代で平均利用頻度が2.5回と高い

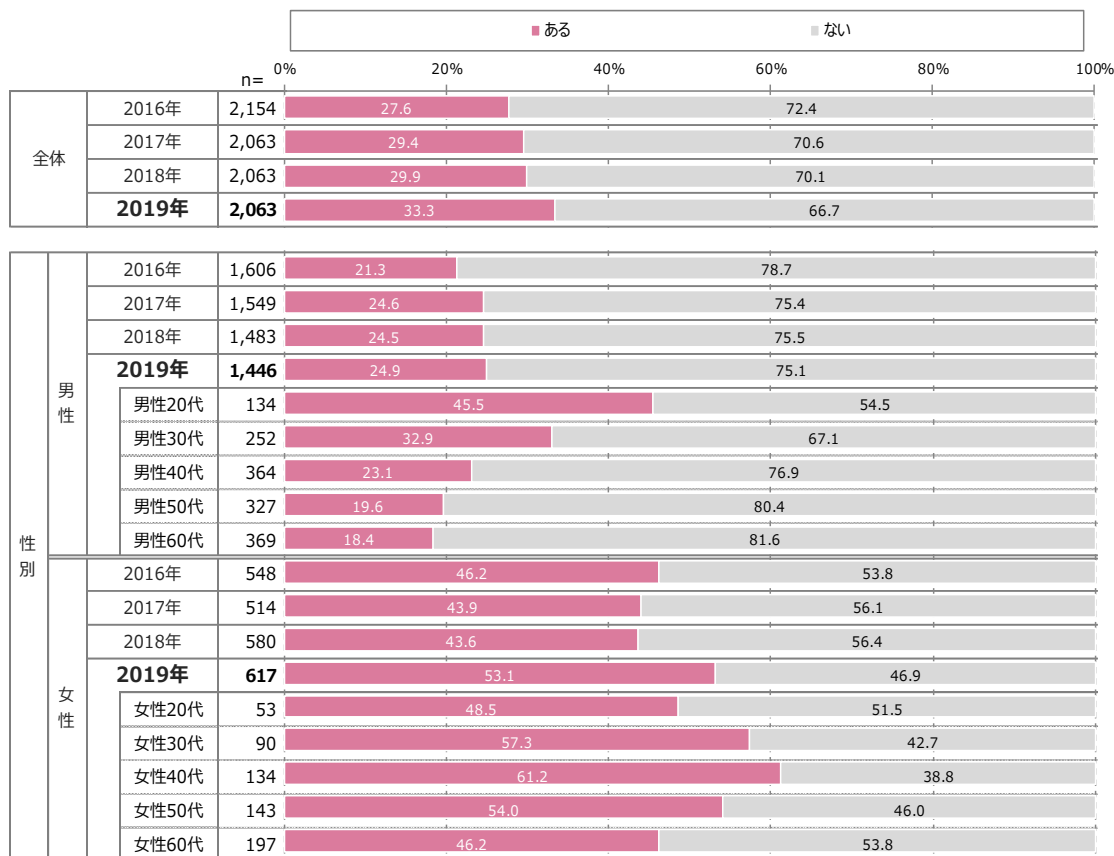
Q15 あなたはふだん、どのくらいの頻度で美容室・理容室の下記メニューを利用していますか。【ヘッドスパ・ヘッドマッサージ】(SAMT)



A 理美容室への相談経験有無

- 経年でみると、「理美容室への相談経験」が増加しつつある
- 相談経験率をみると、男性で2割台半ば、女性で5割強と、女性の方が高い
- 男性は若年層ほど、女性は30～50代で相談経験率が高い

Q16 薄毛が気になっていることについて、これまでに美容室・理容室で相談したことがありますか。(SA)

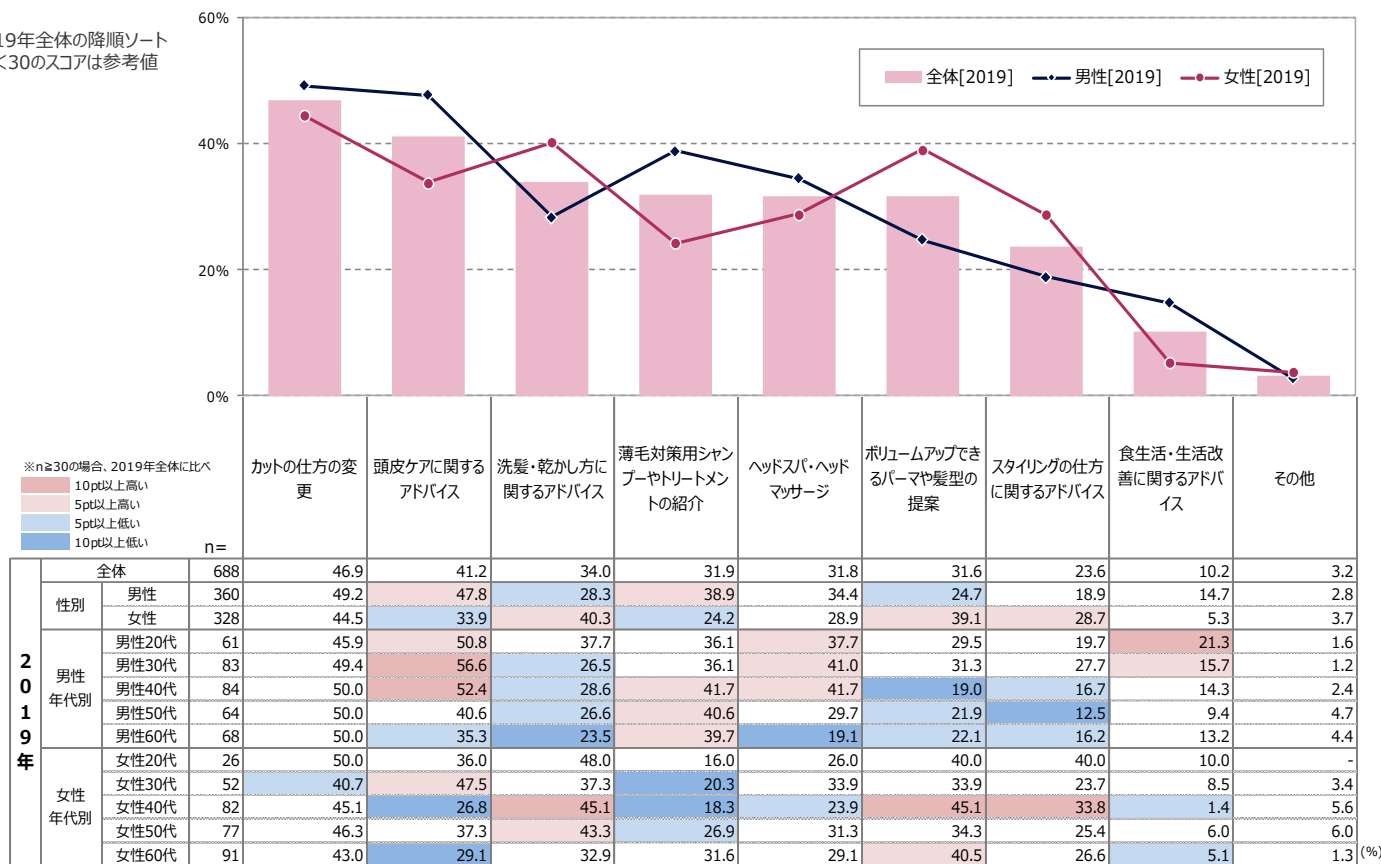




男女ともにカットの仕方の変更について、アドバイスをもらいたいとの回答

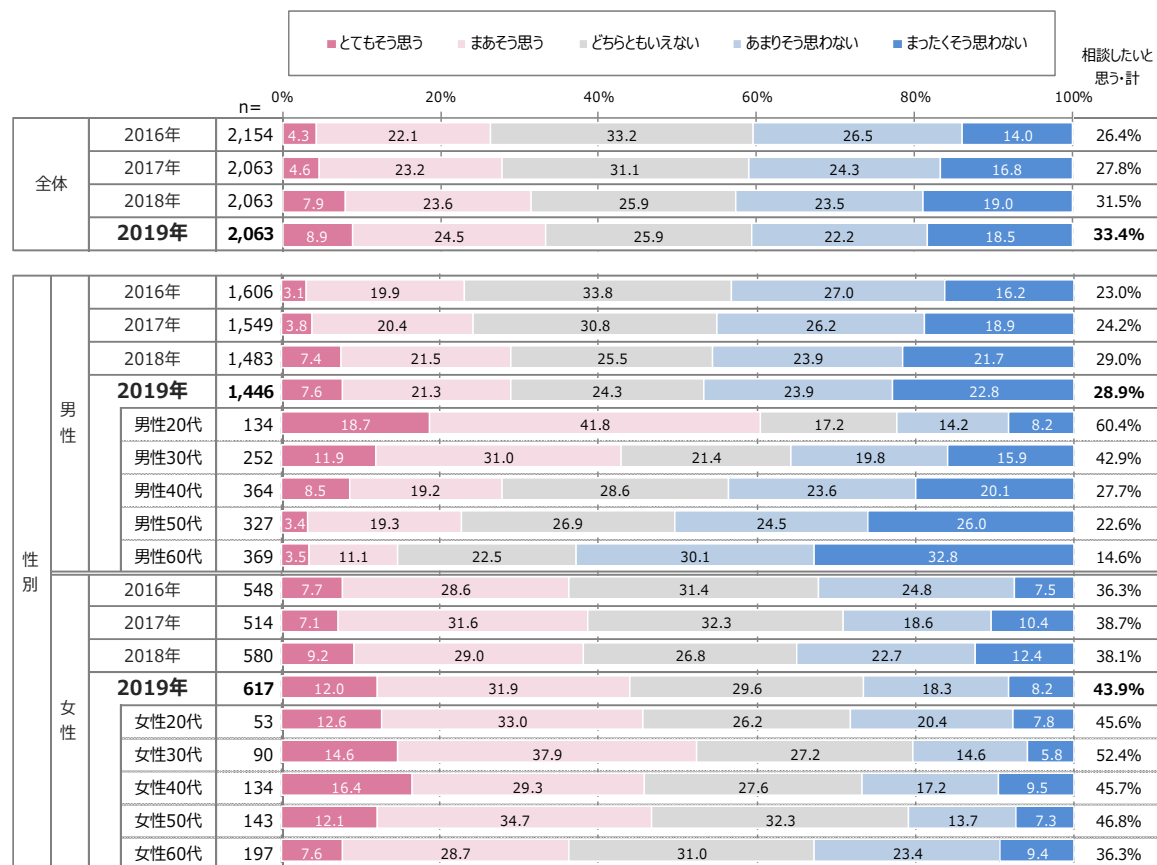
Q17 薄毛について美容室・理容室で相談した際、どのようなアドバイスや対策をしてもらいましたか。(MA)

※2019年全体の降順ソート
※n<30のスコアは参考値



- 経年でみると、美容室への相談意向率が増加しつつある
- 性別でみると、男性で3割弱、女性で4割強と、女性の方が高い
- 男性は若年層ほど、女性は30代で相談経験率が高い

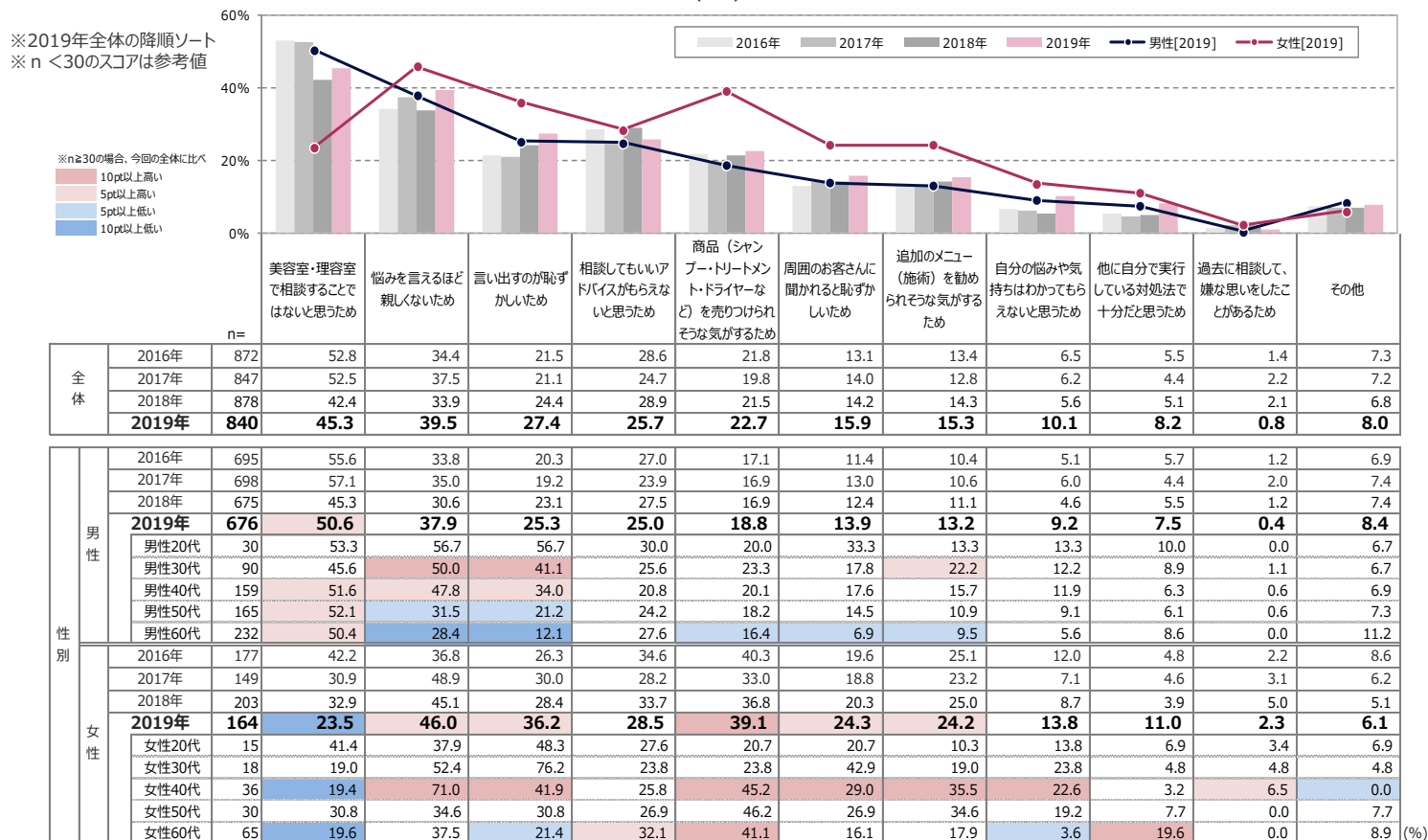
Q18 薄毛が気になっていることを、今後、美容室・理容室で相談したいとどのくらい思いますか。(SA)



A 理美容室へ相談したくない理由

- 経年でみると、「言い出すのが恥ずかしい」「周囲のお客さんに聞かれると恥ずかしい」といった『羞恥心』が微増傾向
- 「美容室・理容室で相談することではないと思う」以外は全般に女性の方が高く、「商品を売りつけられそうな気がする」において男女差が最も大きい

Q19 美容室・理容室で相談したいと思わない理由として、あてはまることをすべてお聞かせください。(MA)

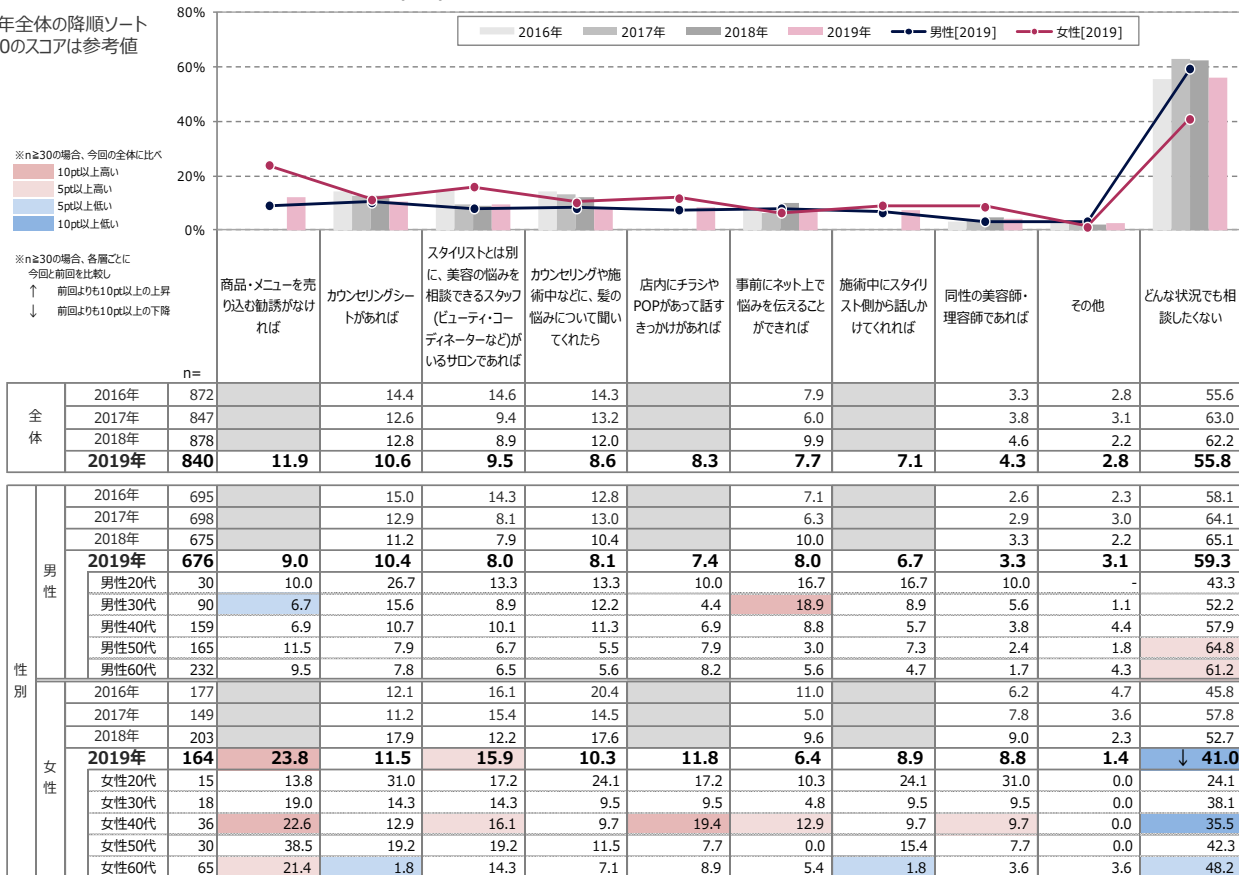


A 理美容室に相談したくなる状況

- 経年でみると、項目全般に大きな変化はみられない
- 「商品・メニューを売り込む勧誘がなければ」と「スタイリストとは別に、美容の悩みを相談できるスタッフがいるサロンであれば」は女性、特に40代でやや高め

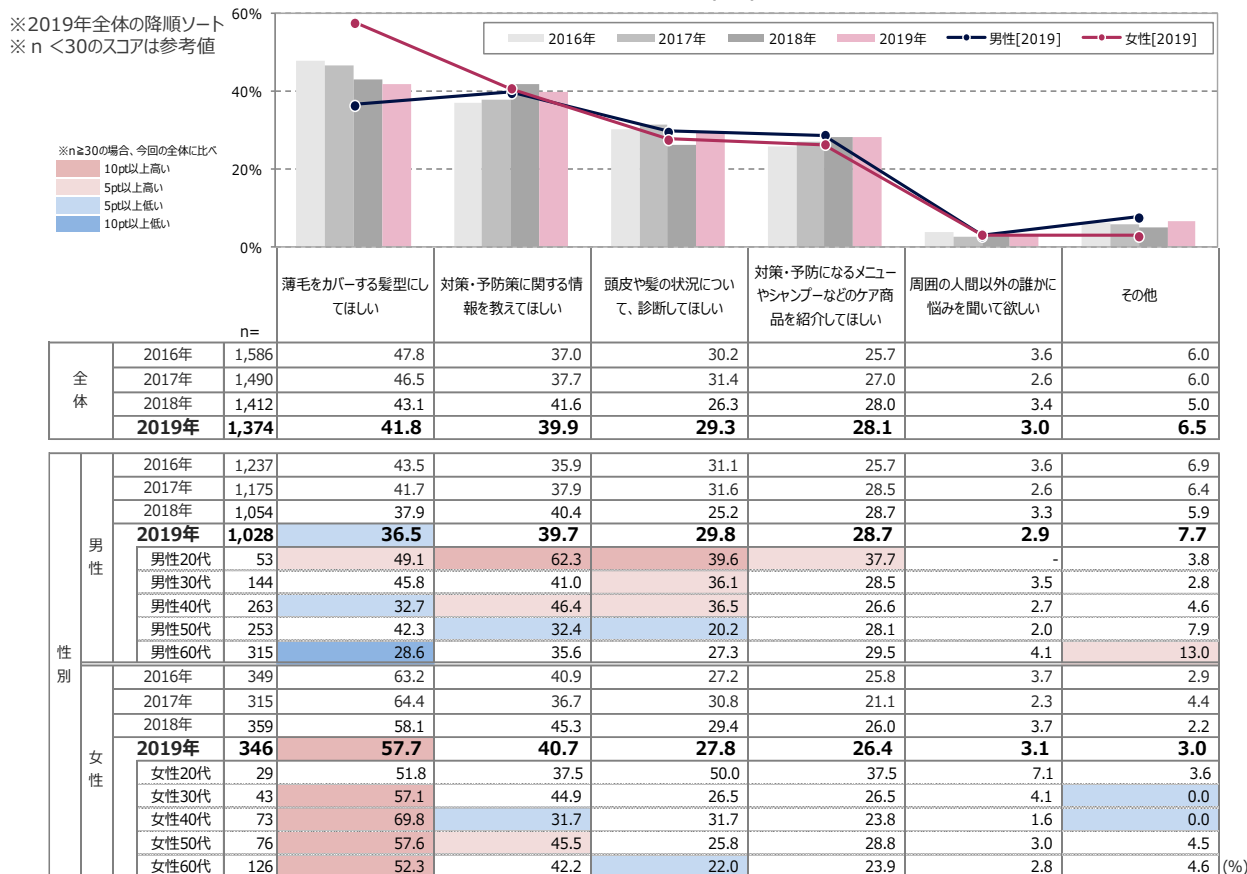
Q20 どうなれば、薄毛について美容室・理容室で相談したいと思いますか。(MA)

※2019年全体の降順ソート
※ n < 30のスコアは参考値



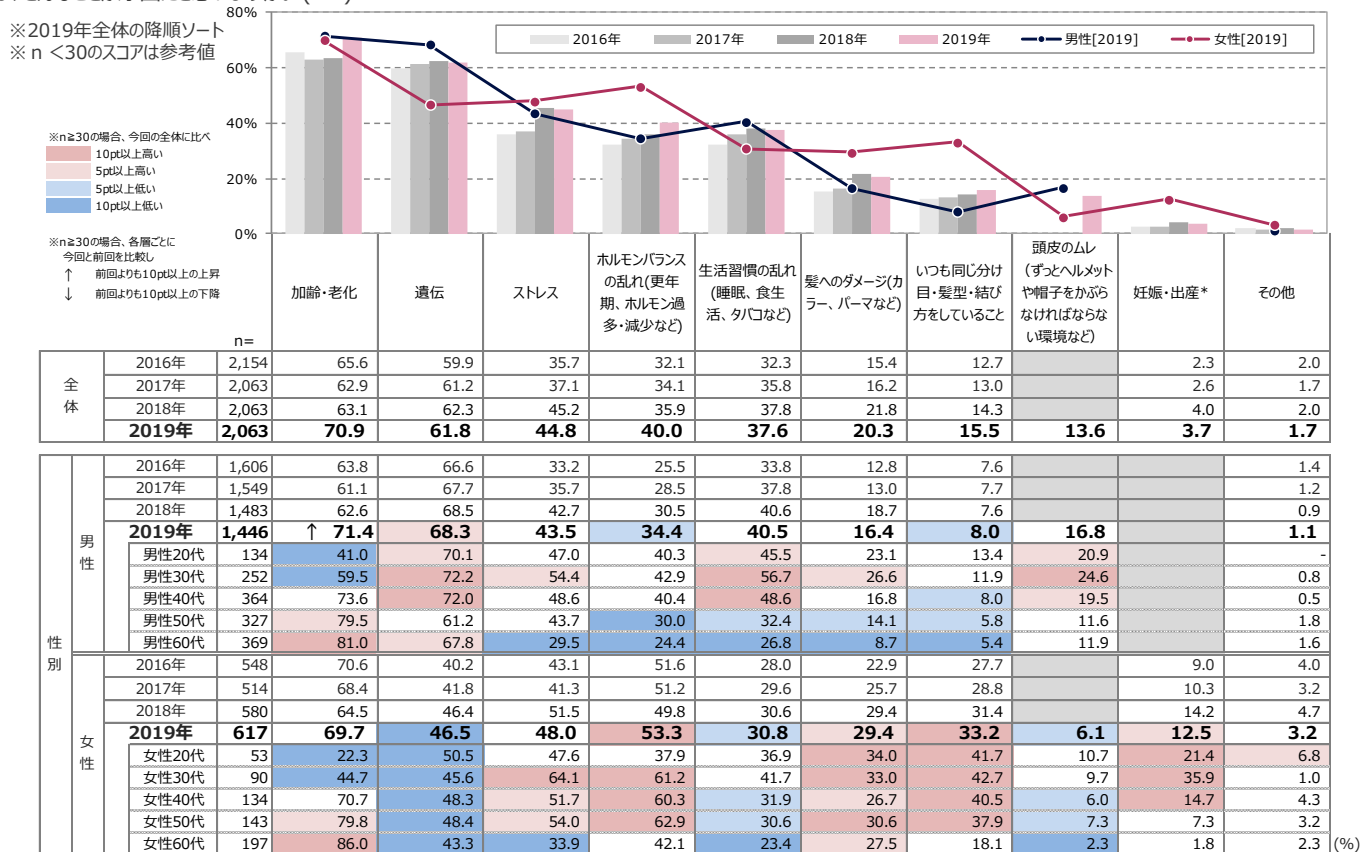
- 経年でみるとトップの「薄毛をカバーする髪型にしてほしい」が減少傾向
- 「薄毛をカバーする髪型にしてほしい」は女性の方が非常に高い
- 「対策・予防策に関する情報を教えてほしい」「頭皮や髪の状態について、診断してほしい」は男性20代で特に高い

Q21 薄毛に関して、美容室・理容室に相談するとしたら、美容室・理容室に対して、どんなことを期待しますか。(MA)



- 前年に比べ「加齢・老化」「ホルモンバランスの乱れ」などがやや増加
- 男性では「加齢・老化」と「遺伝」、女性では「加齢・老化」と「ホルモンバランスの乱れ」がトップ2
- 女性の「ホルモンバランスの乱れ」は、30～50代で6割強と特に高い

Q22 あなたの薄毛は、どんなことが原因だと思いますか。(MA)

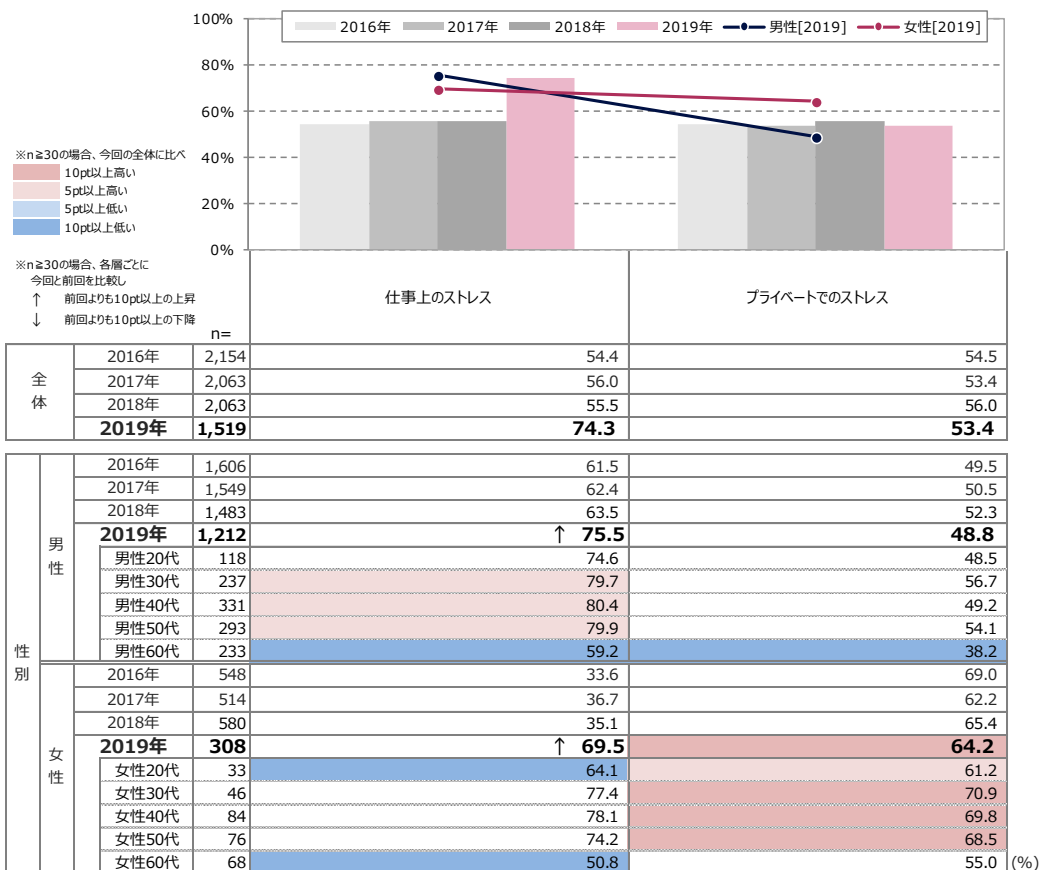


*女性のみに聴取

A ストレスの有無【サマリー】

- 経年でみると、概ね「仕事上のストレス」の方が高まりつつある
- 「仕事上のストレス」は男性の方が女性よりも高い
- 男女いずれも、年代による差はほとんどみられない

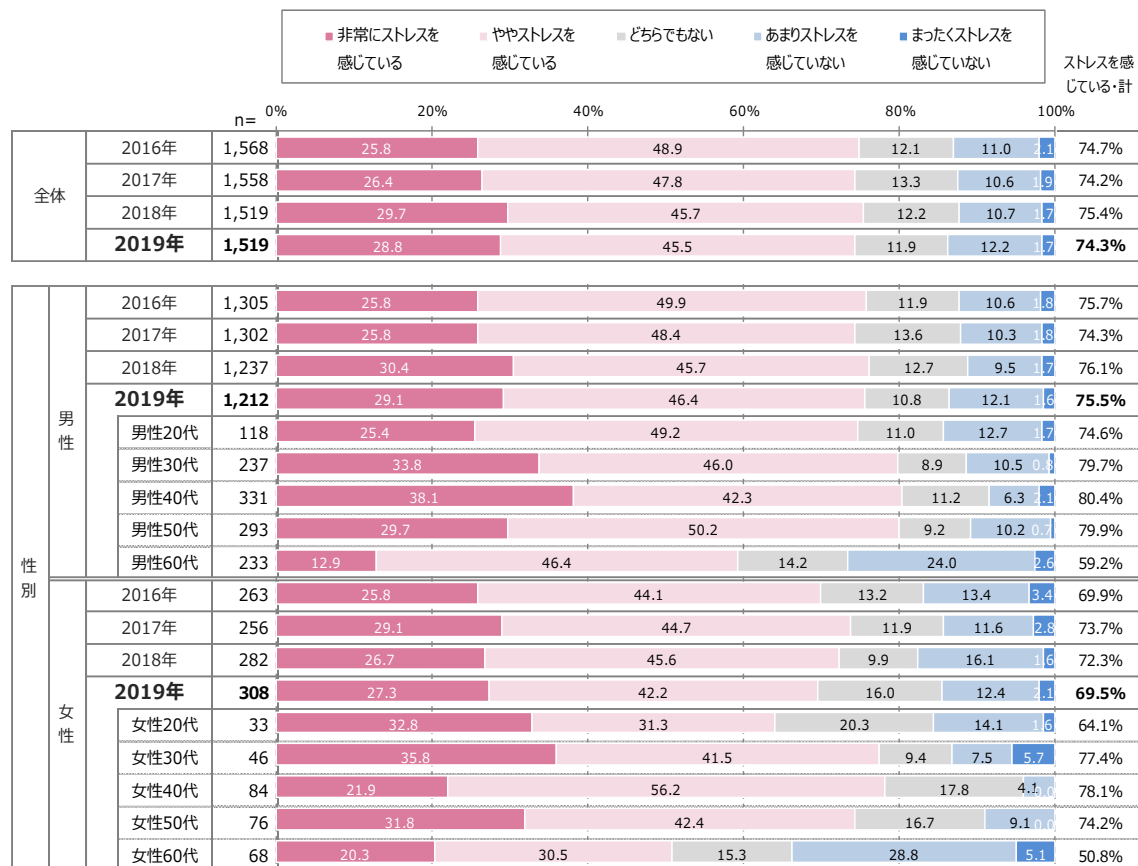
Q24 今、あなたは、どのくらい「ストレス」を感じていますか。【TOP2】 (SAMT)



A ストレスの有無【仕事上のストレス】

- 経年でみると、仕事上のストレスを感じている人の比率は7割台を安定して推移
- 男女いずれも約7割の人が仕事上のストレスを感じている
- 男性は30・40代で、女性は20・30代で仕事上のストレスを感じている人の比率が高め

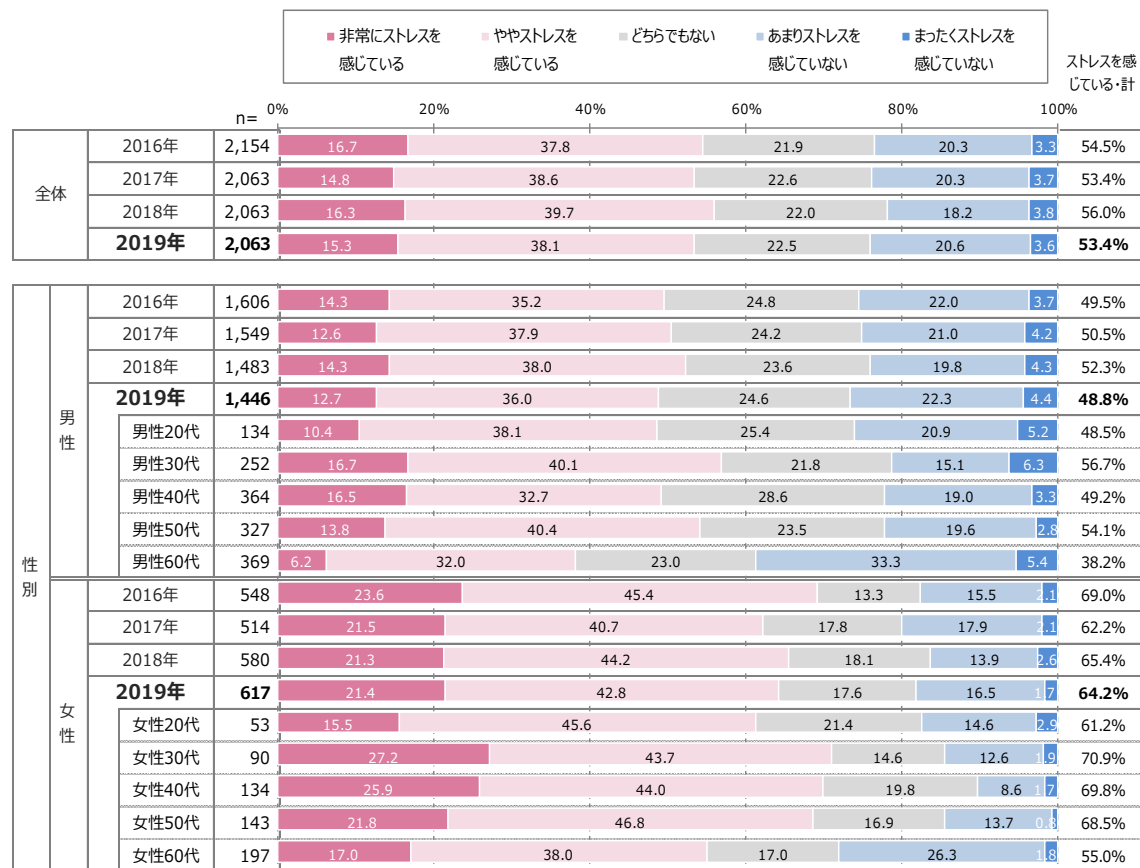
Q24 今、あなたは、どのくらい「ストレス」を感じていますか。【仕事上のストレス】(SAMT)



A ストレスの有無【プライベートでのストレス】

- 経年でみると、プライベートでのストレスを感じている人の比率は5割台を安定して推移
- 男性よりも女性の方がプライベートでのストレスを感じている人の比率が高い
- 女性30・40代でプライベートでのストレスを感じている人の比率が高め

Q24 今、あなたは、どのくらい「ストレス」を感じていますか。【プライベートでのストレス】(SAMT)



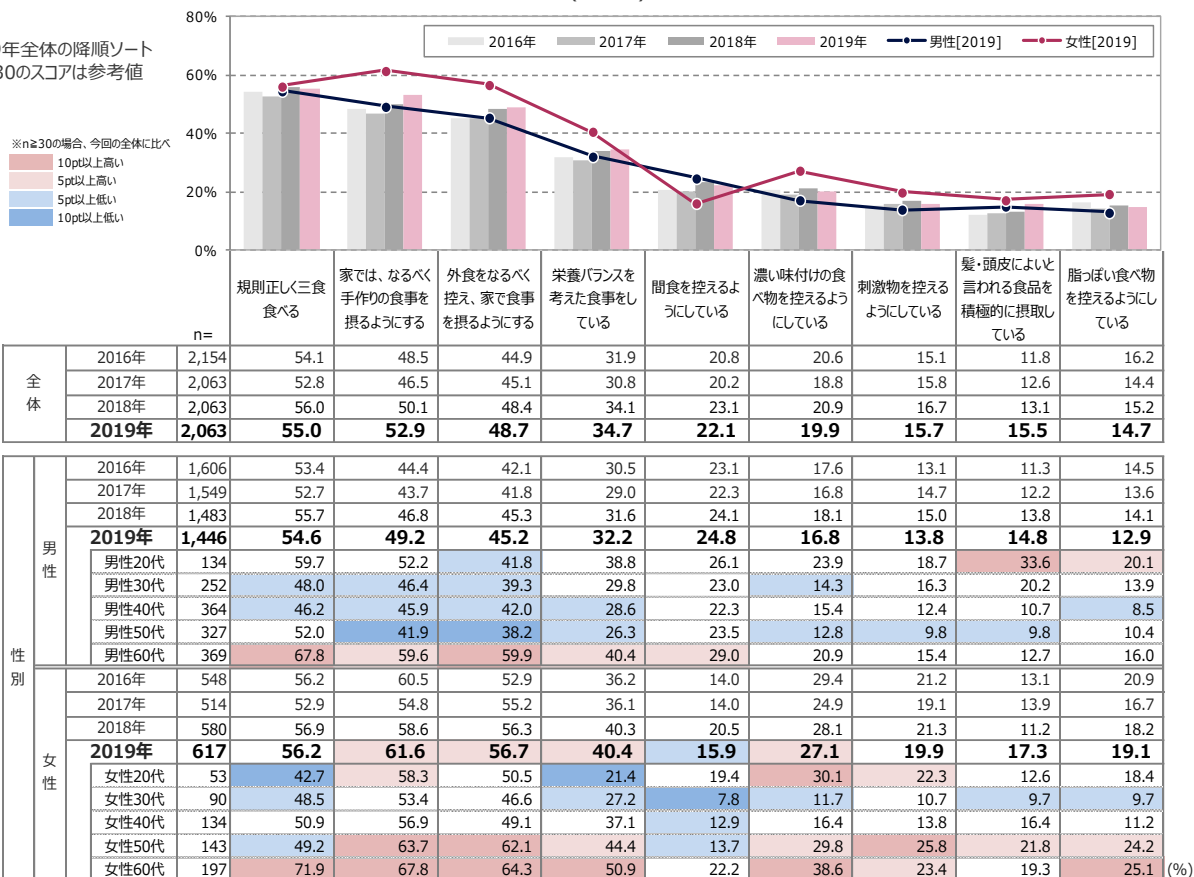
➤経年でみると、「家では、なるべく手作りの食事を摂るようにする」「外食をなるべく控え、家で食事を摂るようにする」「栄養バランスを考えた食事をしている」などが僅かではあるが増加傾向にある

➤項目全般に女性60代で高め

Q25 ふだんの食生活に関する以下のことについて、あなたの行動や意識にどの程度あてはまりますか。(SAMT)

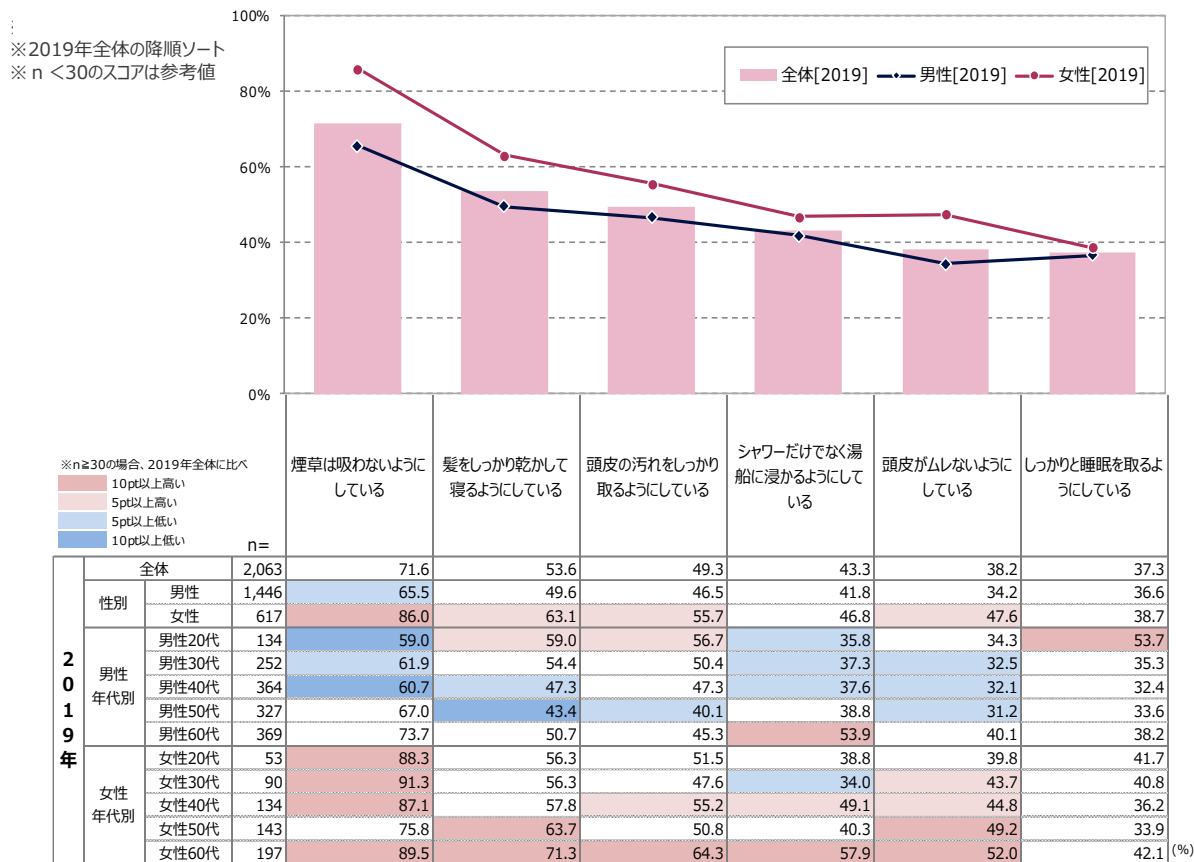
※2019年全体の降順ソート

※n < 30のスコアは参考値



- 男女いずれも「たばこは吸わないようにしている」がトップ
- 項目全般に女性、特に60代で高め

Q26 ふだんの生活習慣に関する以下のことについて、あなたの行動や意識にどの程度あてはまりますか。(SAMT)





1カ月あたりの可処分所得(平均金額)

- ▶ 前回に比べ「1カ月に自由に使えるお金のトータル」や「美容関連のサロン利用費」など全ての費目で支出が減少している
- ▶ 「美容関連のサロン利用費」は男性よりも女性の方が高い
- ▶ 女性の「美容関連のサロン利用費」は、40代以外の層で3千円前後と高め

Q27 あなたが1カ月に自由に使えるお金（生活費などを抜いて、「自分の為に使えるお金」）はいくらくらいですか。（SA）

